

第2回（2015年）
家計と貯蓄に関する調査
結果概要報告書

2016年3月

株式会社 日本リサーチセンター

目 次

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査対象	1
4. 抽出方法	1
5. 調査方法	1
6. 調査期間	1
7. 回収状況	2
8. 利用上の注意	2
9. 回答世帯の属性	3
(1) 回答者	3
(2) 世帯主性別	3
(3) 世帯主および配偶者の年齢	3
(4) 同居家族人数	4
(5) 同居家族	4
(6) 別居家族有無	6
(7) 生計を別にする子どもの居住状況（複数回答）	6
(8) 世帯主および配偶者の健康状態	6
(9) 世帯主および配偶者の学歴	7
(10) 世帯主および配偶者の両親	8
(11) 年間の所得税・住民税・社会保険料	10

II 調査結果の概要

1. 生活全般について	11
(1) 現在の生活満足度	11
(2) 日頃の生活の中での悩みや不安	13
(3) 物の豊かさと心の豊かさ	14
(4) 今後の生活において重点を置きたいこと	14
(5) 普段の外出の際に雨具を持参する降水確率	15
(6) 物価動向に関する考え	15
2. 貯蓄について	17

(1) 世帯の貯蓄状況.....	17
(2) 世帯で保有している預貯金・金融商品	17
(3) 保有している預貯金・金融商品の現在高.....	18
(4) 金融資産の世帯保有状況	23
(5) 保険商品の保有状況	24
(6) 世帯貯蓄の目的.....	25
3. 住居について.....	29
(1) 現在の住居の構造・築年数・面積.....	29
(2) 現在の住居の住居形態・所有者・取得方法・取得時期.....	31
(3) 住居の購入資金.....	33
(4) 現在の住居の購入資金調達先.....	35
(5) 民間金融機関からの借入金の金利.....	36
(6) 現在の住居の3年後の資産価値	37
(7) 現在の住居の家賃	38
(8) 住居の取得予定.....	39
4. 世帯の借入金について	42
(1) 借入の状況	42
5. 仕事と家計について.....	45
(1) 世帯主・配偶者の就労有無	45
(2) 現在就業中の世帯主・配偶者の就労状況.....	46
(3) 就業中世帯主・配偶者の就労継続希望年齢.....	50
(4) 就労収入.....	51
(5) 世帯収入.....	52
(6) 世帯の支出.....	53
(7) 仕送り	54
(8) 世帯の家計	56
(9) 1年後の年間収入	57
(10) 高齢期（65歳以上）における一か月の世帯支出額見込み.....	58
(11) 高齢期（65歳以上）を迎えたときの家計支出の収入源	58
6. 年金について.....	59
(1) 世帯主・配偶者の公的年金	59
(2) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合	62
(3) 公的年金受給前に必要な貯蓄額	62
7. 遺産について.....	63
(1) 子どもに残す遺産についての考え方	63

(2) 親からの遺産相続.....	65
(3) 配偶者の親からの遺産相続の見込み有無.....	68

Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、家計の貯蓄の実態や生活に関する考え方を調査することにより、家計（世帯）の金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。第1回を2013年に実施し、今回は第2回となる。

2. 調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、巻末「Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）」を参照。

- (1) 生活全般について
- (2) 貯蓄について
- (3) 住居について
- (4) 資産について
- (5) 仕事と家計について
- (6) 年金について
- (7) 遺産について
- (8) 対象属性（フェイスシート）

3. 調査対象

全国の二人以上世帯 5,000 サンプル

回答は、世帯主または世帯で家計や貯蓄を管理掌握している方に依頼した。

4. 抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出により、全国から250の調査地点を選び、各地点から世帯員2人以上の世帯から、20歳以上の世帯主（と想定される者）を無作為に20サンプル選ぶことによって、計5,000の調査対象（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出は、原則住民基本台帳を使用し、住民基本台帳が閲覧できなかった地点については住宅地図より抽出した。

5. 調査方法

調査員が抽出した調査対象者宅を訪問し、調査票を持参して協力を依頼した。記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった。

6. 調査期間

2015年11月21日（土）～12月20日（日）

7. 回収状況

有効回収数（回収率） 1,691 サンプル（33.8%）

<地域別>

	設定数	回収数	回収率
北海道	220	88	40.0%
東北	360	156	43.3%
関東	1,780	509	28.6%
北陸	200	90	45.0%
中部	580	208	35.9%
近畿	840	271	32.3%
中国	300	117	39.0%
四国	160	48	30.0%
九州	560	204	36.4%
全国計	5,000	1,691	33.8%

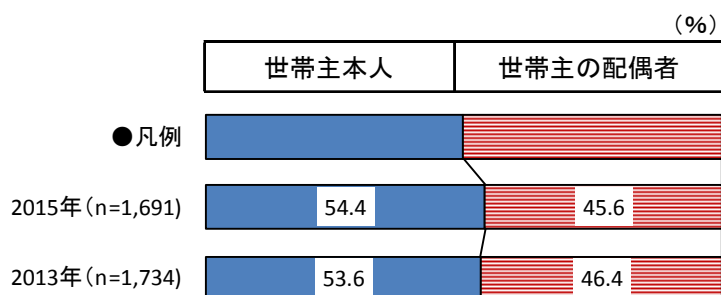
8. 利用上の注意

この調査は標本調査であるため、調査結果には統計的誤差（サンプル誤差）が含まれる。

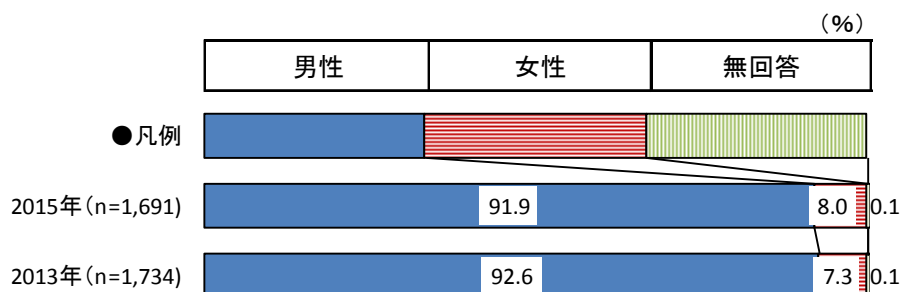
特に言及がない場合、今回の調査結果についてコメントしている。

9. 回答世帯の属性

(1) 回答者

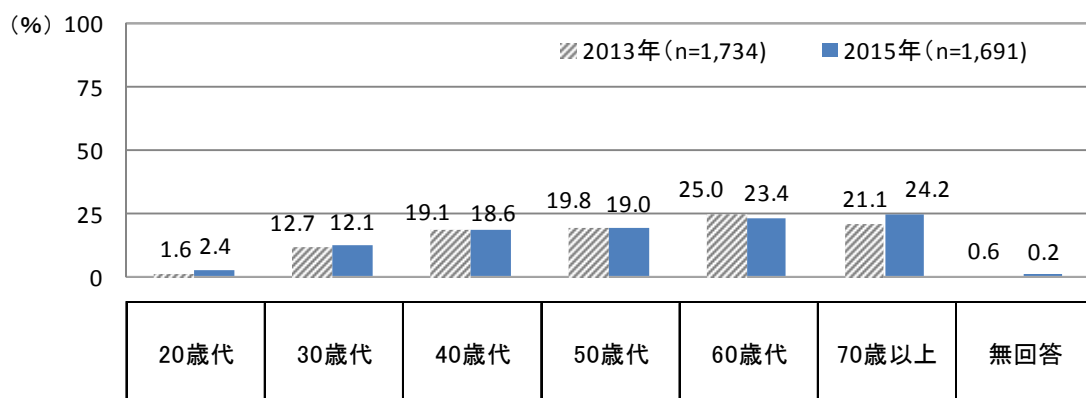


(2) 世帯主性別

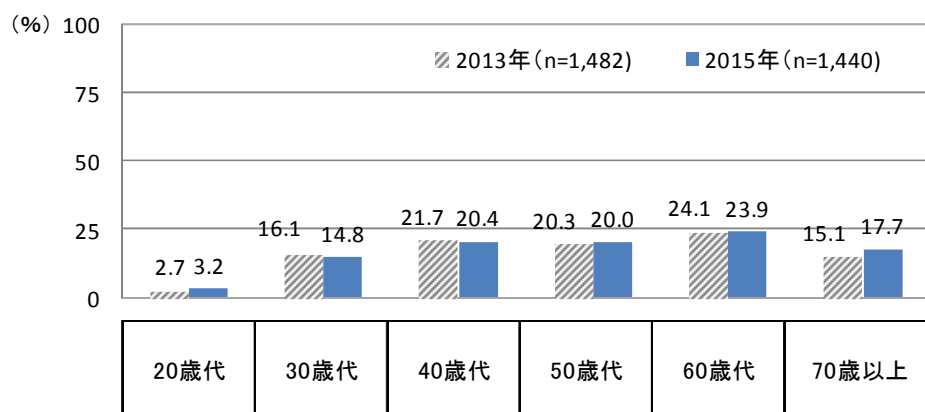


(3) 世帯主および配偶者の年齢

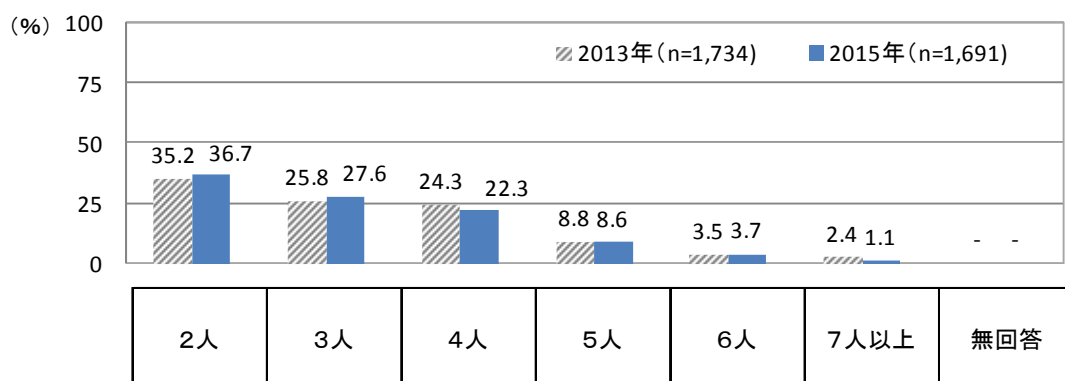
① 世帯主年齢



②配偶者年齢

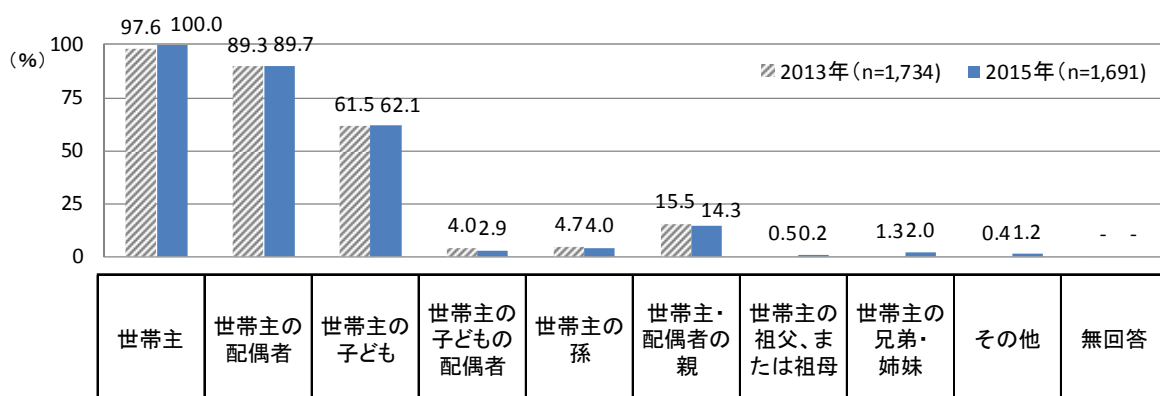


(4) 同居家族人数

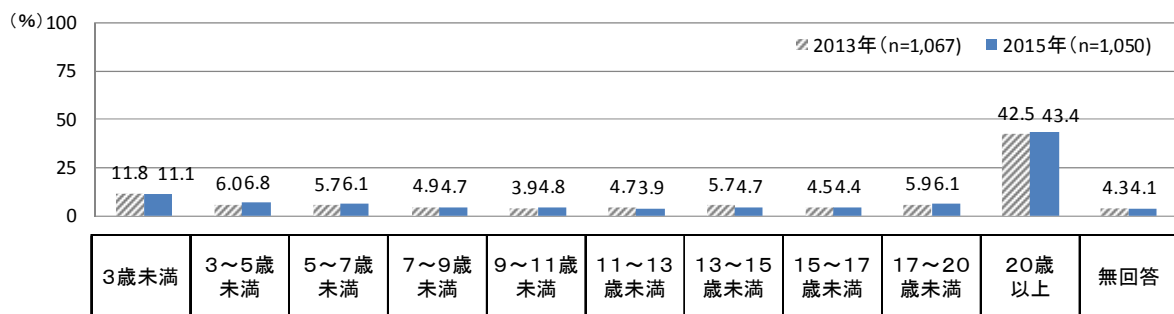


(5) 同居家族

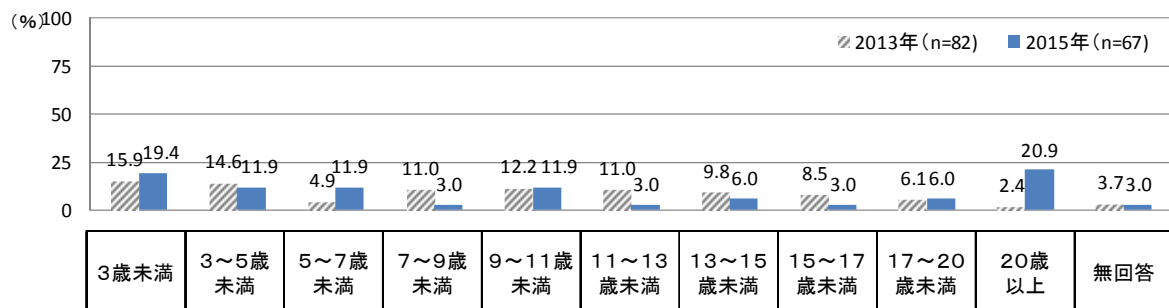
①同居家族の世帯構成 (複数回答)



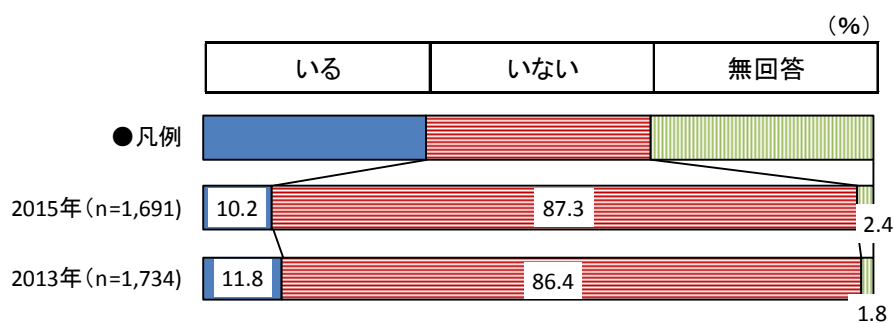
②一番年下の子どもの年齢



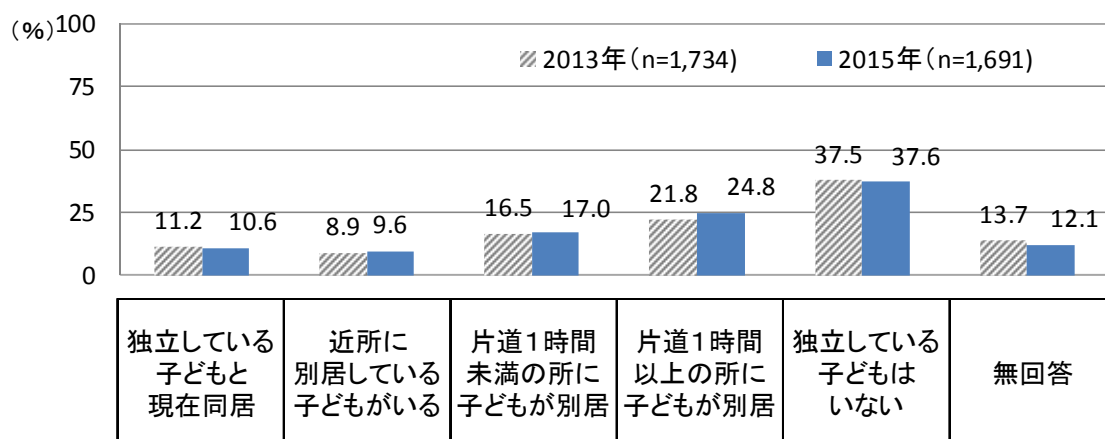
③一番年下の孫の年齢



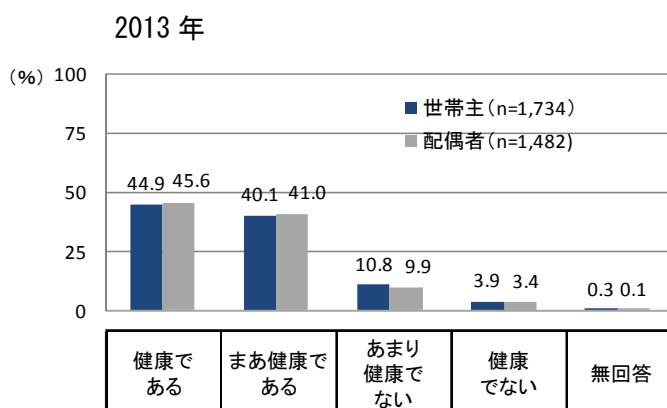
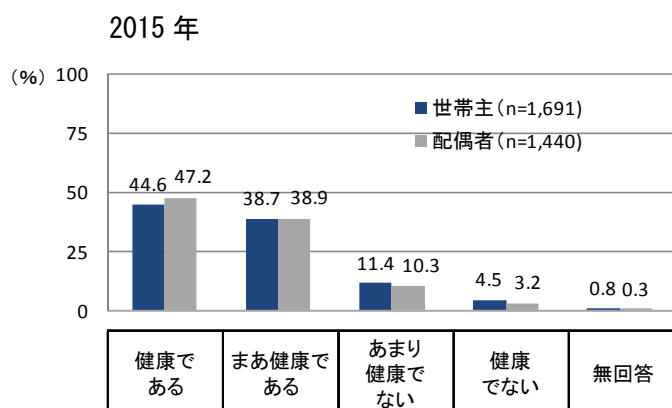
(6) 別居家族有無



(7) 生計を別にする子どもの居住状況（複数回答）



(8) 世帯主および配偶者の健康状態



(9) 世帯主および配偶者の学歴

2015年

(%)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・高等 専門学校	大学・大学 院(文系)	大学・大学 院(理系)	その他	わからない	無回答
本人	(n=1,691)	10.8	42.6	8.1	5.9	16.8	12.8	0.4	0.4	2.3
配偶者	(n=1,440)	8.7	44.9	11.2	19.2	11.4	3.5	0.1	0.1	1.0

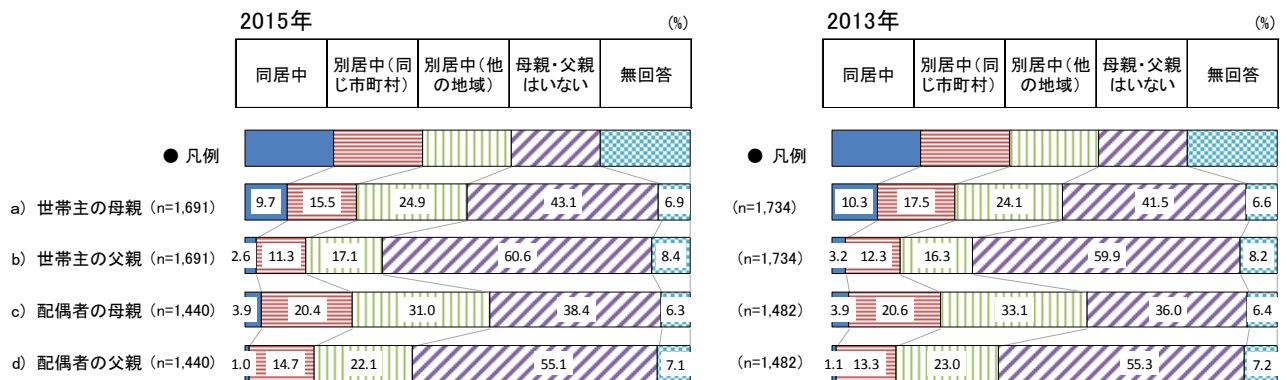
2013年

(%)

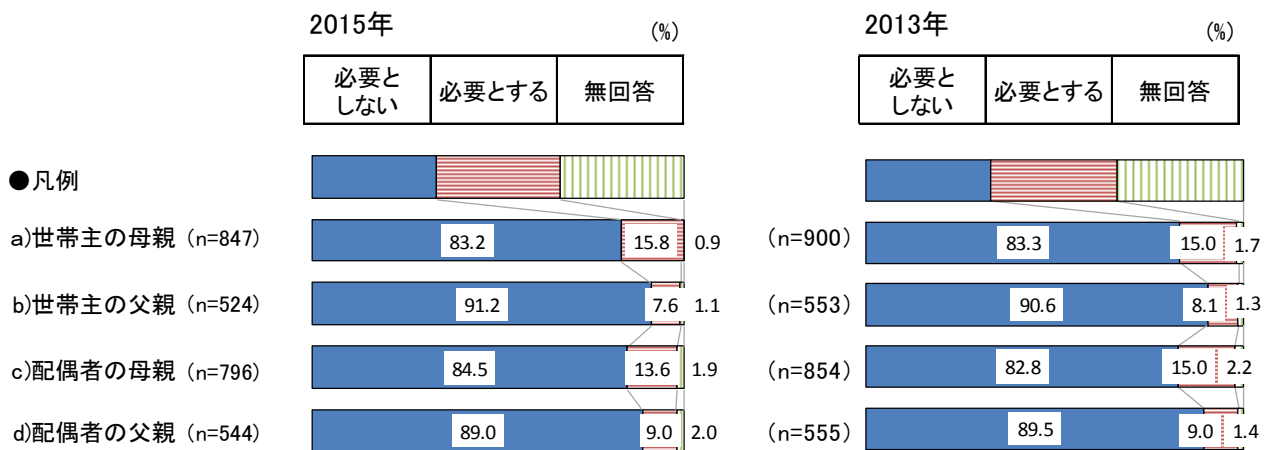
		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・高等 専門学校	大学・大学 院(文系)	大学・大学 院(理系)	その他	わからない	無回答
本人	(n=1,734)	13.5	40.9	7.2	6.0	20.1	10.1	0.3	0.3	1.6
配偶者	(n=1,482)	10.5	44.6	11.1	20.5	10.7	1.9	0.2	0.1	0.4

(10) 世帯主および配偶者の両親

①同居別居状況



②介護の必要有無



③主な介護者（要介護の場合）

2015年

(%)

		世帯主	世帯主の 配偶者	世帯主／ 配偶者の親	その他 の親族	介護老人 福祉施設	介護保健 施設	療養型 病床	有料老人 ホーム	病院	その他	無回答
a)世帯主の母親	(n=134)	9.7	19.4	9.0	11.2	11.9	9.7	2.2	10.4	8.2	5.2	3.0
b)世帯主の父親	(n=40)	2.5	17.5	22.5	7.5	10.0	10.0	7.5	7.5	7.5	2.5	5.0
c)配偶者の母親	(n=108)	2.8	18.5	5.6	26.9	17.6	8.3	2.8	10.2	3.7	0.9	2.8
d)配偶者の父親	(n=49)	—	26.5	12.2	16.3	8.2	6.1	2.0	10.2	12.2	2.0	4.1

2013年

(%)

		世帯主	世帯主の 配偶者	世帯主／ 配偶者の親	その他 の親族	介護老人 福祉施設	介護保健 施設	療養型 病床	有料老人 ホーム	病院	その他	無回答
a)世帯主の母親	(n=135)	11.1	17.8	1.5	23.0	9.6	11.9	3.7	8.1	5.2	3.7	4.4
b)世帯主の父親	(n=45)	11.1	26.7	11.1	17.8	—	8.9	2.2	6.7	6.7	8.9	—
c)配偶者の母親	(n=128)	3.1	18.8	3.9	27.3	18.0	7.8	2.3	8.6	2.3	4.7	3.1
d)配偶者の父親	(n=50)	—	16.0	26.0	14.0	6.0	10.0	4.0	8.0	4.0	8.0	4.0

④介護費用（要介護の場合）

2015年

(%)

		3万円未 満	3～5万 円未満	5～7万 円未満	7～10万 円未満	10～15 万円未満	15万円 以上	わから ない	無回答
a)世帯主の母親	(n=134)	18.7	9.0	13.4	11.9	4.5	6.7	29.1	6.7
b)世帯主の父親	(n=40)	22.5	2.5	5.0	15.0	5.0	5.0	37.5	7.5
c)配偶者の母親	(n=108)	19.4	7.4	7.4	11.1	8.3	3.7	38.0	4.6
d)配偶者の父親	(n=49)	14.3	8.2	2.0	8.2	12.2	8.2	42.9	4.1

2013年

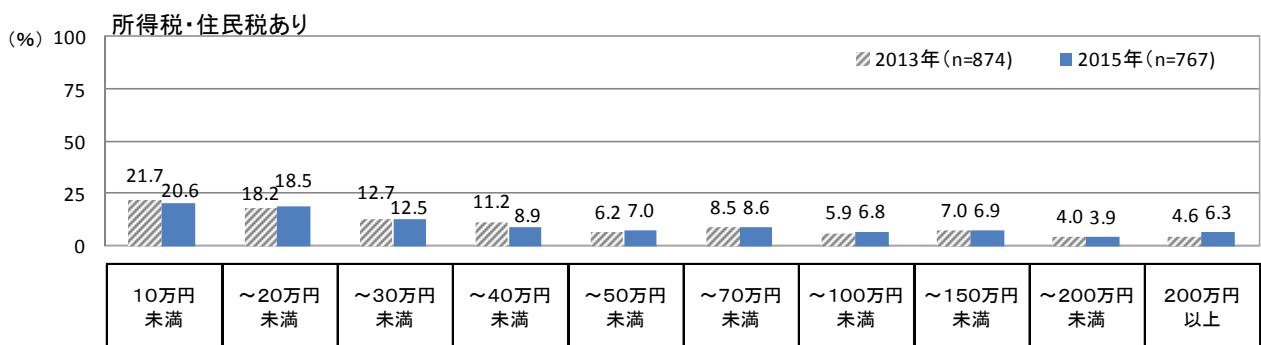
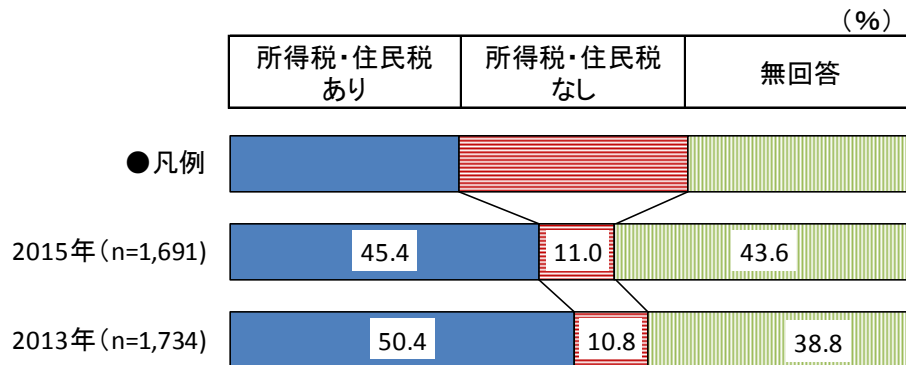
(%)

		3万円未 満	3～5万 円未満	5～7万 円未満	7～10万 円未満	10～15 万円未満	15～20 万円未満	20～25 万円未満	25～30 万円未満	30万円 以上	その他	無回答
a)世帯主の母親	(n=135)	10.4	8.9	10.4	8.9	11.1	3.7	0.7	—	—	45.9	4.4
b)世帯主の父親	(n=45)	13.3	6.7	4.4	4.4	8.9	4.4	2.2	2.2	—	53.3	—
c)配偶者の母親	(n=128)	15.6	9.4	5.5	6.3	10.2	1.6	1.6	—	—	50.0	3.1
d)配偶者の父親	(n=50)	18.0	2.0	8.0	2.0	12.0	6.0	—	—	—	52.0	4.0

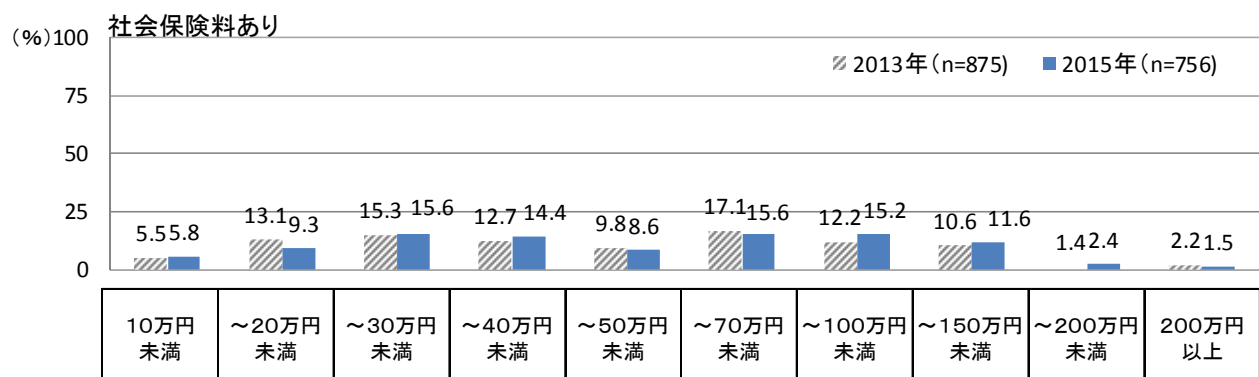
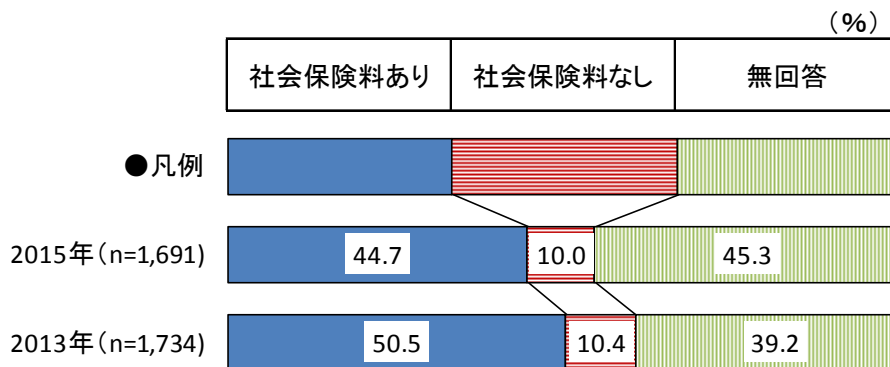
※2013 年は実数回答で質問。2015 年は選択式で質問。

(1 1) 年間の所得税・住民税・社会保険料

①所得税・住民税



②社会保険料



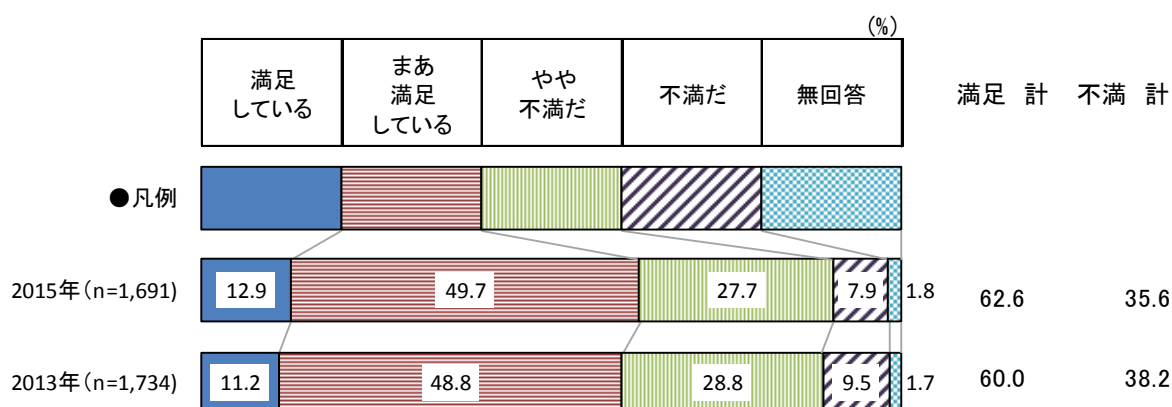
Ⅱ 結果の概要

1. 生活全般について

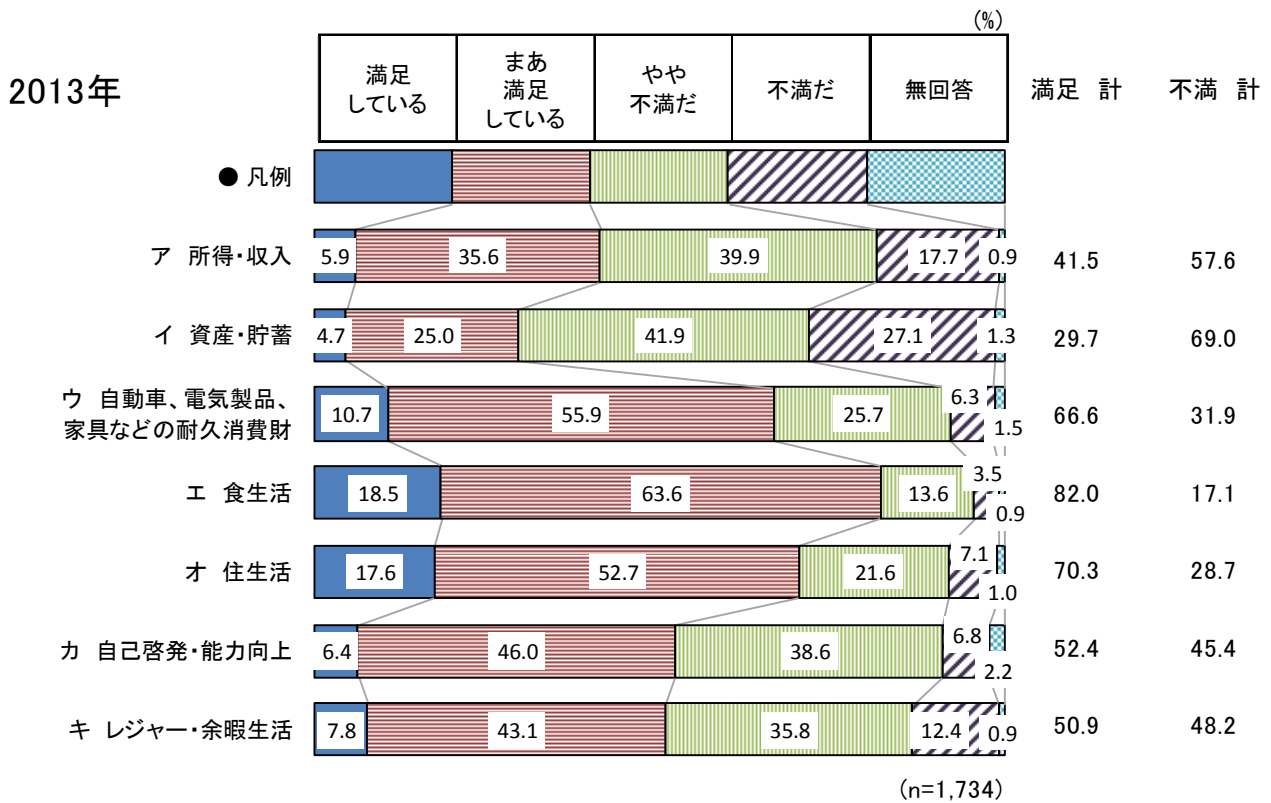
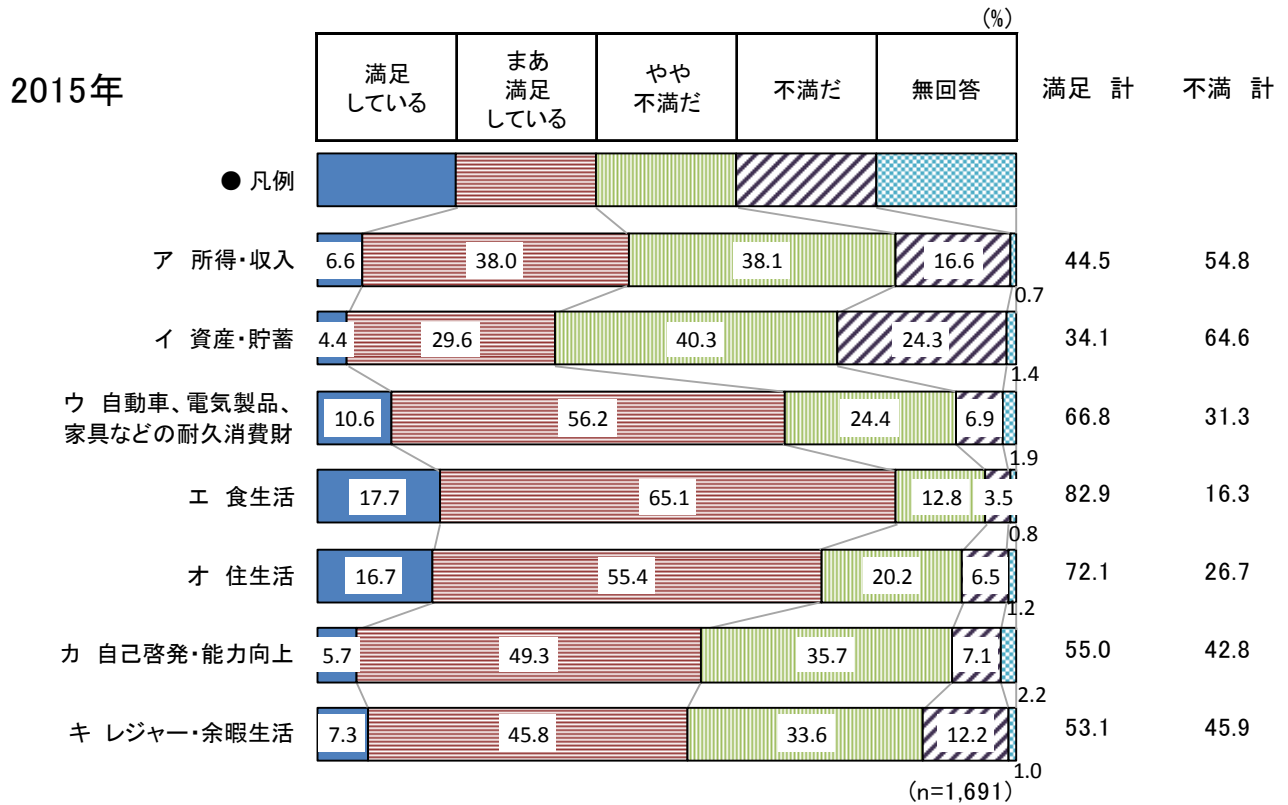
(1) 現在の生活満足度

- 全体として現在の生活に満足している程度は、『満足している 計』が62.6%を占め、『不満 計』の35.6%を大きく上回った。最も回答が多かったのは「まあ満足している」(49.7%)であった。
*『満足している 計』は「満足している」と「まあ満足している」の合計。『不満 計』は「不満だ」と「やや不満だ」の合計。
- 各生活面別の満足度では、“食生活”、“住生活”、“自動車、電気製品、家具などの耐久消費財”での満足度が高く、『満足している 計』が6割を超える一方、“資産・貯蓄”や“所得・収入”での満足度が低い。
“所得・収入”については、『満足している 計』(44.5%)が約4割にとどまり、『不満 計』(54.8%)が6割弱を占めた。
“資産・貯蓄”については、『満足している 計』(34.1%)が約3割にとどまり、『不満 計』(64.6%)の約半数であった。
“自動車、電気製品、家具などの耐久消費財”については、『満足している 計』(66.8%)が7割弱になり、『不満 計』(31.3%)を2倍以上上回った。
“食生活”については、『満足している 計』が82.9%となり、『不満 計』16.3%を5倍以上上回った。
“住生活”については、『満足している 計』が72.1%となり、『不満 計』26.7%を2倍以上上回った。
“自己啓発・能力向上”については、『満足している 計』が55.0%で、『不満 計』42.8%を上回った。
“レジャー・余暇生活”については、『満足している 計』が53.1%で、『不満 計』45.9%を上回った。

(図表 1－1) 全体としての生活満足度 (問 1)



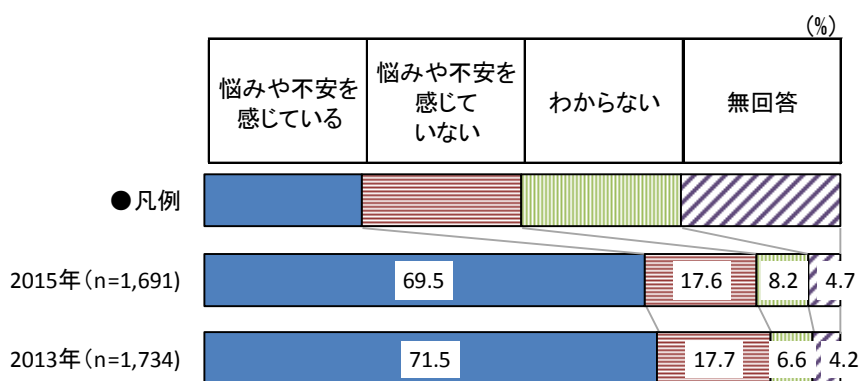
(図表 1 - 2) 現在の生活満足度 (問 2)



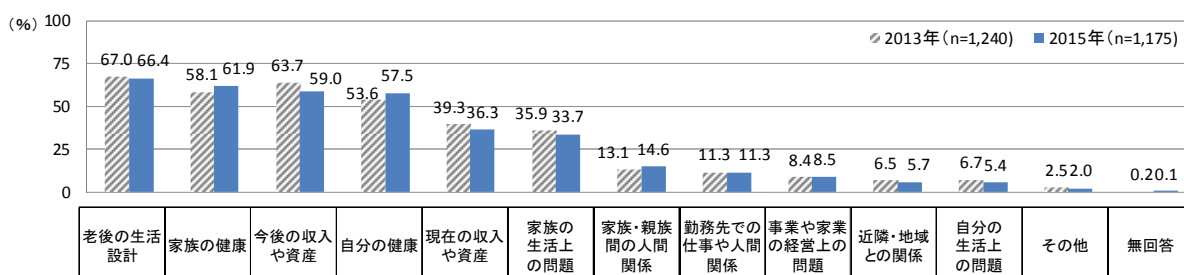
(2) 日頃の生活の中での悩みや不安

- 日頃の生活の中での悩みや不安については、「悩みや不安を感じている」との回答が 69.5% を占め、「悩みや不安を感じていない」(17.6%) を大きく上回った。
- 「悩みや不安を感じている」と回答した人(1,175 人)の不安内容(複数回答)としては、「老後の生活設計」が 66.4% で最も高く、次いで「家族の健康」が 61.9、以下、「今後の収入や資産」が 59.0%、「自分の健康」が 57.5% と 5 割以上である。将来の収入や健康面に不安を感じている人が多い。

(図表 1－3) 日頃の生活の中での悩みや不安感(問 3)



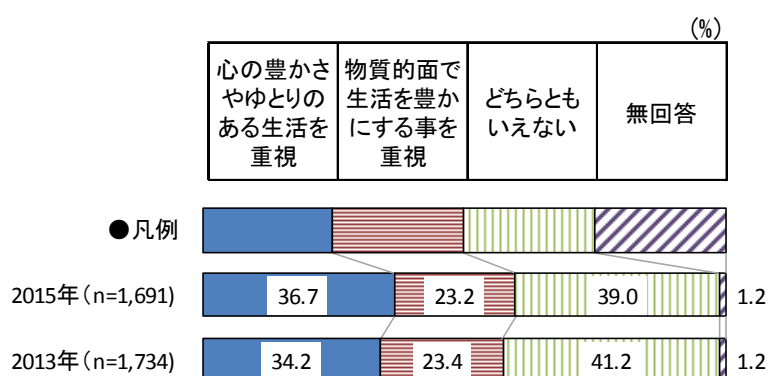
(図表 1－4) 日頃から感じている不安内容(問 3－1、複数回答)



(3) 物の豊かさと心の豊かさ

- 物の豊かさと心の豊かさに関する考え方については、「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」との回答が 36.7%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに、重きをおきたい」との回答 (23.2%) を 13 ポイント上回っている。一方で、「どちらともいえない」との回答が 39.0%を占めた。

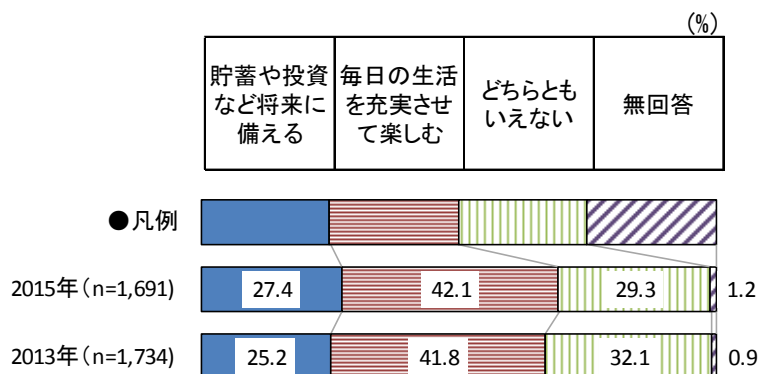
(図表 1－5) 今後の生活における「豊かさ」についての考え方 (問4)



(4) 今後の生活において重点を置きたいこと

- 今後の生活において重点を置きたいこととしては、「毎日の生活を充実させて楽しむ」との回答が 42.1%となり、「貯蓄や投資など将来に備える」(27.4%) を上回っている。なお、「どちらともいえない」との回答は 29.3%であった。

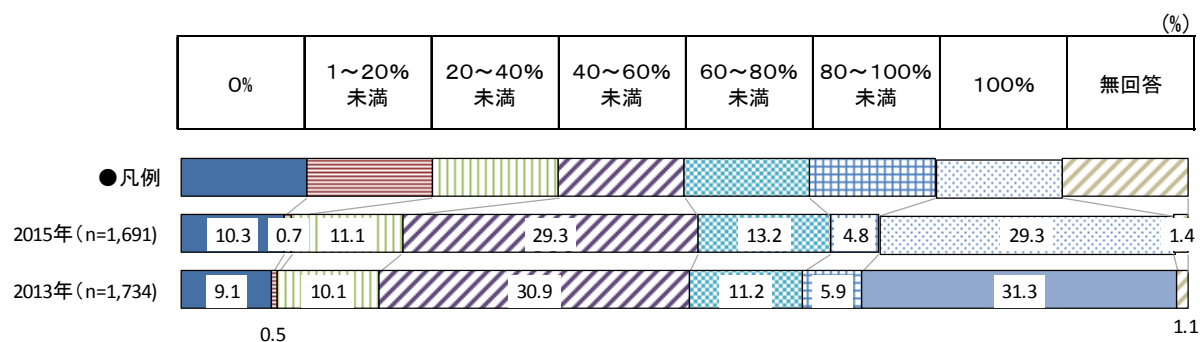
(図表 1－6) 今後の生活において重点を置きたいこと (問5)



（５）普段の外出の際に雨具を持参する降水確率

- 普段外出する際に傘などの雨具を持って出かけるのは降水確率が何パーセント以上のときかを尋ねたところ、降水確率「１００％」で持参するとの回答と、「４０～６０％未満」がともに 29.3％で、最も高い。

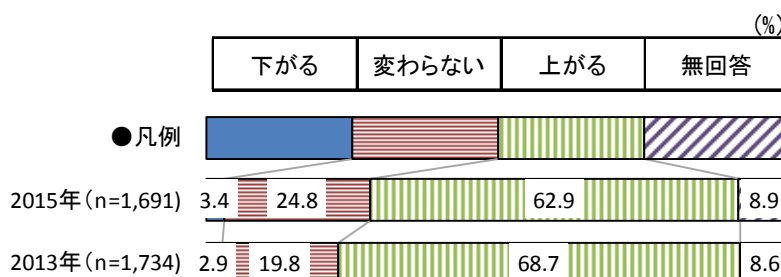
（図表 １－７） 普段の外出の際に雨具を持参する降水確率（問 ６）



（６）物価動向に関する考え

- １年後の物価が現在と比べてどうなるかを尋ねたところ、「上がる」との回答は 62.9％と多数を占め、「変わらない」は 24.8％、「下がる」は 3.4％であった。前回に比べると「上がる」が 5 ポイント程減り、「変わらない」が 5 ポイント程増えている。
- 「下がる」と回答した人 (57 人) が考える １年後の物価の下落幅としては、「２％～５％未満」が 49.1％で最多となり、「２％未満」が 29.8％でそれに続いている。
- 「上がる」と回答した人 (1,064 人) が考える １年後の物価の上昇幅としては、「２％～５％未満」が 49.0％で約半数を占め、次いで「２％未満」(21.9％) と「５％～１０％未満」(21.8％) が同程度となっている。

（図表 １－８） 現在と比べた １年後の物価の変動（問 ７）



(図表 1－9) 1年後の物価の下落幅・1年後の物価の上昇幅(問7－1、問7－2)

2015年		(%)				
		2%未満	2%～5%未満	5%～10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=57)	 29.8	 49.1	 14.0	 7.0	—
上がる幅	(n=1,064)	 21.9	 49.0	 21.8	 6.2	1.1

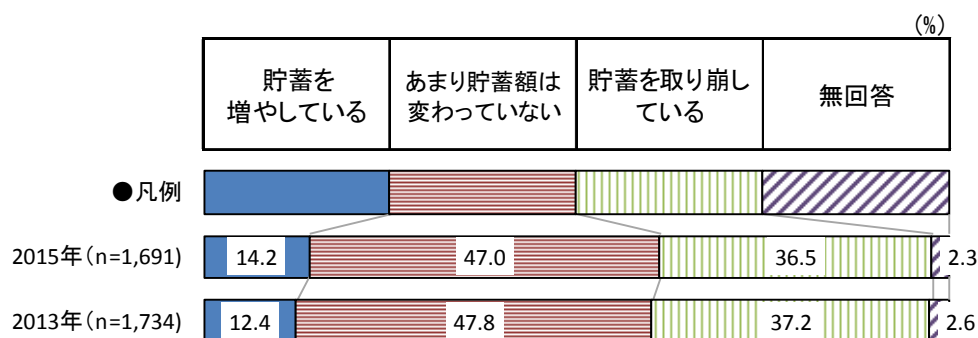
2013年		(%)				
		2%未満	2%～5%未満	5%～10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=50)	 46.0	 36.0	 14.0	 4.0	—
上がる幅	(n=1,191)	 15.9	 51.0	 26.7	 6.0	0.3

2. 貯蓄について

(1) 世帯の貯蓄状況

- 世帯の現在の貯蓄状況について尋ねたところ、「あまり貯蓄額は変わっていない」が47.0%で最も多く、「貯蓄を取り崩している」は36.5%、「貯蓄を増やしている」は14.2%であった。

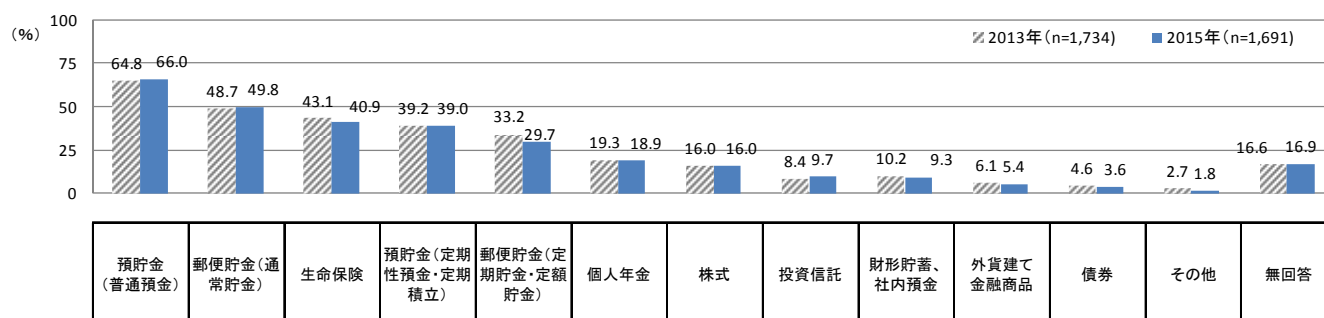
(図表2-1) 世帯の貯蓄状況 (問8)



(2) 世帯で保有している預貯金・金融商品

- 世帯で保有している預貯金・金融商品（複数回答）では、「預貯金（普通預金）」が66.0%で最も多く、次いで「郵便貯金（通常貯金）」（49.8%）と、普通・通常預貯金が上位を占めている。以下、「生命保険」（40.9%）、「預貯金（定期性預金・定期積立）」（39.0%）、「郵便貯金（定期貯金・定額貯金）」（29.7%）の順で続いている。

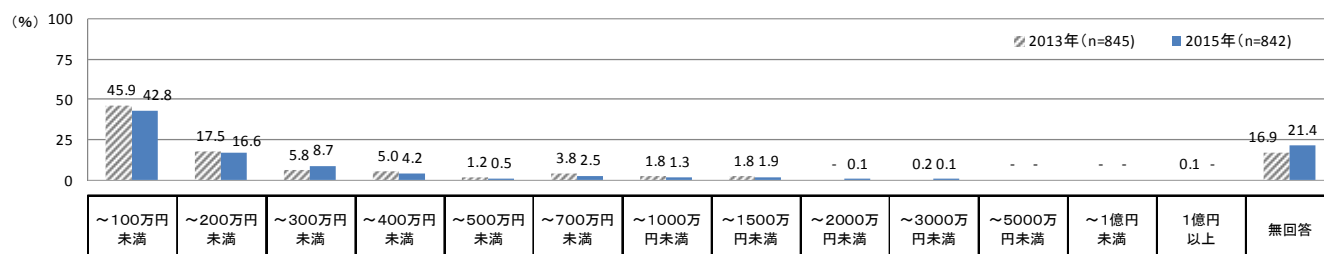
(図表2-2) 保有している預貯金・金融商品 (問9(1)、複数回答)



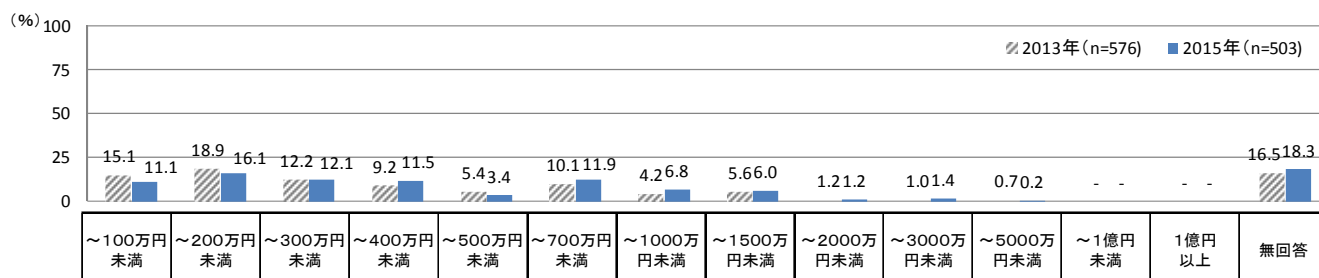
(3) 保有している預貯金・金融商品の現在高

- 郵便貯金（通常貯金）を保有している人（842 人）の現在高は、「100万円未満」が42.8%で最も多く、「100～200万円未満」（16.6%）がそれに続き、『200万円未満』で約6割を占める。
- 郵便貯金（定期貯金・定額貯金）を保有している人（503 人）の現在高は、「100～200万円未満」が16.1%で最も多く、『400万円未満』が5割を占めている。
- 預貯金（普通預金）を保有している人（1,116 人）の現在高は、「100万円未満」が25.6%で最も多く、「100～200万円未満」が19.4%と続き、『300万円未満』が5割を占めている。
- 預貯金（定期性預金・定期積立）を保有している人（659 人）の現在高は、「100万円未満」が11.7%、「100～200万円未満」が12.0%と続き、『700万円未満』が5割を占めている。

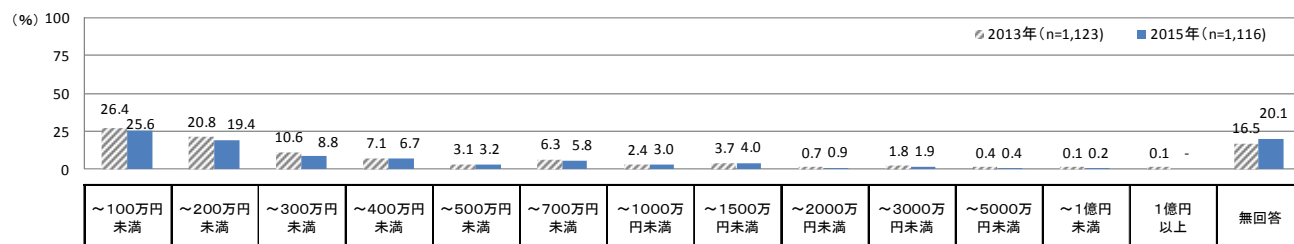
(図表 2－3) 郵便貯金（通常貯金）の現在高（問 9 (2) ①)



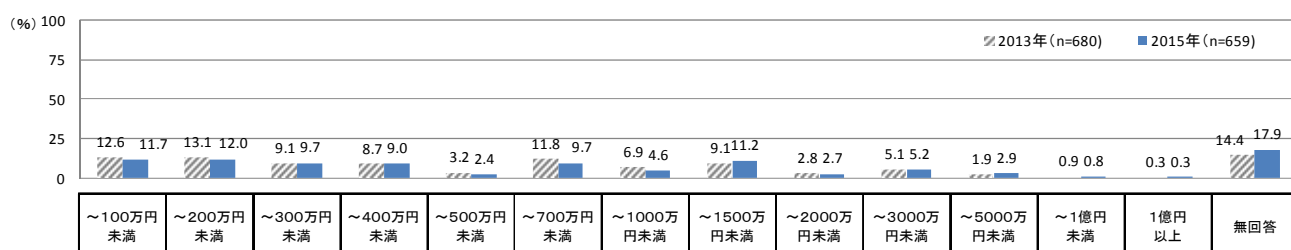
(図表 2－4) 郵便貯金（定期貯金・定額貯金）の現在高（問 9 (2) ②)



(図表 2－5) 預貯金（普通預金）の現在高（問 9 (2) ③)

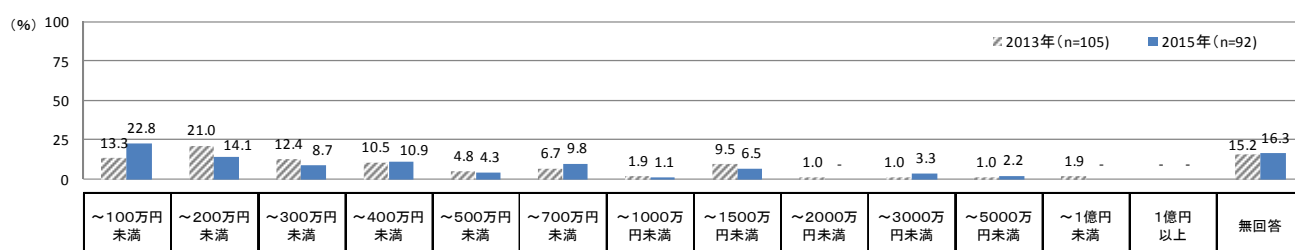


(図表 2－6) 預貯金（定期性預金・定期積立）の現在高（問 9 (2) ④)

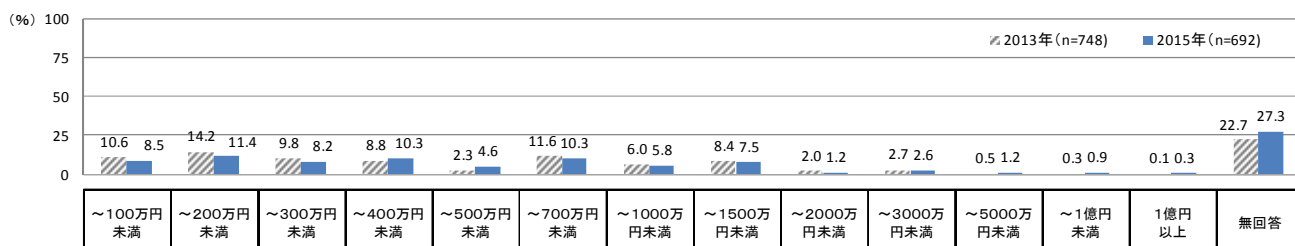


- 外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、F X等）を保有している人（92人）の現在高は、「100万円未満」が22.8%で最も多く、「100～200万円未満」が14.1%で続き、『400万円未満』が5割を占めている。
- 生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含まず）を保有している人（692人）の現在高は、「100～200万円未満」（11.4%）が最も多く、同程度で「300～400万円未満」と「500～700万円未満」（ともに10.3%）と続く。『700万円未満』が5割を占めている。
- 個人年金（公的年金の保険料は含まず）を保有している人（319人）の現在高は、「100万円未満」（14.7%）、「100～200万円未満」（13.2%）、「200～300万円未満」（14.1%）がそれぞれ1割台で、『400万円未満』が5割を占めている。

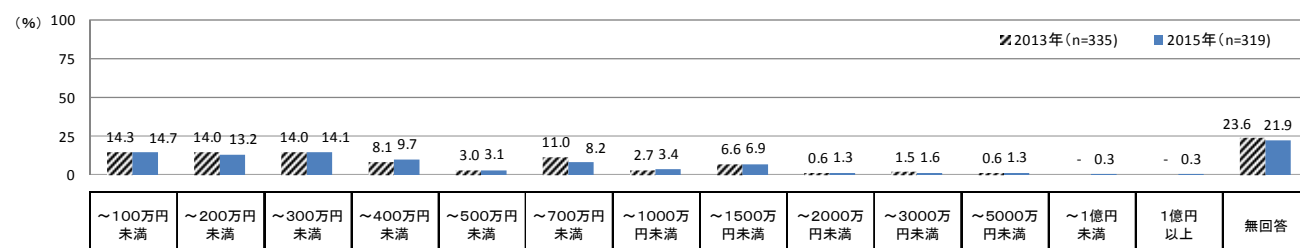
（図表2－7）外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、F X等）の現在高（問9(2)⑤）



（図表2－8）生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含まず）の現在高（問9(2)⑥）

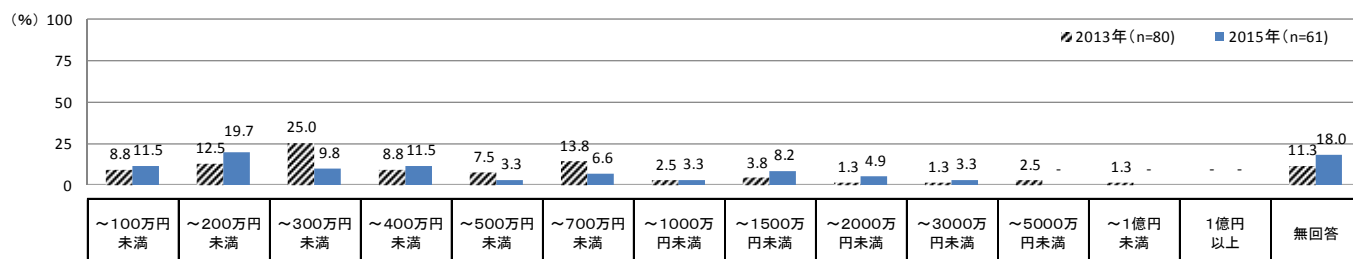


（図表2－9）個人年金（公的年金の保険料は含まず）の現在高（問9(2)⑦）

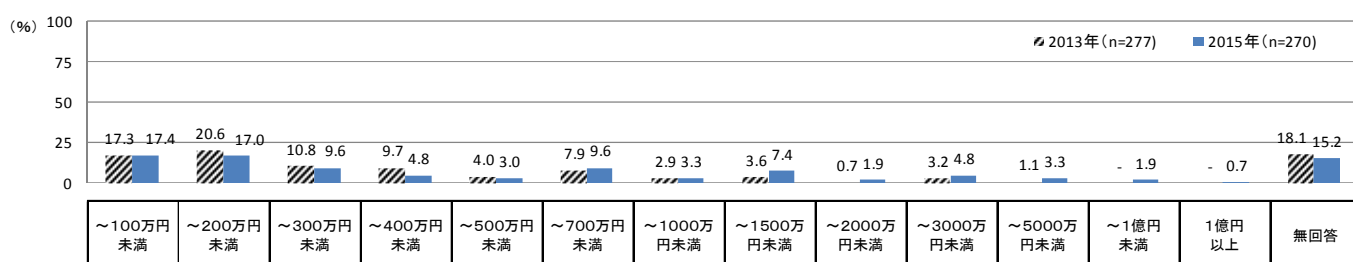


- 債券(国債、金融債(ワイドを含む)、社債等)を保有している人(61人)の現在高は、「100～200万円未満」が19.7%で最も多く、次いで「100万円未満」と「300～400万円未満」がともに11.5%となっている。『400万円未満』が5割を占めている。
- 株式(従業員持株制度による株式を含む)を保有している人(270人)の現在高は、「100万円未満」(17.4%)と「100～200万円未満」(17.0%)が多く、『500万円未満』が5割を占めている。
- 投資信託(公社債投信、株式投信、MMF、REIT等)を保有している人(164人)の現在高は、「100万円未満」と「100～200万円未満」がともに13.4%で多く、『500万円未満』がほぼ5割を占めている。
- 財形貯蓄、社内預金を保有している人(157人)の現在高は、「100万円未満」が23.6%で最も多く、次いで「100～200万円未満」が19.7%。『300万円未満』が5割を占めている。
- その他(貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等)の金融商品を保有している人(30人)の現在高は、「100万円未満」(20.0%)が最も多く、『400万円未満』が5割を占めている。

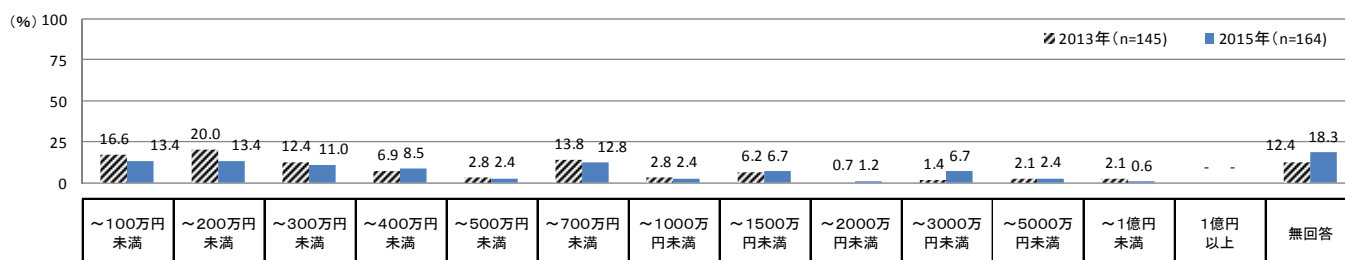
(図表2-10) 債券(国債、金融債(ワイドを含む)、社債等)の現在高(問9(2)⑧)



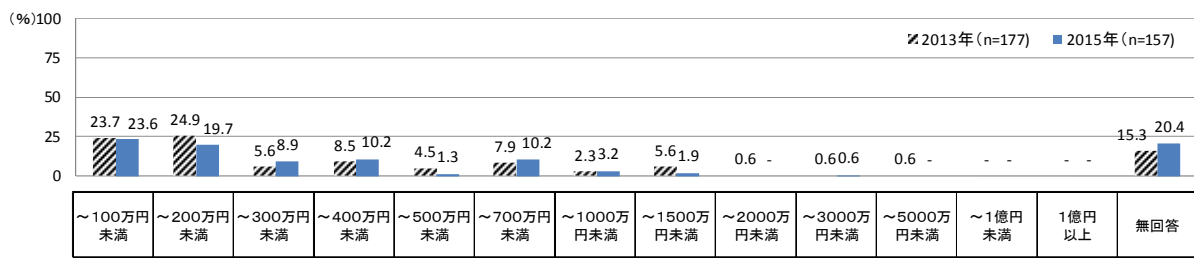
(図表2-11) 株式(従業員持株制度による株式を含む)の現在高(問9(2)⑨)



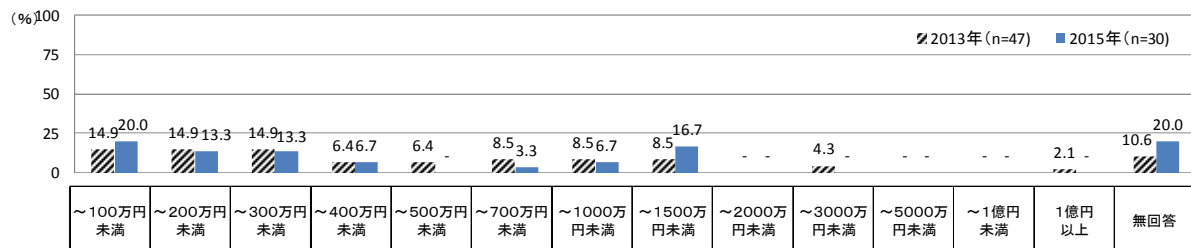
(図表2-12) 投資信託(公社債投信、株式投信、MMF、REIT等)の現在高(問9(2)⑩)



(図表 2-13) 財形貯蓄、社内預金の現在高 (問 9 (2) ⑪)



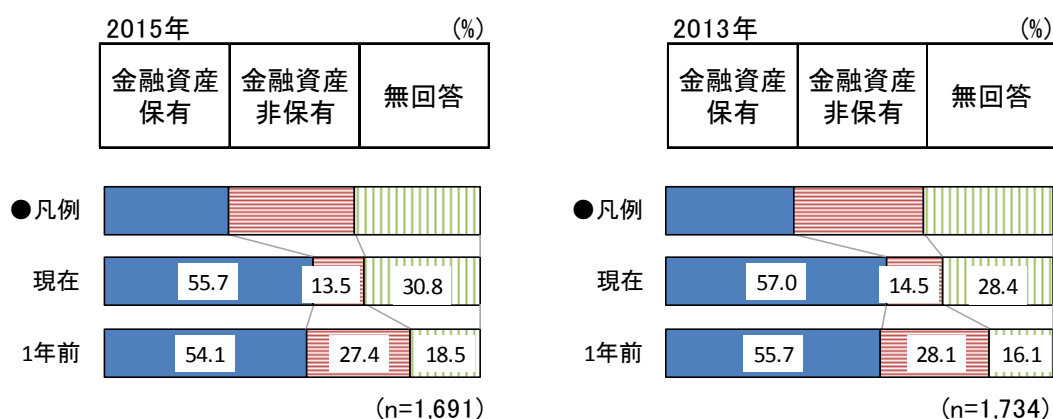
(図表 2-14) その他(貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等)の現在高 (問 9 (2) ⑫)



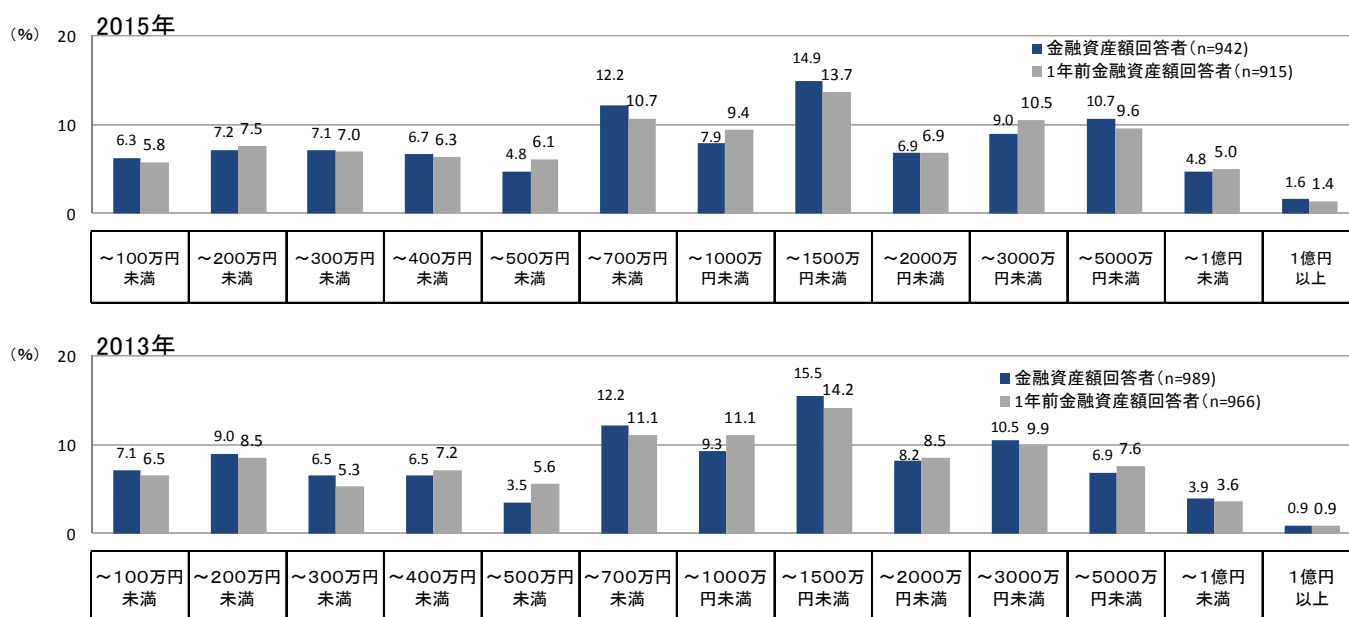
(4) 金融資産の世帯保有状況

- 現金や決済性預金を含めた金融資産の世帯保有状況は、現在 55.7%が保有、1年前は 54.1%が保有しており、大きな変化は見られない。なお、無回答者が現在 30.8%、1年前は 18.5%を占めていることに留意いただきたい。
- 現在保有残高を回答した人（942 人）の現金や決済性預金を含めた世帯金融資産残高は、「1000～1500万円未満」が 14.9%で最も多く、「500～700万円未満」が 12.2%、「3000～5000万円未満」が 10.7%と続き、『1000万円未満』が 5割を占めている。
- 1年前の保有残高を回答した人（915 人）の 1年前の現金や決済性預金を含めた世帯金融資産残高は、「1000～1500万円未満」が 13.7%で最も多く、「500～700万円未満」（10.7%）と、「2000～3000万円未満」（10.5%）と続き、『1000万円未満』が 5割を占めている。

(図表 2－15) 現在・1年前の金融資産 世帯保有状況有無（問 10(1)(2)）



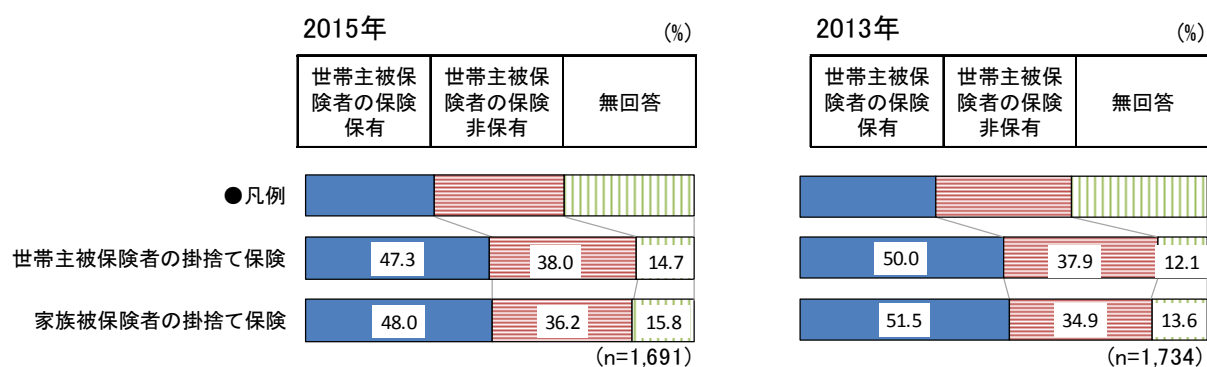
(図表 2－16) 現在・1年前世帯保有の金融資産残高（問 10(1)(2)）



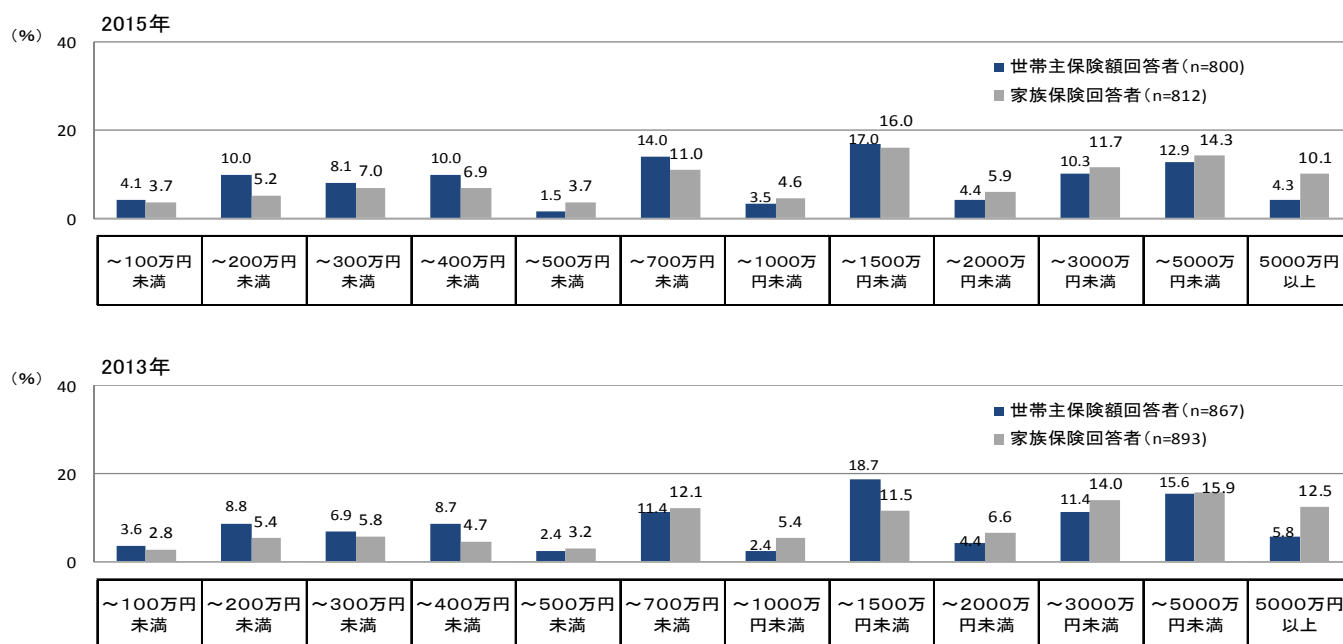
(5) 保険商品の保有状況

- 世帯主が被保険者となっている掛け捨て保険を保有しているのは47.3%で、非保有38.0%を上回っている。世帯主を含む家族の掛け捨て保険の保有有無を見ると、48.0%が保有し、36.2%が非保有となっている。
- 世帯主が被保険者となっている掛け捨て保険に入っている世帯（800人）の死亡保障金額は、「1000～1500万円未満」が17.0%で最も多く、「500～700万円未満」が14.0%、「3000～5000万円未満」が12.9%と続き、『1000万円未満』が5割を占めている。
- 世帯主を含む家族が掛け捨て保険に入っている世帯（812人）の家族全員の死亡保障合計金額は、「1000～1500万円未満」が16.0%で最も多く、「3000～5000万円未満」が14.3%、「2000～3000万円未満」が11.7%と続く。『1500万円未満』が5割を占めている。

(図表2-17 世帯主被保険者・家族被保険者の掛け捨て保険 保有有無 (問11(1)、(2)))



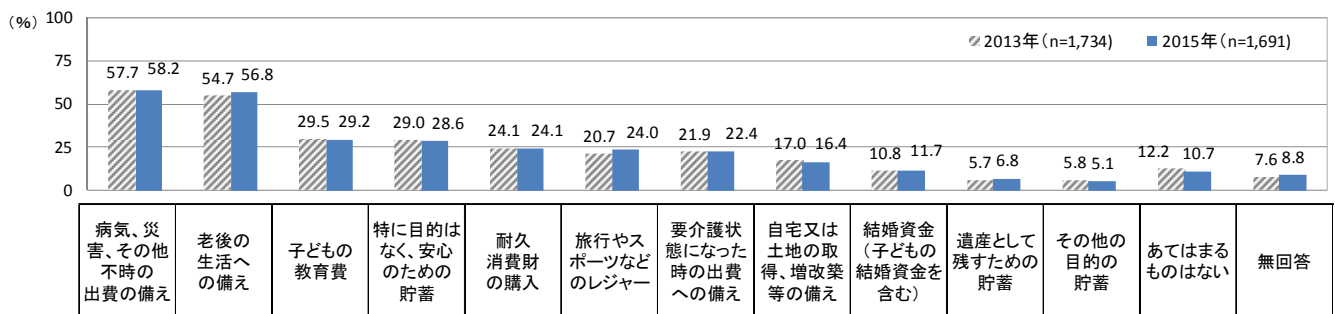
(図表2-18) 世帯主保有掛け捨て保険・家族保有掛け捨て保険死亡保障金額 (問11(1)、(2))



(6) 世帯貯蓄の目的

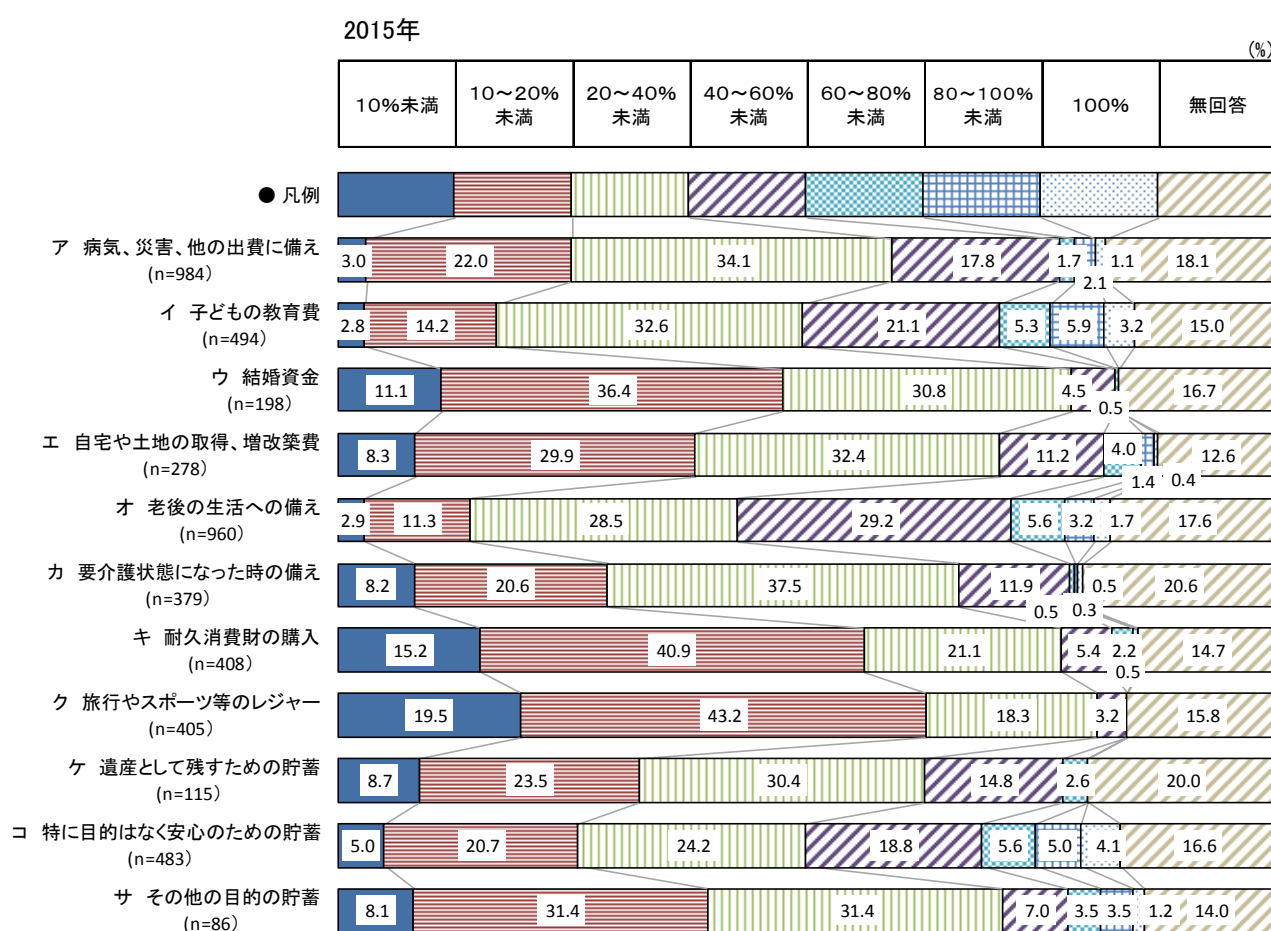
- 世帯で貯蓄している目的を複数回答で尋ねたところ、「病気、災害、その他不時の出費の備え」(58.2%)と「老後の生活への備え」(56.8%)がともに5割台で特に高い。次いで「子どもの教育費」が29.2%である。「特に目的はなく、安心のための貯蓄」は4番目に多い28.6%である。

(図表2-19) 貯蓄の目的(問12(1)、複数回答)



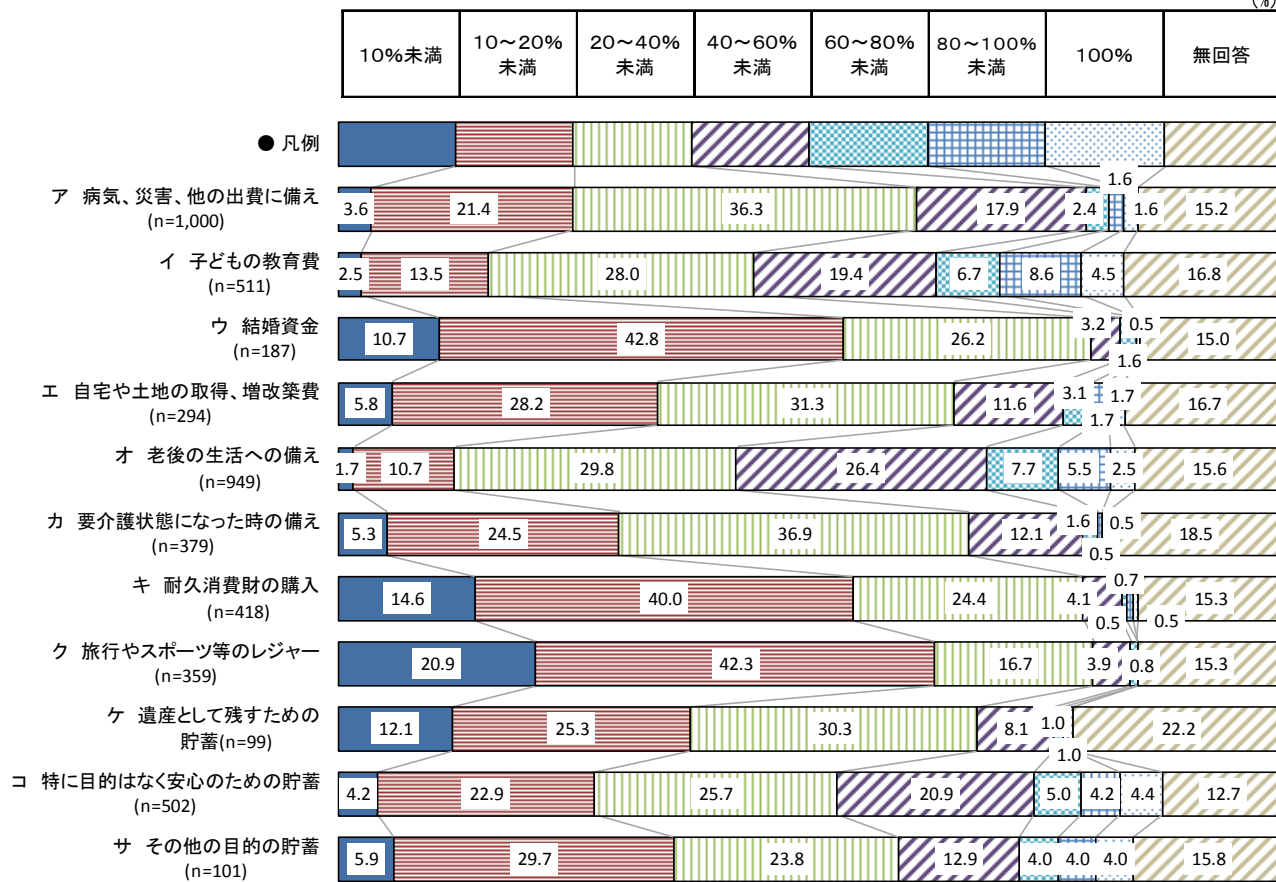
- 各目的が貯蓄総額に占める割合を尋ねたところ、最も保有率の多かった「病気、災害、その他不時の出費への備え」として貯蓄を行っている世帯（984人）の割り当て率は、「20～40%未満」が34.1%で最も多く、次いで「10～20%未満」（22.0%）、「40～60%未満」（17.8%）の順であった。次に保有率の多かった「老後の生活への備え」として貯蓄を行っている世帯（960人）の割り当て率は、「40～60%未満」が29.2%、次いで「20～40%未満」が28.5%である。
- 「40～60%未満」の比較的高い割り当て率が2割を超える貯蓄目的は、「イ 子どもの教育費」（21.1%）と「オ 老後の生活への備え」（29.2%）であった。逆に、割り当て率が「10%未満」の世帯が2割を超える項目はなかったが、「ク 旅行やスポーツなどのレジャー」が19.5%である。

（図表２－２０）各貯蓄が総額に占める割合（問１２（２））



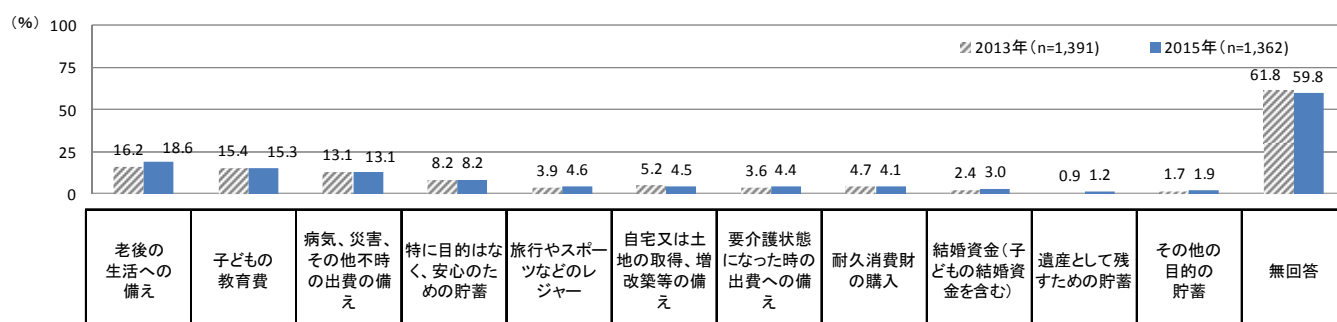
2013.年

(%)

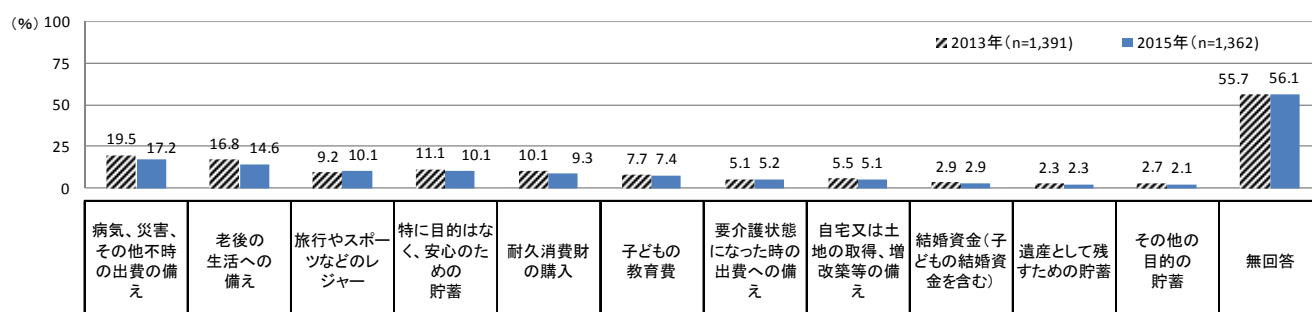


- 貯蓄目的がある人（1,362人）に、1年前に比べて金額が増えた貯蓄（複数回答）を尋ねたところ、「老後の生活への備え」が18.6%で最も多く、以下「子どもの教育費」が15.3%、「病気、災害、その他不時の出費の備え」が13.1%と1割台で続く。
- 貯蓄目的がある人（1,362人）に、1年前に比べて金額が減った貯蓄（複数回答）は、「病気、災害、その他不時の出費の備え」が17.2%で最も多く、以下「老後の生活への備え」が14.6%、「旅行やスポーツなどのレジャー」と「特に目的はなく、安心のための貯蓄」が10.1%と続き、この4項目が1割台の回答であった。

（図表２－２１）１年前に比べて増えた貯蓄（問１２(3)、複数回答）



（図表２－２２）１年前に比べて減った貯蓄（問１２(4)、複数回答）

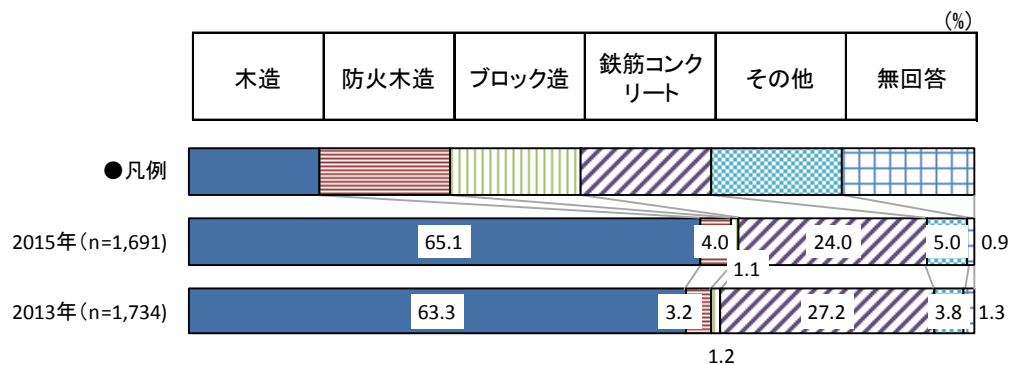


3. 住居について

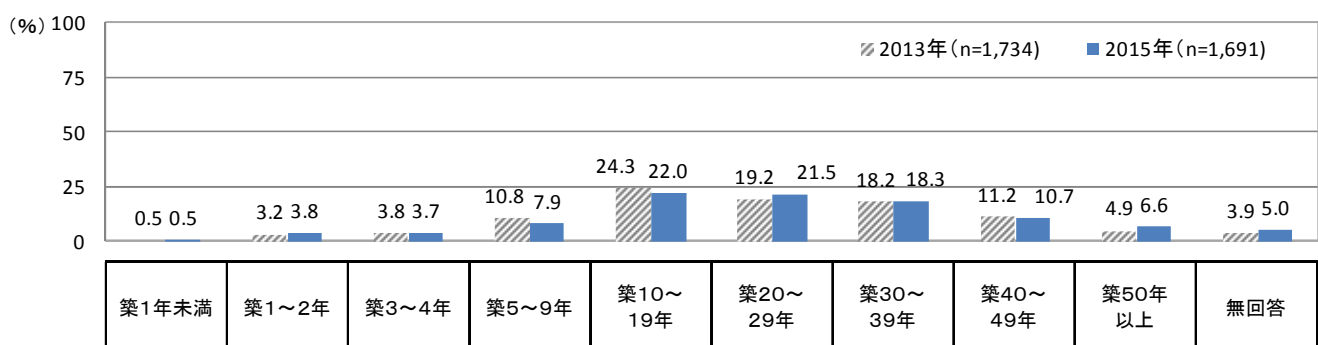
(1) 現在の住居の構造・築年数・面積

- 現在の住居の構造は「木造」が65.1%と全体の6割強を占めて最も多く、次いで「鉄筋コンクリート」が24.0%となっている。
- 現在の住居の築年数は「築10～19年」が22.0%と最も多く、次いで「築20～29年」が21.5%、「築30～39年」が18.3%となっている。
- 現在の住居の敷地面積は「200～300㎡未満」が14.4%で最も多く、次いで「150～200㎡未満」が12.1%、「100～150㎡未満」が10.2%となっている。
- 現在の住居の床面積は「50～100㎡未満」が25.3%で最も多く、次いで「100～150㎡未満」が25.0%となっている。

(図表3-1) 現在の住居の構造 (問13)

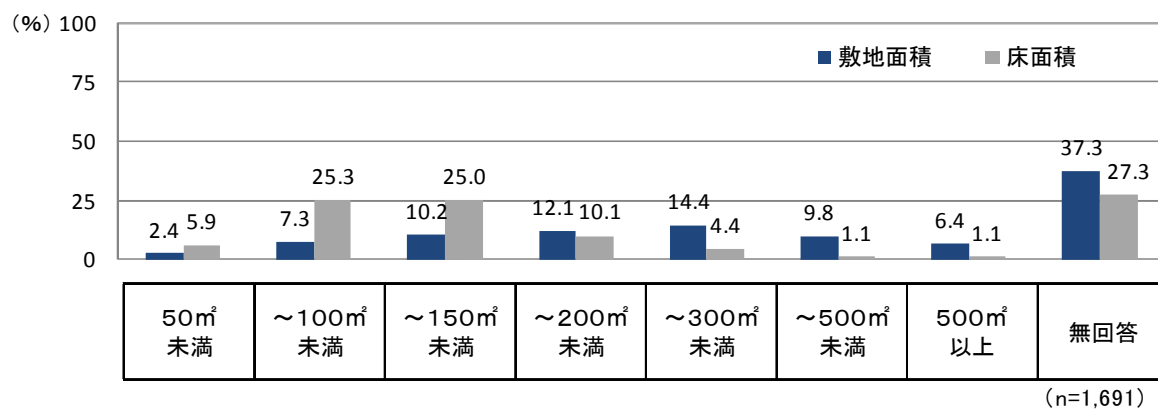


(図表3-2) 現在の住居の築年数 (問13-1)

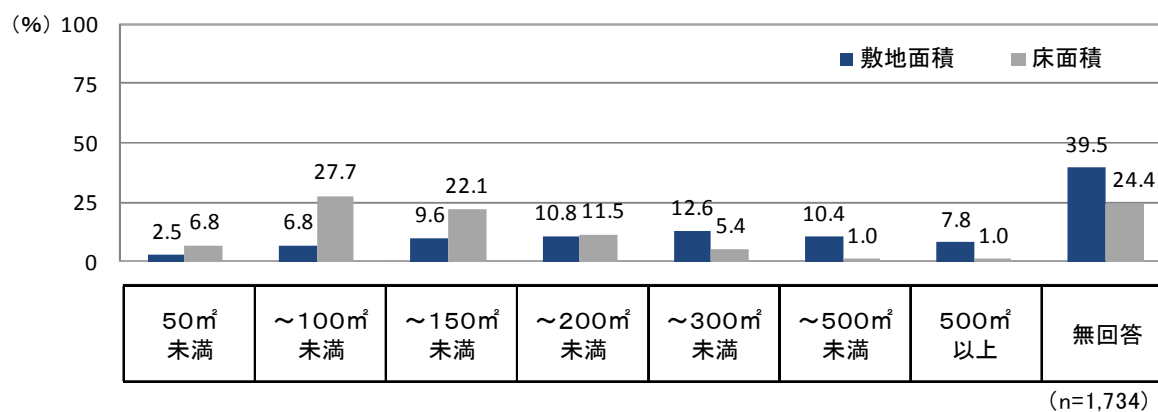


(図表 3-3) 敷地面積・床面積 (問 13-2)

2015年



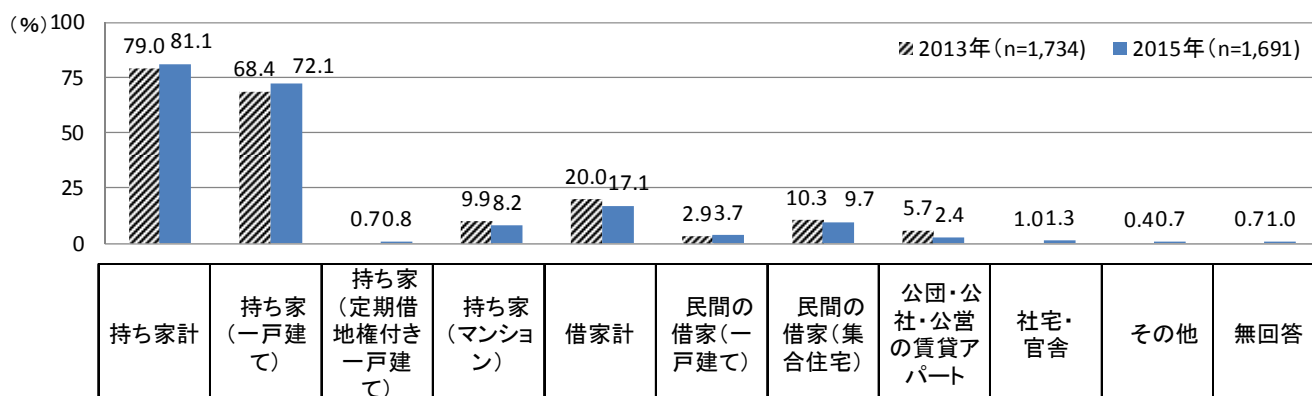
2013年



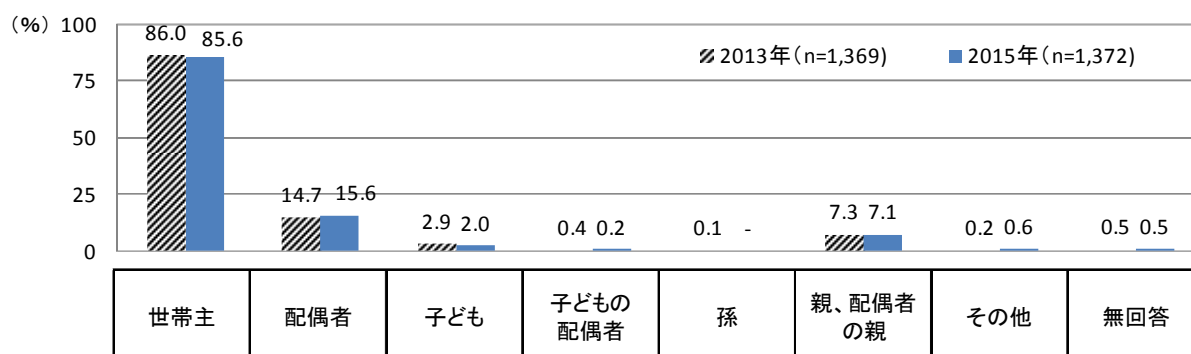
(2) 現在の住居の住居形態・所有者・取得方法・取得時期

- 現在の住居の住居形態は『持ち家計』は81.1%を占め、『借家計』(17.1%)を大きく上回っている。
『持ち家計』の内訳では、「持ち家(一戸建て)」が72.1%であり、持ち家の大半を占めている。『借家計』の内訳では、「民間の借家(集合住宅)」が9.7%で最も多い。
* 『持ち家計』は「持ち家(一戸建て)」、「持ち家(定期借地権付き一戸建て住宅)」、「持ち家(マンション)」の合計。
『借家計』は「民間の借家(一戸建て)」「民間の借家(マンション、アパート等の集合住宅)」「公団・公社・公営の賃貸アパート」「社宅・官舎」の合計
- 持ち家に居住している世帯(1,372人)に現在の住居(建物)の所有者を複数回答で尋ねたところ、「世帯主」との回答が85.6%と圧倒的に多く、次いで「配偶者」が15.6%であった。
- 世帯主または配偶者所有の持ち家に居住している世帯(1,260人)に、住居建物の取得方法を尋ねたところ、「購入した」との回答が79.0%で最も多く、「相続または譲渡を受けた」人は19.4%であった。
- 世帯主または配偶者所有の持ち家に居住している世帯(1,260人)に、住居建物を購入・相続・譲渡した時期を尋ねたところ、「5～10年未満」が13.7%で最も多く、以下、「10～15年未満」(12.2%)、「30～40年未満」(11.7%)と続く。

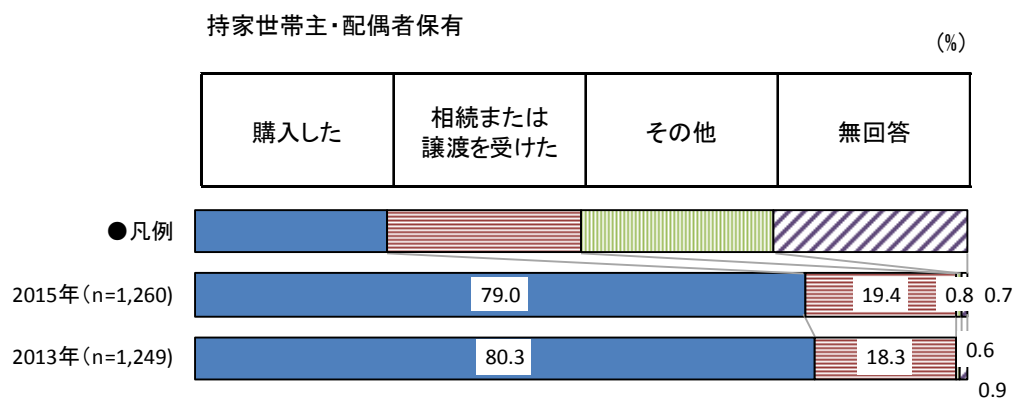
(図表3-4) 現在の住居の住居形態 (問14)



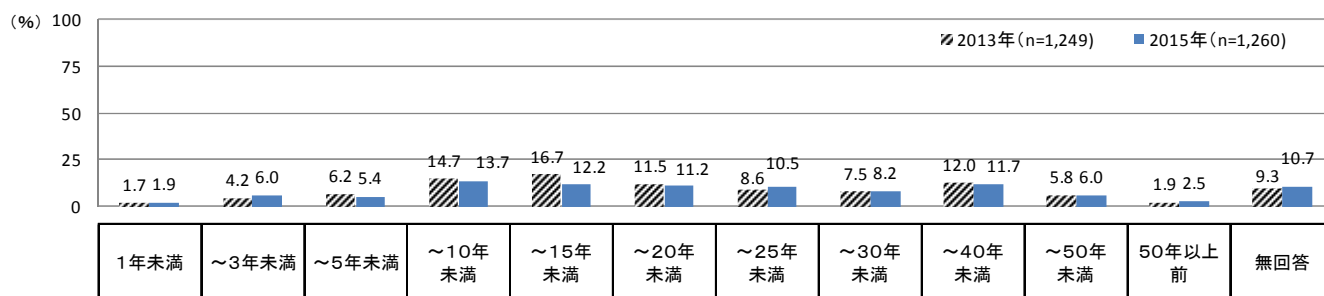
(図表3-5) 現在の住居建物の所有者 (問14-1、複数回答)



(図表 3 - 6) 現住の住居建物の取得方法 (問 1 4 - 2)



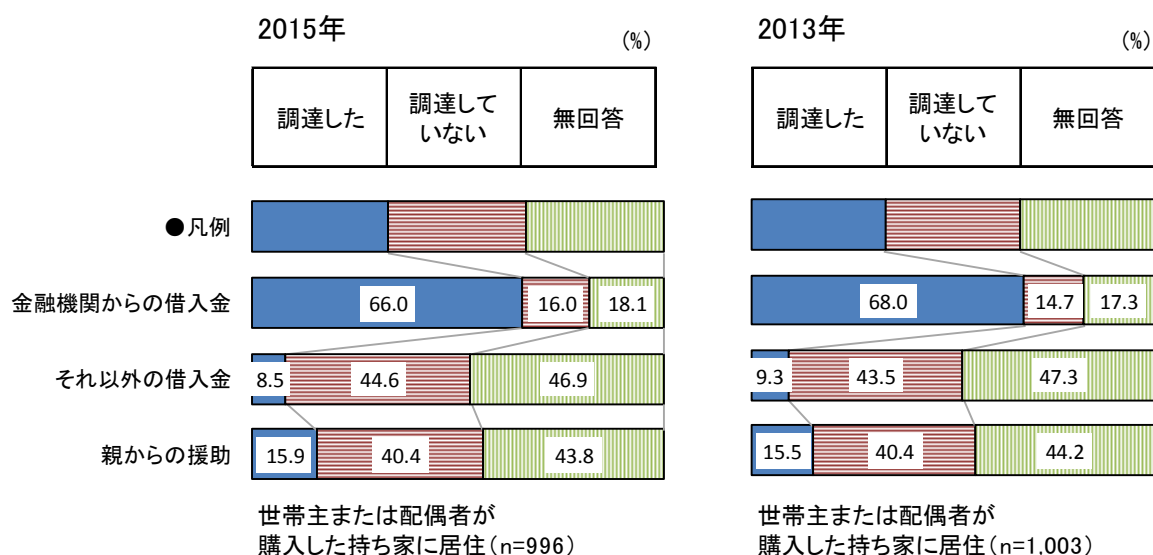
(図表 3 - 7) 住居の建物を購入、相続、譲渡した時期 (問 1 4 - 3)



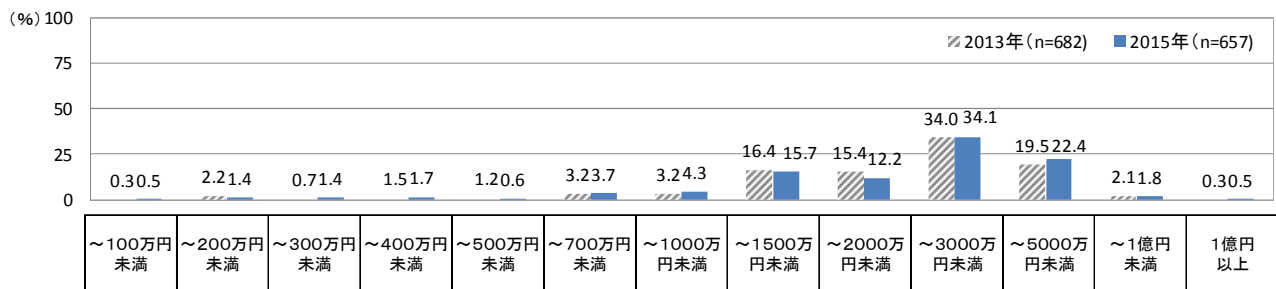
(3) 住居の購入資金

- 世帯主または配偶者が購入した持ち家に居住している世帯（996 人）に資金調達の内訳を尋ねたところ、金融機関からの借入金で調達したのは 66.0%、それ以外の借入金で調達したのは 8.5%、親からの援助を受けたのは 15.9%であった。
- 金融機関からの借入金で調達した世帯（657 人）の借入金は、「2000～3000万円未満」が 34.1%で最も多く、「3000～5000万円未満」が 22.4%、「1000～1500万円未満」が 15.7%、「1500～2000万円未満」が 12.2%の順で続いている。
- それ以外の借入金で調達した世帯（85 人）の借入金は、「100万円未満」が 18.8%で最も多く、次に「600～700万円未満」が 15.3%の順で続いている。
- 親からの援助で調達した世帯（158 人）の借入金は、「500～700万円未満」が 22.2%で最も多く、「1000～1500万円未満」が 20.9%で2割台となっている。

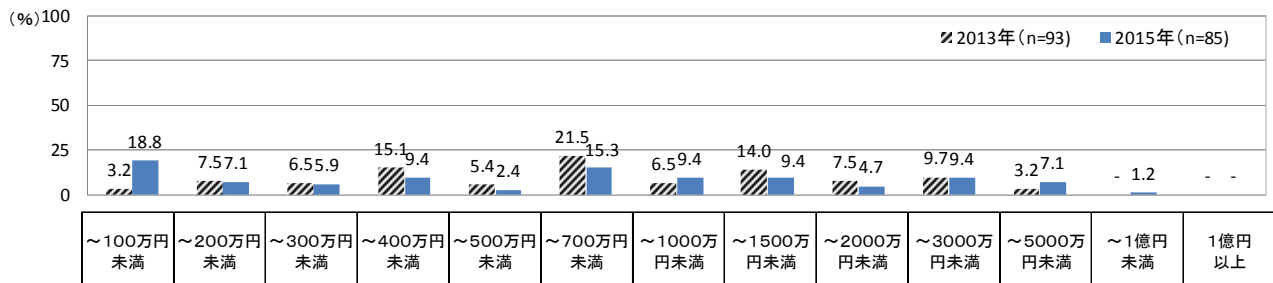
(図表 3-8) 購入資金調達有無
(問 14-4①、問 14-4②、問 14-4③)



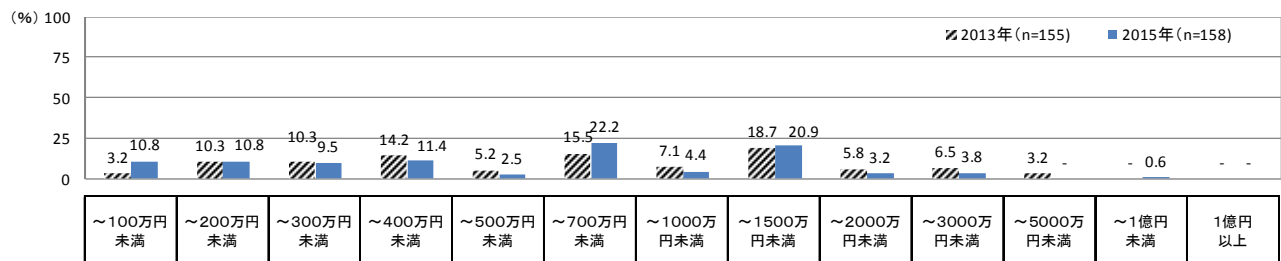
(図表 3 - 9) 資金調達内訳 (金融機関からの借入金) (問 1 4 - 4 ①)



(図表 3 - 1 0) 資金調達内訳 (金融機関以外の借入金) (問 1 4 - 4 ②)



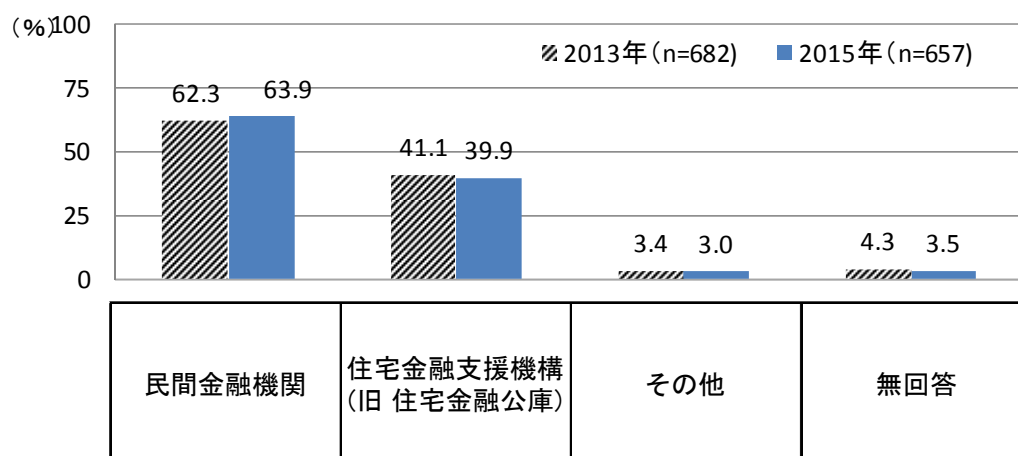
(図表 3 - 1 1) 資金調達内訳 (親からの援助) (問 1 4 - 4 ③)



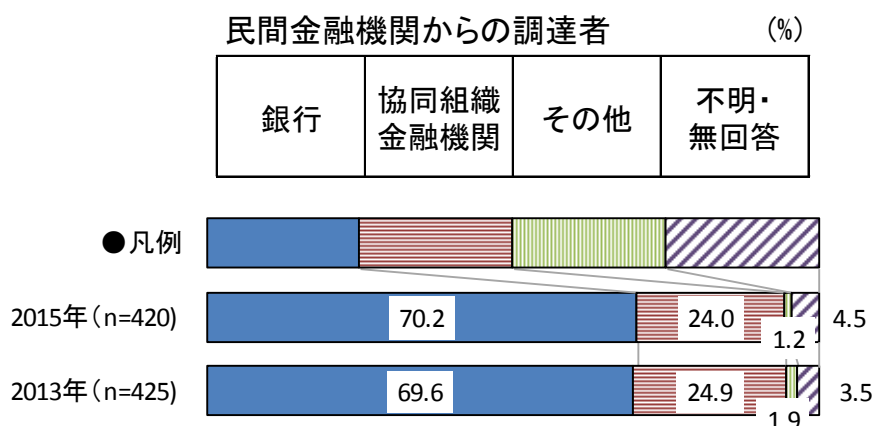
(4) 現在の住居の購入資金調達先

- 世帯主または配偶者が購入した持ち家に居住している世帯のうち、金融機関からの借入金で調達した世帯（657人）が主に調達した金融機関を複数回答で尋ねたところ、「民間金融機関」が63.9%、「住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)」が39.9%となっている。
- 「民間金融機関」で主に調達した世帯（420人）の調達機関の内訳として記載のあった自由回答を整理したところ、「銀行」が70.2%を占めて最も多く、「協同組織金融機関」は24.0%となっている。

(図表3-12) 主に調達した金融機関（問14-5、複数回答）



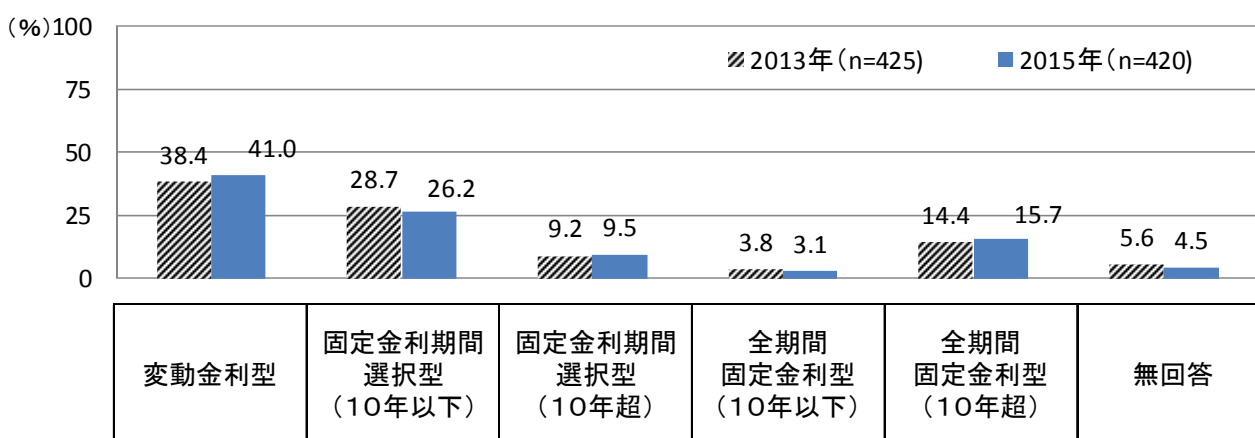
(図表3-13) 主に調達した民間の金融機関（問14-6）



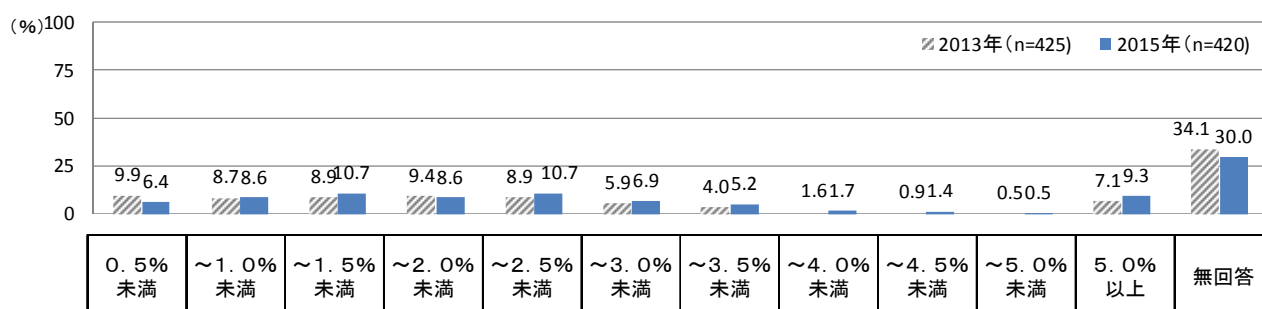
(5) 民間金融機関からの借入金の金利

- 主に「民間金融機関」から調達した世帯(420人)の借入金の金利タイプは、「変動金利型」が41.0%と最も多く、次いで「固定金利期間選択型(10年以下)」(26.2%)、「全期間固定金利型(10年超)」は15.7%、「固定金利期間選択型(10年超)」は9.5%、「全期間固定金利型(10年以下)」は3.1%となっている。
- また、民間金融機関からの借入金利率としては、「1.0～1.5%未満」および「2.0～2.5%未満」がともに10.7%、次いで「5.0%以上」が9.3%、「0.5～1.0%未満」及び「1.5～2.0%未満」がともに8.6%となっている。

(図表3-14) 民間金融機関からの借入金の金利タイプ(問14-7)



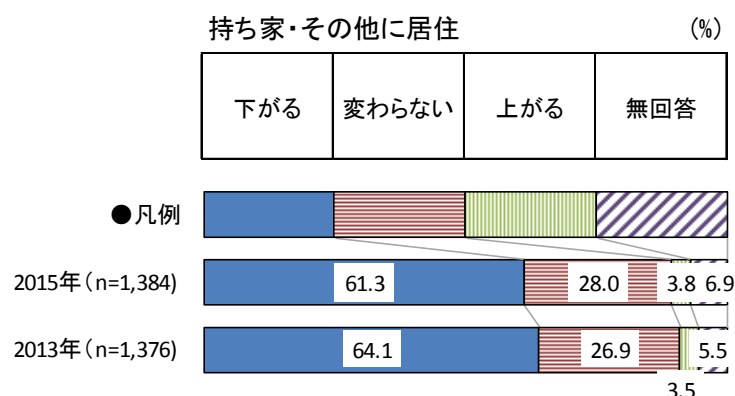
(図表3-15) 民間金融機関からの借入金の金利(問14-8)



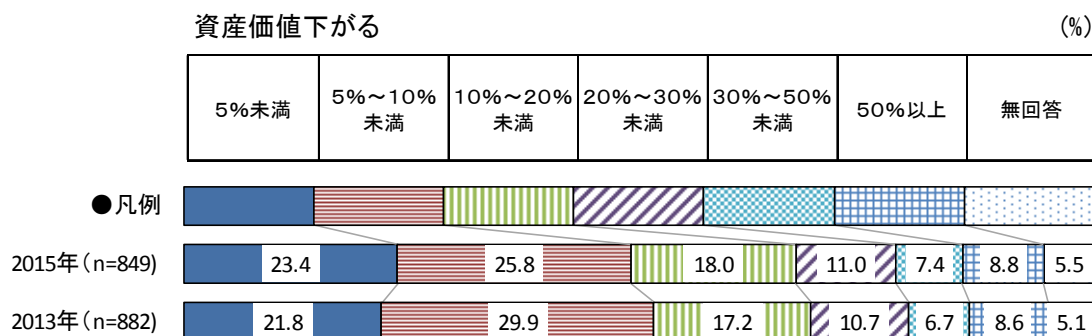
(6) 現在の住居の3年後の資産価値

- 現在の住居が持ち家またはその他（借家以外）の世帯（1,384人）に、現在の住居の3年後の資産価値がどのようになると思うかを尋ねたところ、「下がる」が61.3%で過半を占め、「変わらない」が28.0%、「上がる」は3.8%となっている。
- 資産価値が「下がる」と回答した人（849人）に、下落幅の程度を尋ねたところ、「5%未満」（23.4%）と「5%～10%未満」（25.8%）が2割台で、両者を合わせた『10%未満』で約5割を占める。
- 資産価値が「上がる」と回答した人（52人）に、上昇幅の程度を尋ねたところ、「5%未満」が53.8%、と過半を占め、「5%～10%未満」が32.7%と続く。両者を合わせた『10%未満』で9割弱を占める。

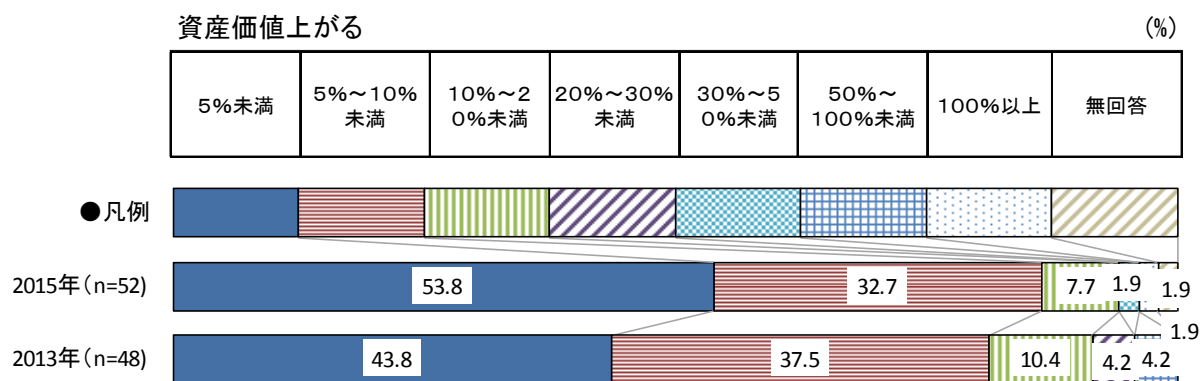
(図表3-16) 現在の住居の3年後の資産価値（問15）



(図表3-17) 現在の住居の3年後の資産価値下落幅（問15-1）



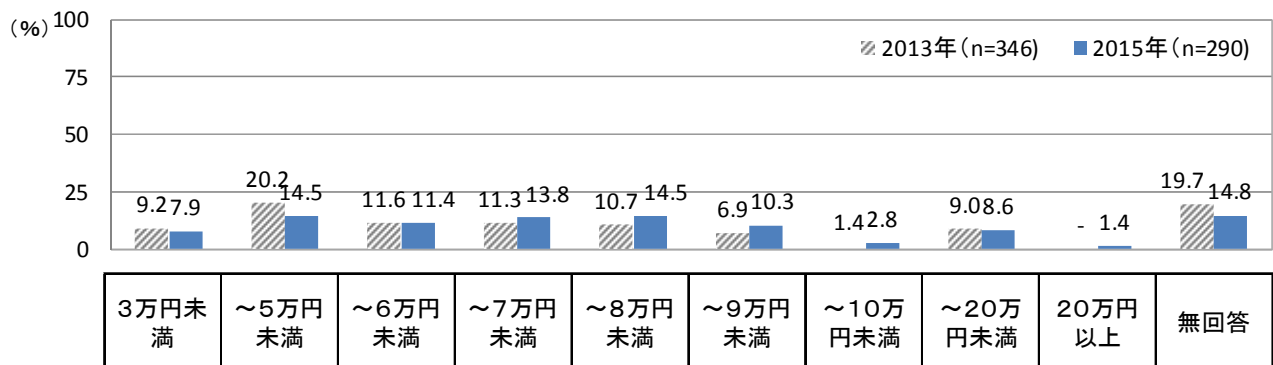
(図表3-18) 現在の住居の3年後の資産価値上昇幅（問15-2）



（７）現在の住居の家賃

- 現在賃貸住宅または社宅・官舎に居住している世帯（290 人）に現在の住居のひと月の家賃（共益費、管理費を含む）を尋ねたところ、「3～5 万円未満」と「7～8 万円未満」がともに 14.5%と最も多く、以下「6～7 万円未満」が 13.8%、「5～6 万円未満」が 11.4%となっている。

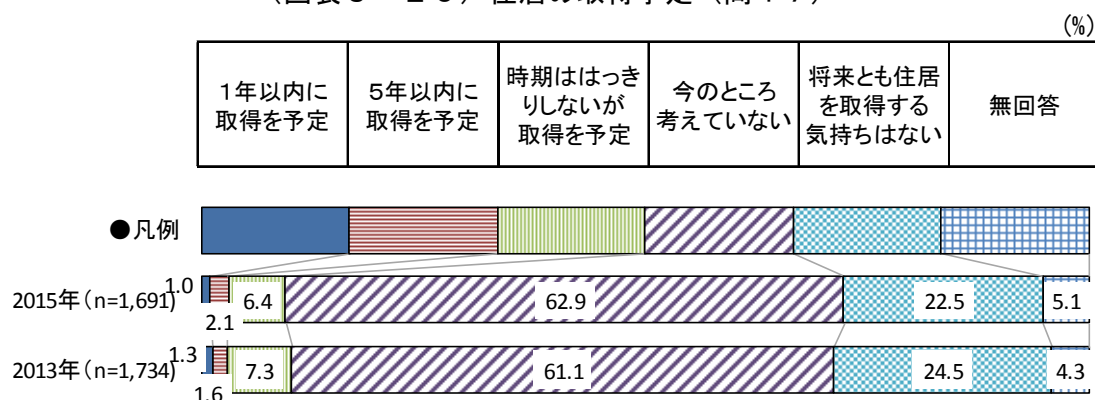
（図表 3－19）現在の住居の家賃（問 16）



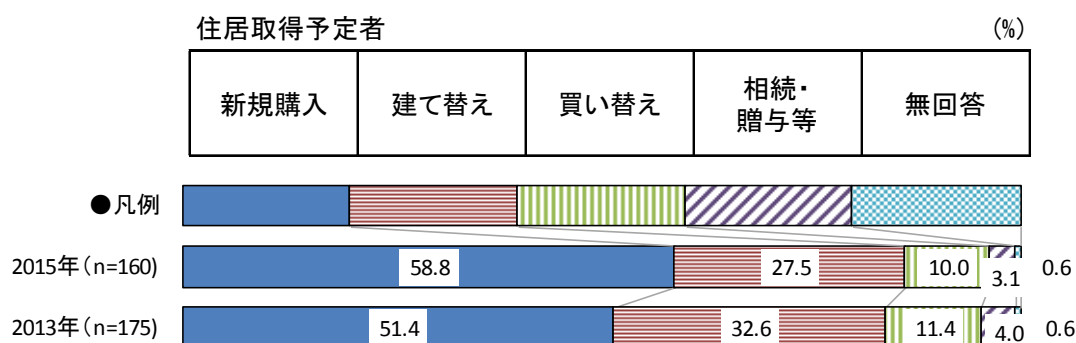
(8) 住居の取得予定

- 住居の取得（建て替え、買い替えなどを含む）予定について尋ねたところ、「住居の取得・建て替え・買い替えは今のところ考えていない」が62.9%で最も多く、次いで「将来とも住居を取得する気持ちはない」が22.5%であった。一方、時期未定を含めた取得予定世帯は合計9.5%である。
- 取得予定世帯（160人）の住居の取得方法としては、「新規購入」が58.8%で過半を占め、以下「建て替え」が27.5%、「買い替え」が10.0%となっている。
- 新規購入、建て替え、買い替えのいずれかによる取得予定世帯（160人）において、金融機関からの借入金で調達予定がある人は48.1%、それ以外の借入金で調達予定がある人は1.9%、親からの援助で調達予定がある人は6.9%となっている。
- 金融機関からの調達予定者（77人）の借入金予定額は、「2000～3000万円未満」が45.5%で最も多く、次いで「3000～5000万円未満」が27.3%、「1000～1500万円未満」が13.0%となっている。

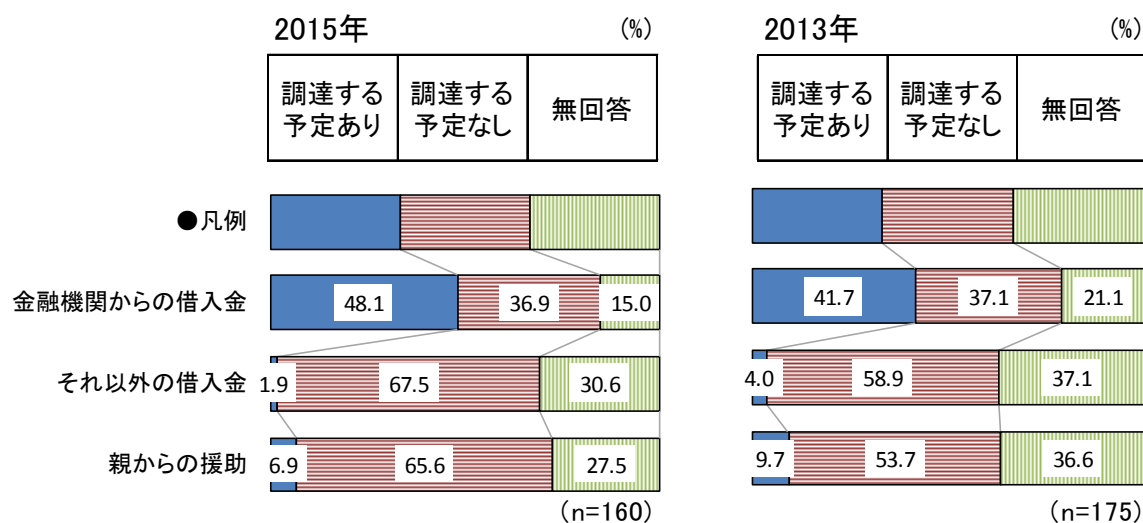
(図表3-20) 住居の取得予定 (問17)



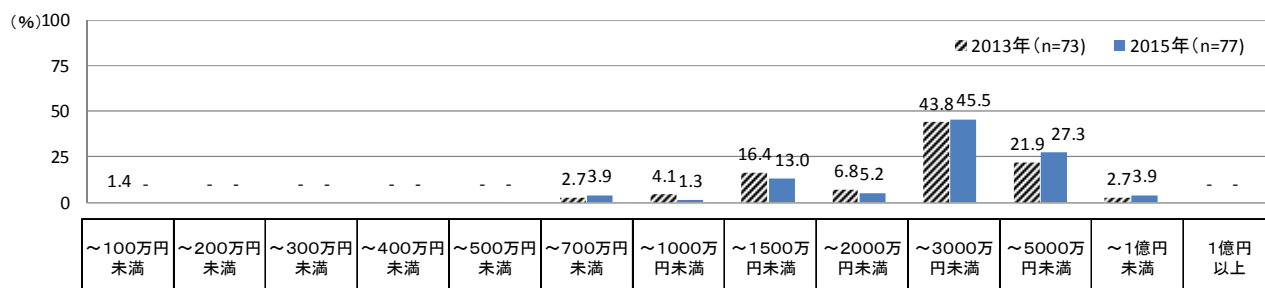
(図表3-21) 取得予定の住居の取得方法 (問17-1)



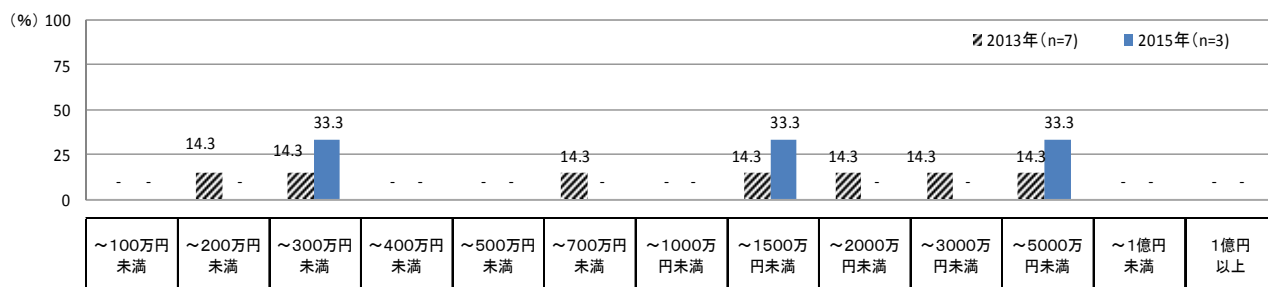
(図表 3-22) 資金調達予定有無
(問 17-2①、問 17-2②、問 17-2③)



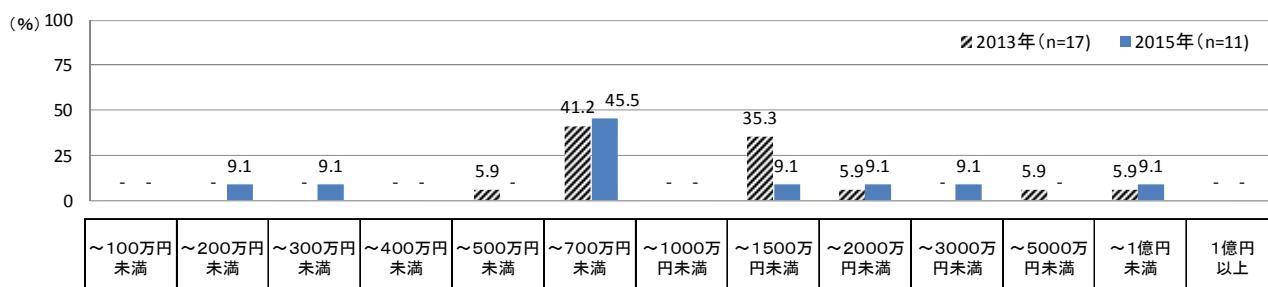
(図表 3-23) 資金調達内訳 (金融機関) (問 17-2①)



(図表 3-24) 資金調達内訳 (金融機関以外) (問 17-2②)

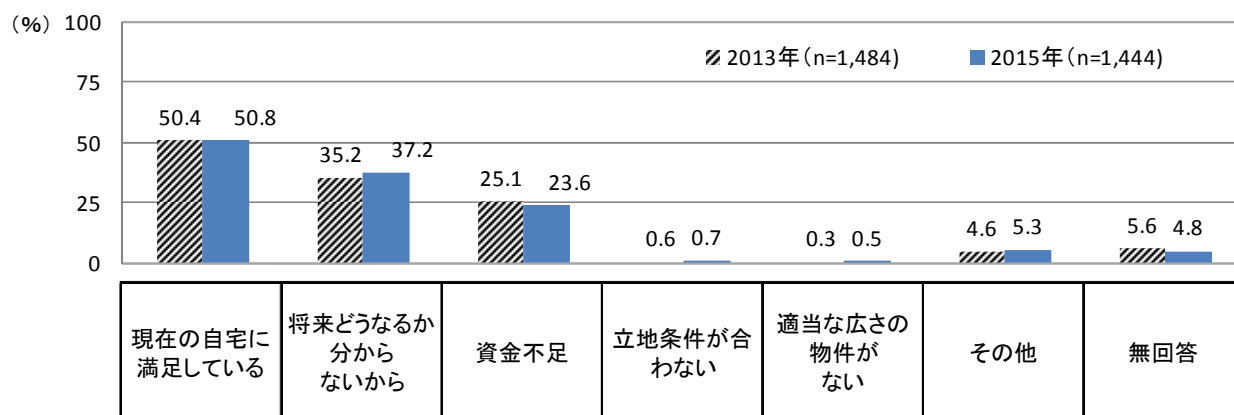


(図表 3-25) 資金調達内訳 (親からの援助) (問 17-2③)



- 取得予定のない世帯（1,444人）に住居取得を考えない理由を複数回答で尋ねたところ、「現在の自宅に満足している」が50.8%と最も多く、「将来どうなるか分からないから」が37.2%、「資金不足」が23.6%となっている。

（図表 3－26）住居取得を考えない理由（問 17－3、複数回答）

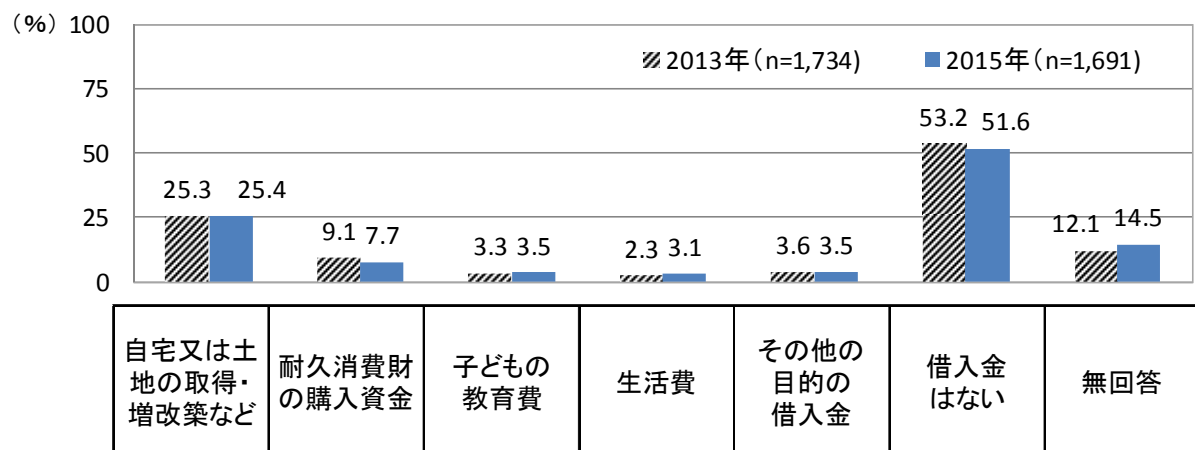


4. 世帯の借入金について

(1) 借入の状況

- 世帯借入の内訳を複数回答で尋ねたところ、「借入金はない」が51.6%で過半数を占める。一方、「自宅又は土地の取得・増改築など」での借入は25.4%、「耐久消費財の購入資金」での借入は7.7%となっており、他の項目も含めると合計33.9%の世帯で借入金がある。
 - 自宅又は土地の取得・増改築などで借入がある世帯(430人)の現在借入残高は、「2000～3000万円未満」が16.5%と最も多く、次に「1000～1500万円未満」が15.6%、「1500～2000万円未満」が14.4%となっている。
- 耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入資金で借入がある世帯(130人)の現在借入残高は、「100万円未満」が33.1%と最も多く、「100～200万円未満」が25.4%と続く。
- 子どもの教育費で借入がある世帯(59人)の現在の借入残高は、「200～300万円未満」が20.3%で最も多く、「100万円未満」および「100～200万円未満」がともに18.6%となっている。
- 生活費の借入がある世帯(53人)の現在の借入残高は、「100万円未満」が43.4%が最も多い。
- その他の目的の借入金がある世帯(60人)の現在の借入残高は、「100万円未満」が31.7%と最も多い。
- 現在借入残高がある世帯(573人)において、1年前に比べて残高が増えた借入目的(複数回答)は、無回答が85.0%と多く参考程度となるが、いずれの項目も3%前後となっている。一方、1年前に比べて残高が減った借入目的(複数回答)は、「自宅又は土地の取得・増改築など」が59.9%と最も多く、「耐久消費財の購入資金」が14.5%と続く。

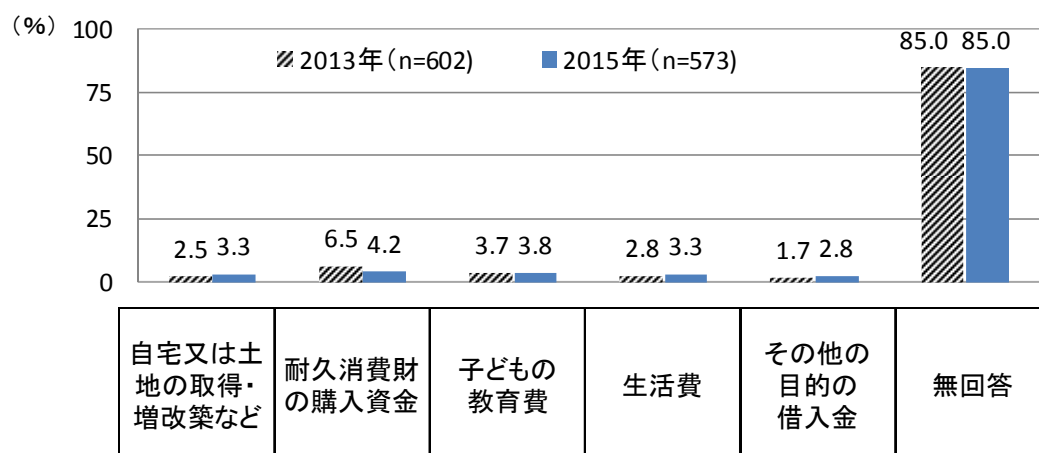
(図表4-1) 借入の目的(問18(1)、複数回答)



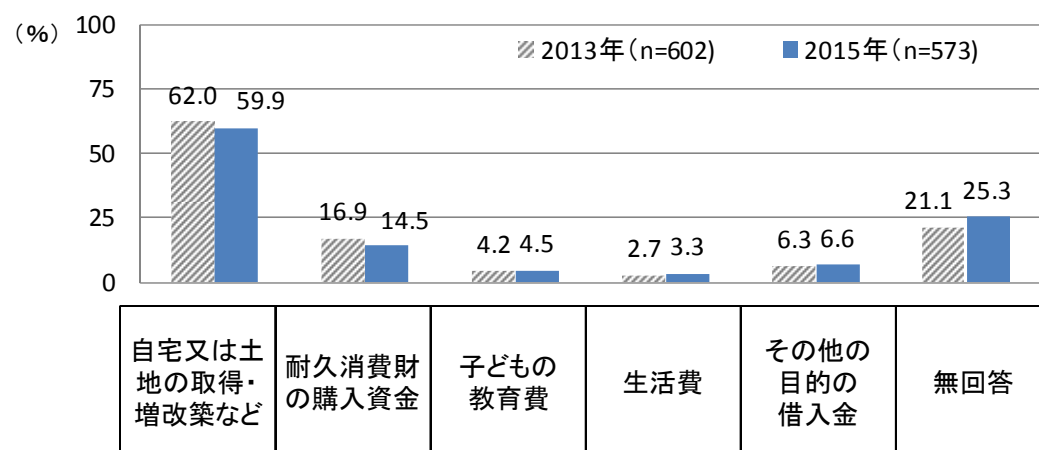
(図表4-2) 借入金の残高(問18(2))

2015年						2013年					
	自宅又は土地の取得・増改築等	耐久消費財の購入資金	子どもの教育費	生活費	その他の目的の借入金		自宅又は土地の取得・増改築等	耐久消費財の購入資金	子どもの教育費	生活費	その他の目的の借入金
	(n=430)	(n=130)	(n=59)	(n=53)	(n=60)		(n=438)	(n=157)	(n=58)	(n=40)	(n=63)
100万円未満	0.5	33.1	18.6	43.4	31.7	100万円未満	1.4	30.6	24.1	37.5	22.2
～200万円未満	2.3	25.4	18.6	15.1	16.7	～200万円未満	2.5	31.8	25.9	20.0	15.9
～300万円未満	4.0	14.6	20.3	13.2	10.0	～300万円未満	3.2	13.4	17.2	7.5	15.9
～400万円未満	2.3	6.9	5.1	3.8	3.3	～400万円未満	2.3	7.6	10.3	7.5	4.8
～500万円未満	2.6	0.8	10.2	-	5.0	～500万円未満	3.4	1.9	3.4	-	-
～700万円未満	5.3	2.3	5.1	1.9	3.3	～700万円未満	7.8	1.9	3.4	-	6.3
～1000万円未満	6.0	-	3.4	-	1.7	～1000万円未満	6.4	-	1.7	-	4.8
～1500万円未満	15.6	-	-	-	-	～1500万円未満	16.9	-	-	-	7.9
～2000万円未満	14.4	-	-	-	-	～2000万円未満	13.0	-	-	-	1.6
～3000万円未満	16.5	-	-	-	-	～3000万円未満	21.0	-	-	-	6.3
3000万円以上	10.2	-	-	-	-	3000万円以上	7.8	-	-	-	9.5
無回答	20.2	16.9	18.6	22.6	28.3	無回答	14.4	12.7	13.8	27.5	4.8

(図表 4－3) 1 年前に比べて増加した借入金 (問 18 (3)、複数回答)



(図表 4－4) 1 年前に比べて減少した借入金 (問 18 (4)、複数回答)

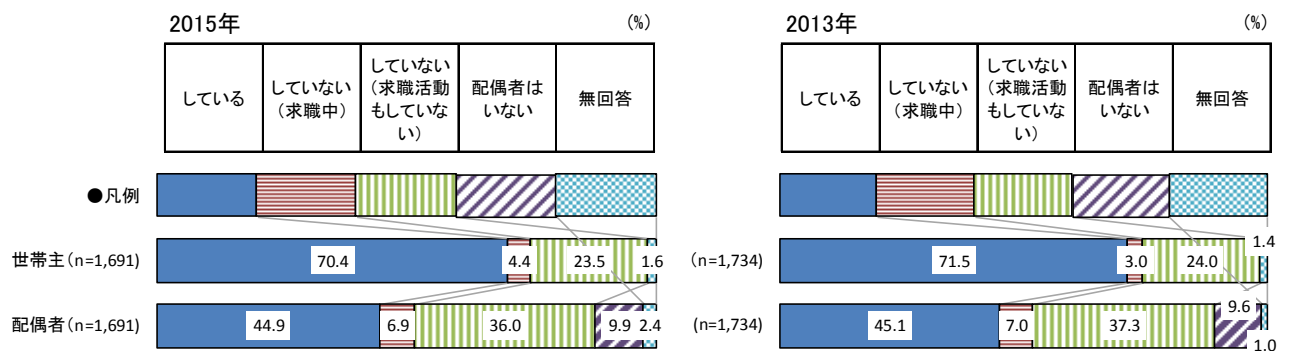


5. 仕事と家計について

(1) 世帯主・配偶者の就労有無

- 世帯主が現在収入をとまなう仕事をしているかについて尋ねたところ、「している」が70.4%で最も多く、「していない(求職活動もしていない)」は23.5%、「していない(求職中)」は4.4%であった。一方、配偶者も、「している」が44.9%と最も多く、次に「していない(求職活動もしていない)」が36.0%、「していない(求職中)」は6.9%となっている。

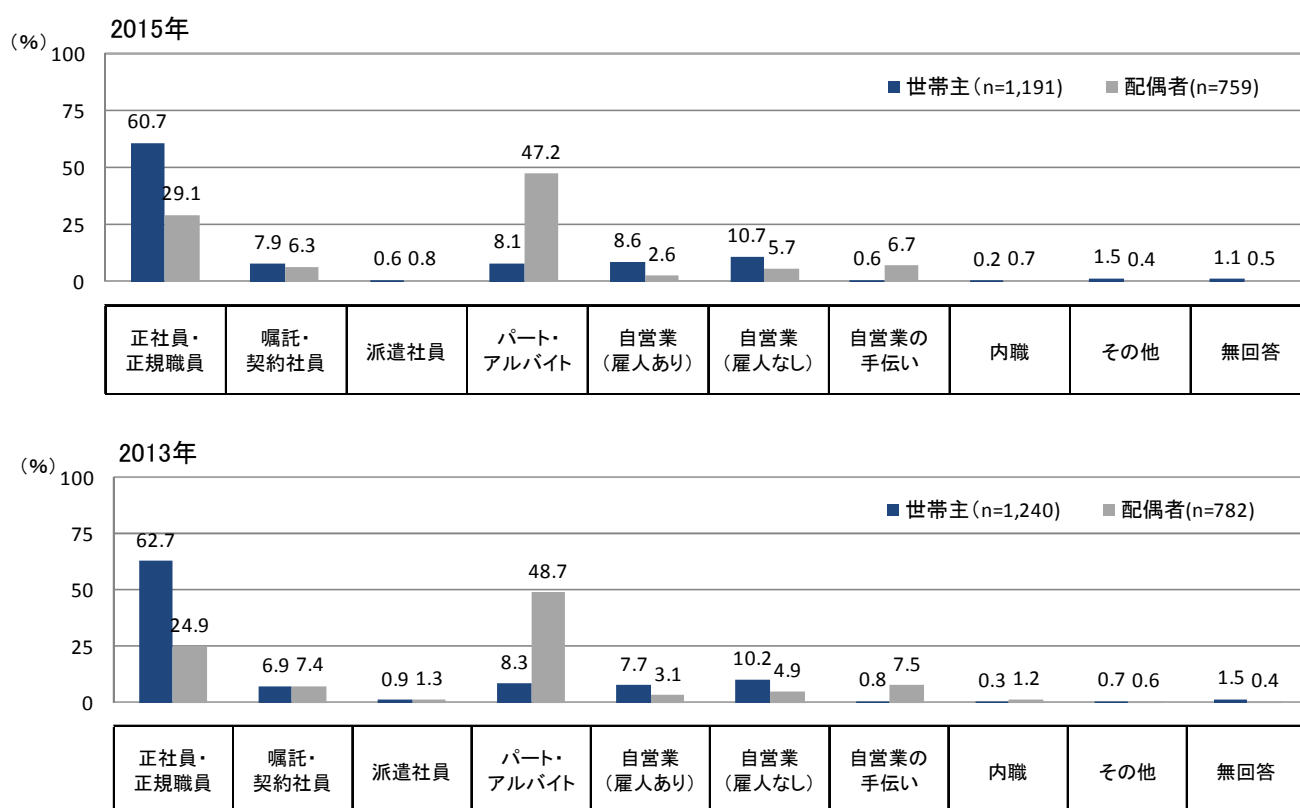
(図表5-1) 世帯主・配偶者の就労有無 (問19・問21)



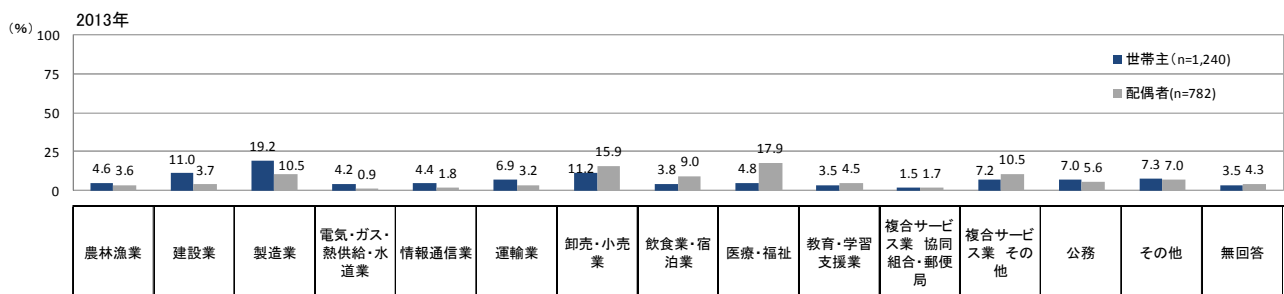
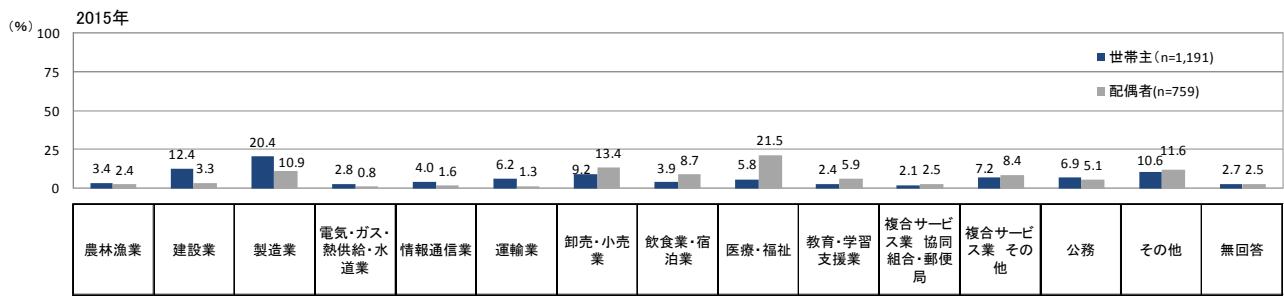
(2) 現在就業中の世帯主・配偶者の就労状況

- 現在就業中の世帯主（1,191人）の雇用形態は、「正社員・正規職員」が60.7%と最も多く、次いで「自営業（雇人なし）」が10.7%となっている。現在就業中の配偶者（759人）の雇用形態は、「パート・アルバイト」が47.2%で5割弱を占め、「正社員・正規職員」が29.1%となっている。
- 就業者の業種の内訳は、世帯主は「製造業」が20.4%と最も多く、続いて「建設業」（12.4%）となっている。配偶者は「医療・福祉」が21.5%と最も多く、続いて「卸売・小売業」（13.4%）の順となっている。
- 就業者の職種は、世帯主では「技能工・生産工程に関わる職業」が22.7%と最も多く、次に「専門・技術的職業」（17.1%）、「営業・販売の仕事」（12.7%）の順で続いている。配偶者では、「事務的な仕事」が24.6%と最も多く、以下、「サービスの職業」（21.6%）と「専門・技術的職業」（20.9%）が2割台となっている。

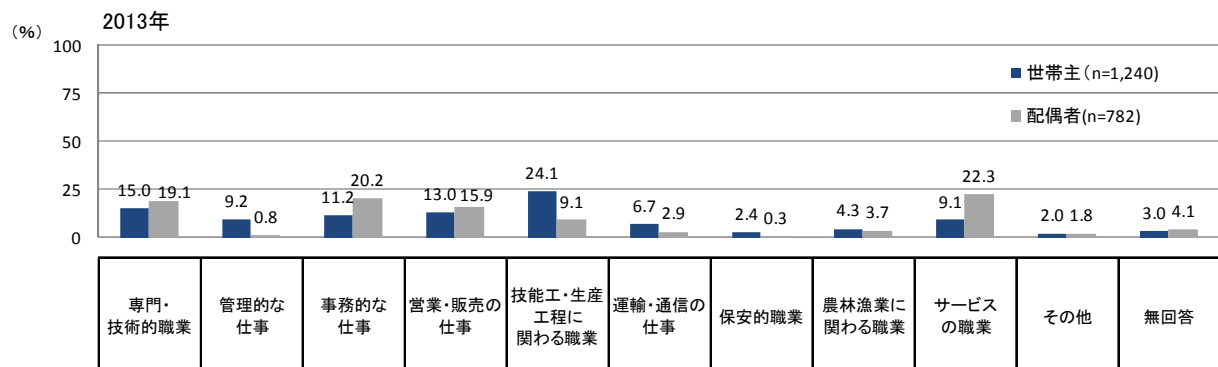
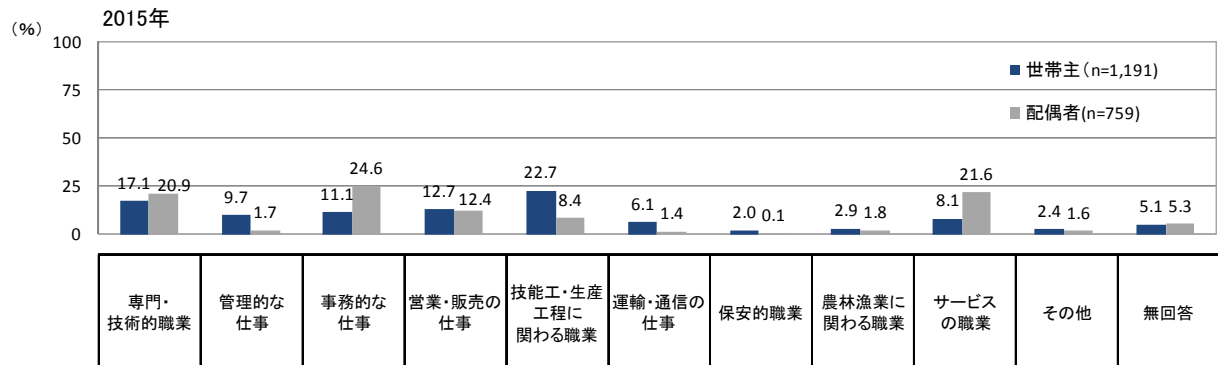
(図表5-2) 就業中世帯主・配偶者の雇用形態（問19-1(1)・問21-1(1)）



(図表 5-3) 就業中世帯主・配偶者の業種 (問 19-1(2)・問 21-1(2))

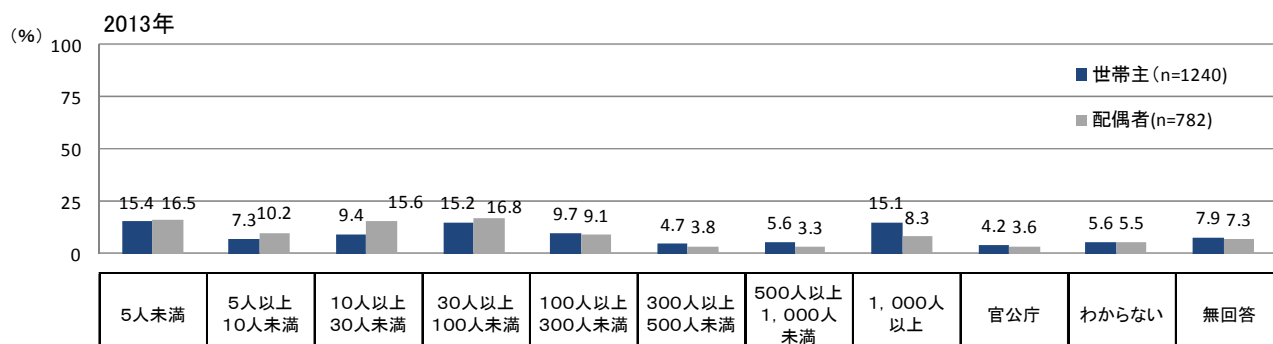
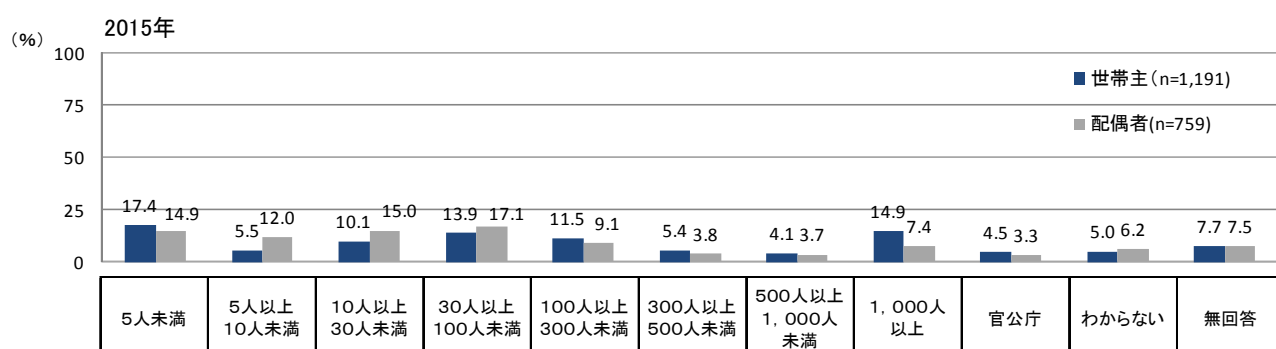


(図表 5-4) 就業中世帯主・配偶者の職種 (問 19-1(3)・問 21-1(3))

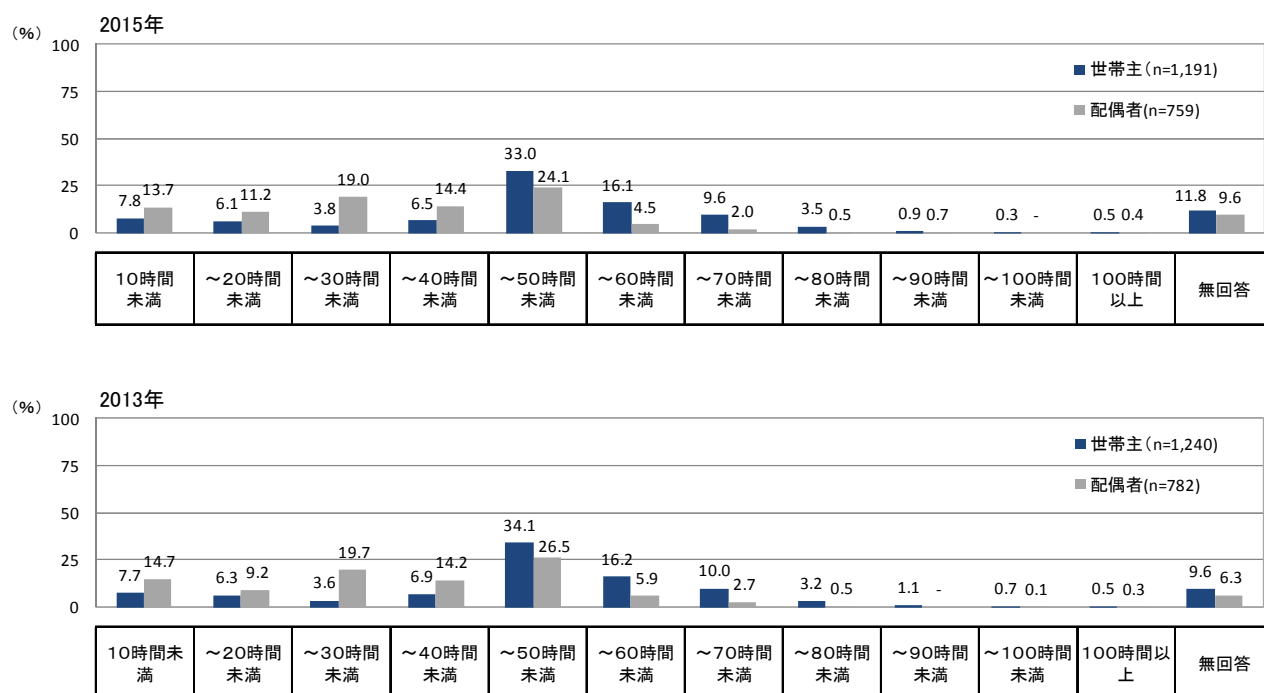


- 勤務先従業員数は、世帯主では「５人未満」（17.4％）が最も多く、「１，０００人以上」（14.9％）、「３０人以上１００人未満」（13.9％）と続く。配偶者では「３０人以上１００人未満」（17.1％）、「１０人以上３０人未満」（15.0％）、「５人未満」（14.9％）が15％程度となっている。
- 週平均就労時間は、世帯主、配偶者ともに「４０～５０時間未満」が最も多く、世帯主では33.0％、配偶者では24.1％を占める。
- 入社時期は、世帯主では、「２０００年代」（24.4％）と「２０１０年代」（23.0％）が同程度に多く、配偶者では「２０１０年代」が35.0％で最も多く、「２０００年代」が27.9％となっている。

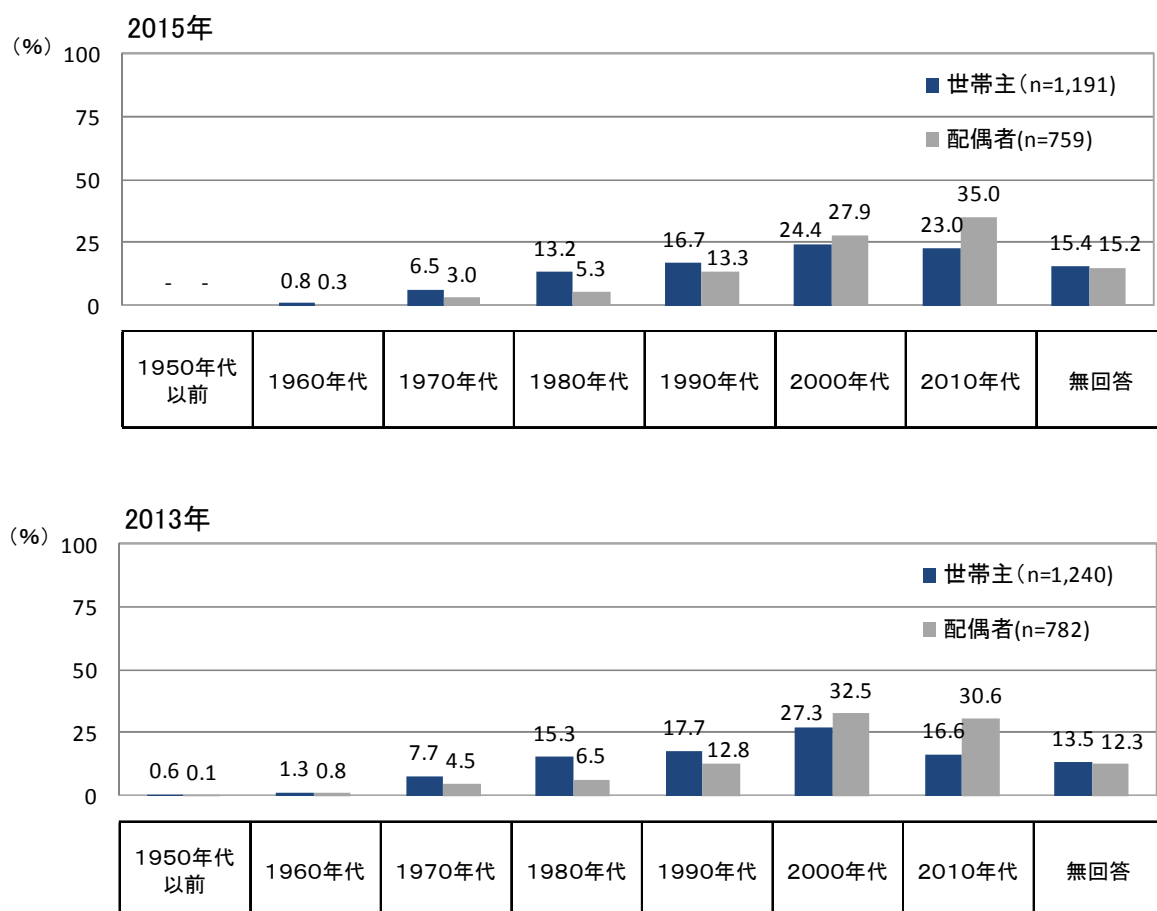
（図表５－５）就業中世帯主・配偶者勤務先の従業員数（問１９－１（４）・問２１－１（４））



(図表 5-6) 就業中世帯主・配偶者の週平均就労時間 (問 19-1(5)・問 21-1(5))



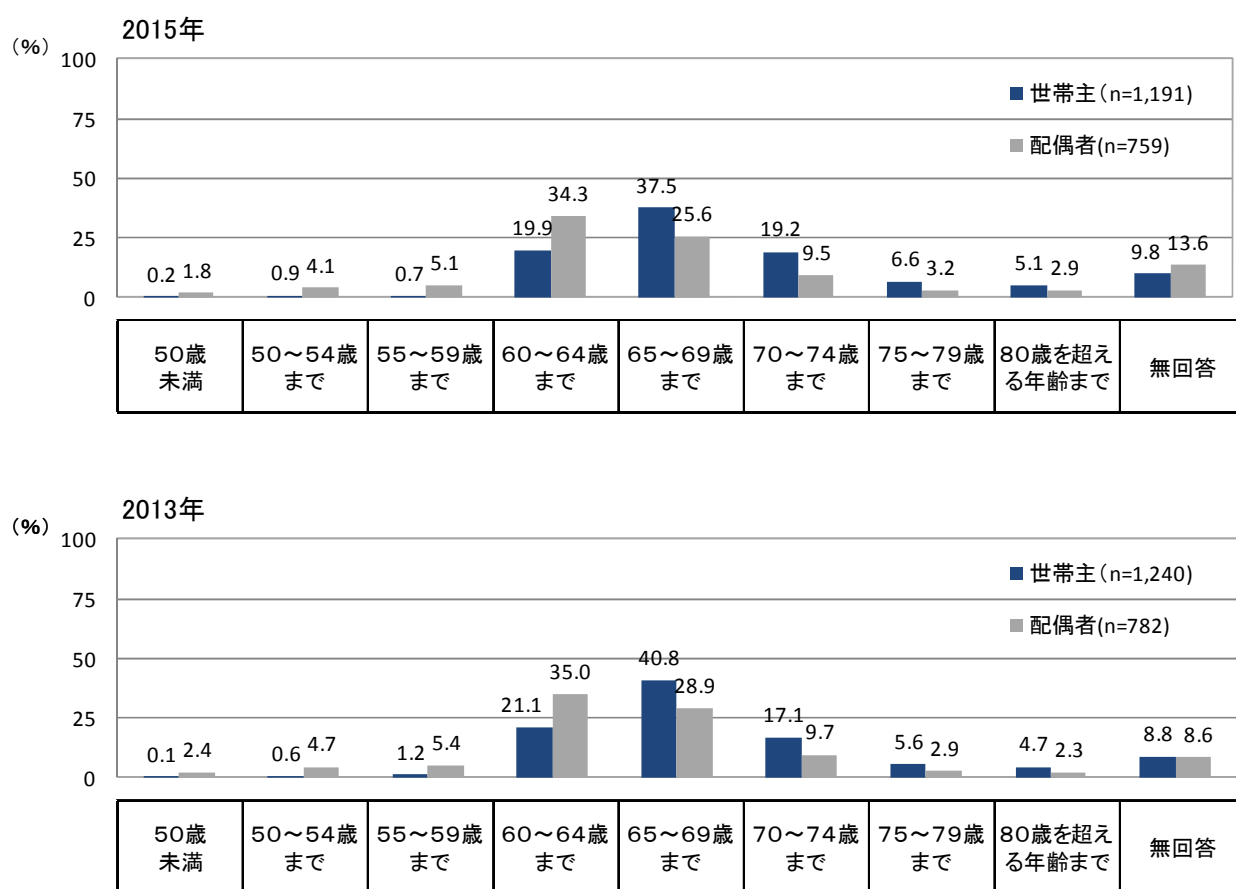
(図表 5-7) 就業中世帯主・配偶者の入社時期 (問 19-1(6)・問 21-1(6))



(3) 就業中世帯主・配偶者の就労継続希望年齢

- 現在就業中の世帯主（1,191人）に、何歳まで働きたいかを尋ねたところ、「65～69歳まで」が37.5%で最も多く、次に「60～64歳まで」19.9%、「70～74歳まで」が19.2%である。現在就業中の配偶者（759人）では、「60～64歳まで」が34.3%と最も多く、「65～69歳まで」が25.6%、「70～74歳まで」9.5%となっている。

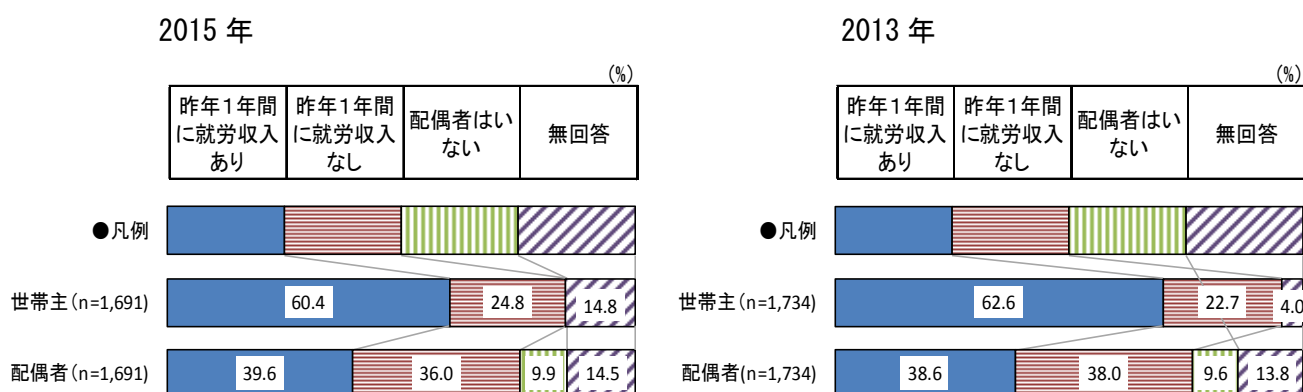
(図表5－8) 世帯主・配偶者の就労継続希望年齢（問20・問22）



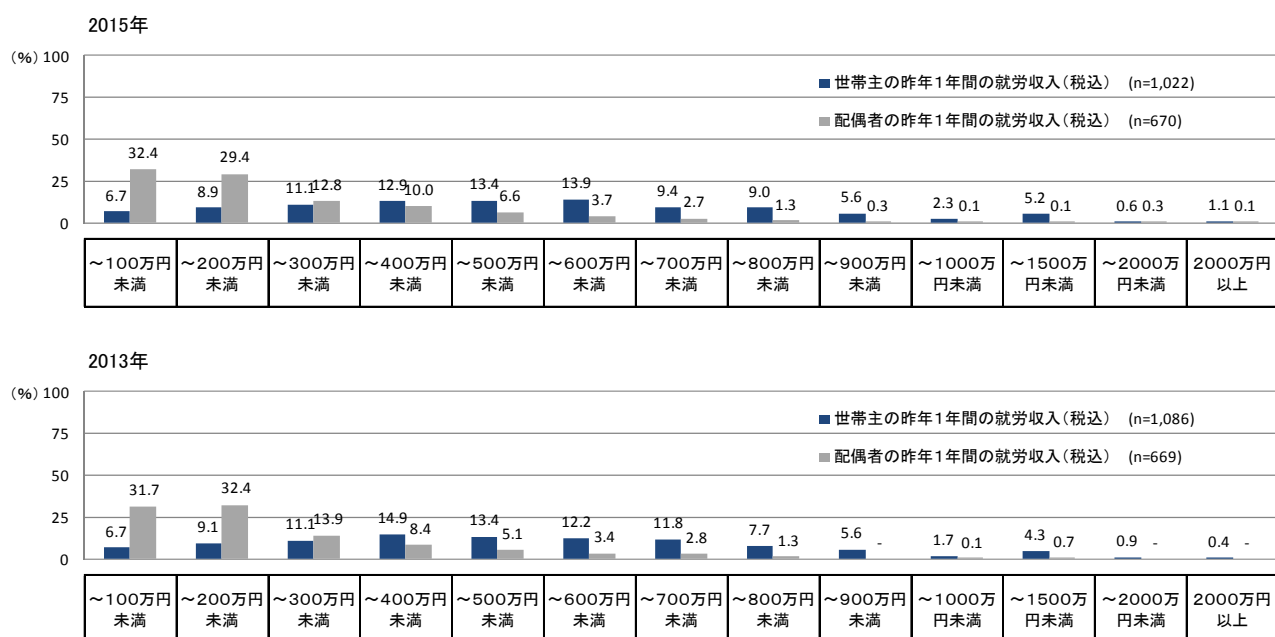
(4) 就労収入

- 前年（2014年）1年間に就労収入があった人は、世帯主では60.4%、配偶者では39.6%である。
- 前年1年間に就労収入があった世帯主（1,022人）の前年の就労収入（税込）は、「500～600万円未満」が13.9%で最も多く、以下「400～500万円未満」が13.4%、「300～400万円未満」が12.9%と続く。
- 前年1年間に就労収入があった配偶者（670人）の前年の就労収入（税込）は、「100万円未満」32.4%で最も多く、次いで「100～200万円未満」が29.4%となっており両者を合わせた『200万円未満』で6割を占める。

(図表5-9) 世帯主・配偶者の前年1年間の就労収入有無（問23(1)・(2)）



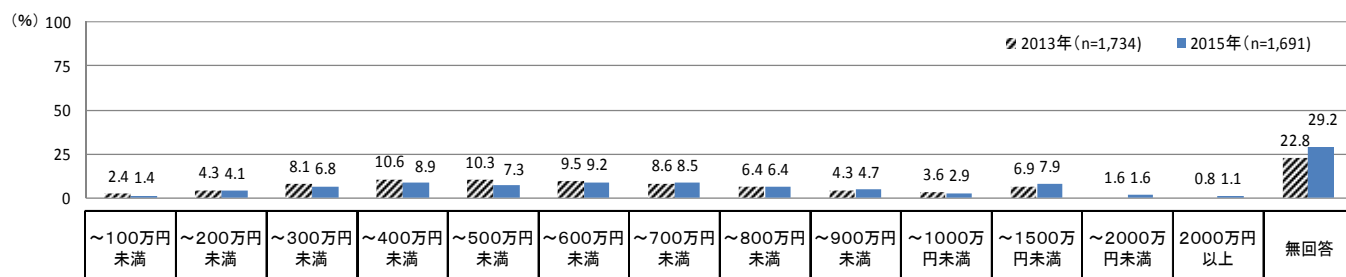
(図表5-10) 世帯主・配偶者の前年1年間の就労収入（問23(1)・(2)）



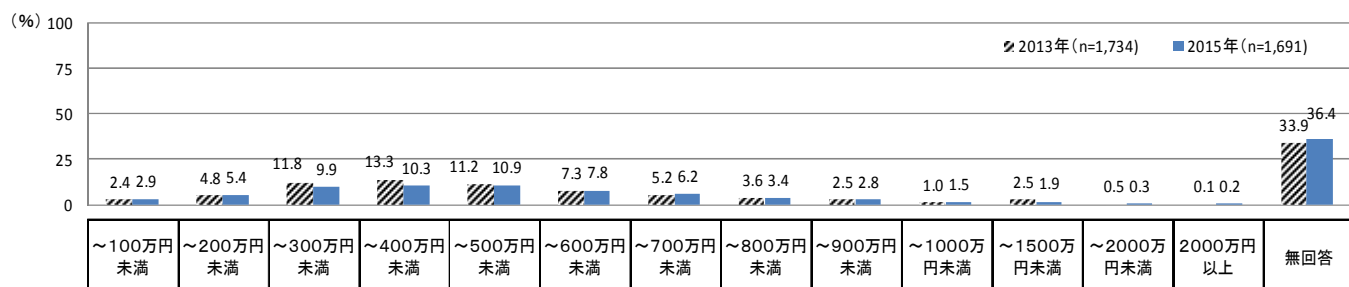
(5) 世帯収入

- 前年（2014年）1年間の世帯収入総額（税金・社会保険料などを差し引く前の社会保険給付、贈与、財産収入等を含む総収入。遺産を除く）は、「500～600万円未満」が9.2%、「300～400万円未満」が8.9%となっている。無回答が多い点に留意いただきたい。
- 前年1年間の手取り世帯収入（税金・社会保険料などを差し引かれた額）は、「400～500万円未満」が10.9%で最も多く、「300～400万円未満」（10.3%）、「300万円未満」（9.9%）が続いている。

(図表5-11) 世帯の総収入（問24(1)）



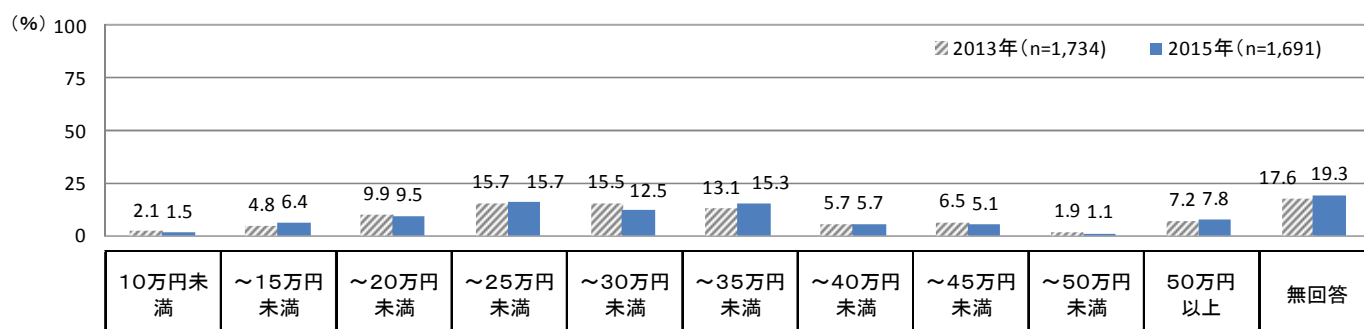
(図表5-12) 世帯の手取り額（問24(2)）



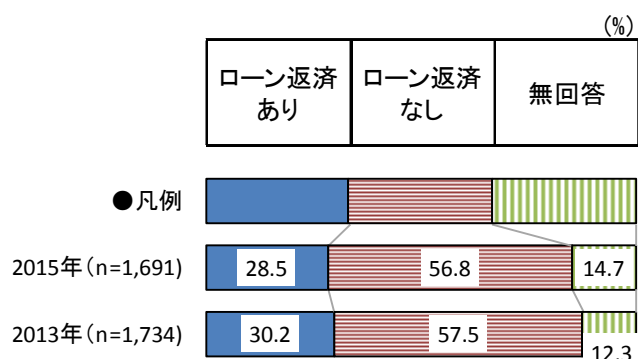
(6) 世帯の支出

- 前年ひと月あたりの平均支出は「20～25万円未満」が15.7%で最も多く、「30～35万円未満」が15.3%、「25～30万円未満」が12.5%となっている。
- 前年にローン返済があった世帯（28.5%：482人）におけるひと月あたりのローン返済額は、「10万円未満」が63.9%で最も多く、「10～15万円未満」が24.9%、「15～20万円未満」は6.8%となっている。これらを合わせた『20万円未満』で95%を占める。

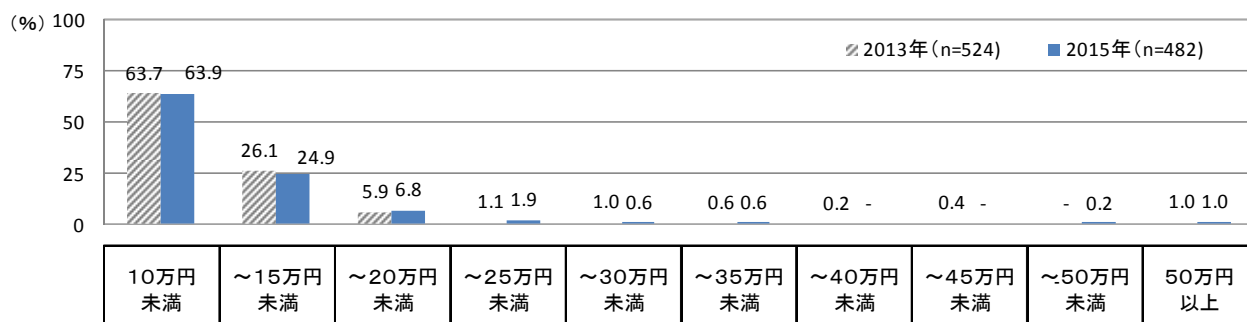
(図表5-13) 一か月あたりの世帯支出（問25(1)）



(図表5-14) 一か月あたりの住宅ローン返済額（問25(2)）



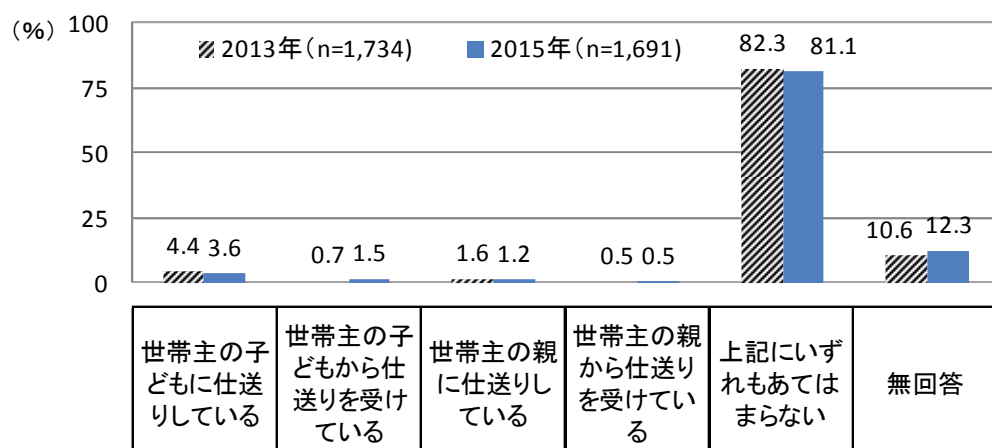
(図表5-15) 一か月あたりの住宅ローン返済額（問25(2)）



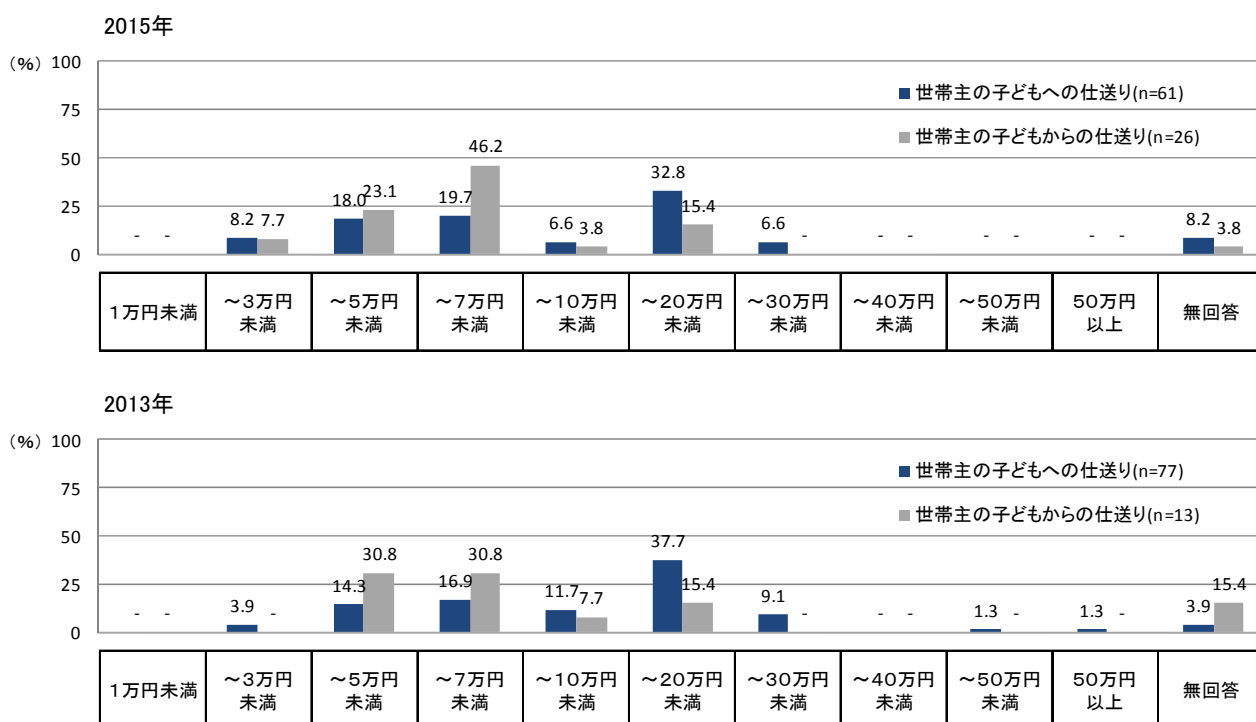
(7) 仕送り

- 子どもや親との仕送りのやりとりがある世帯は6.6%であり、81.1%は「上記にいずれもあてはまらない」と仕送りがない世帯である。仕送りのやり取りの中では、「世帯主の子どもに仕送りをしている」ケースが3.6%で最も多い。
- 世帯主の子どもへの仕送りをしている世帯（61人）の月々の仕送り金額は、「10～20万円未満」が32.8%と最も多く、以下「5～7万円未満」19.7%、「3～5万円未満」18.0%と続く。

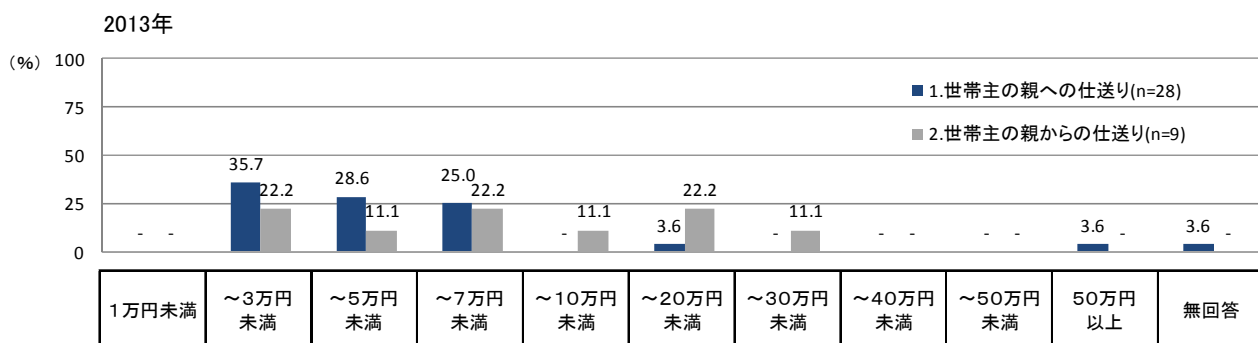
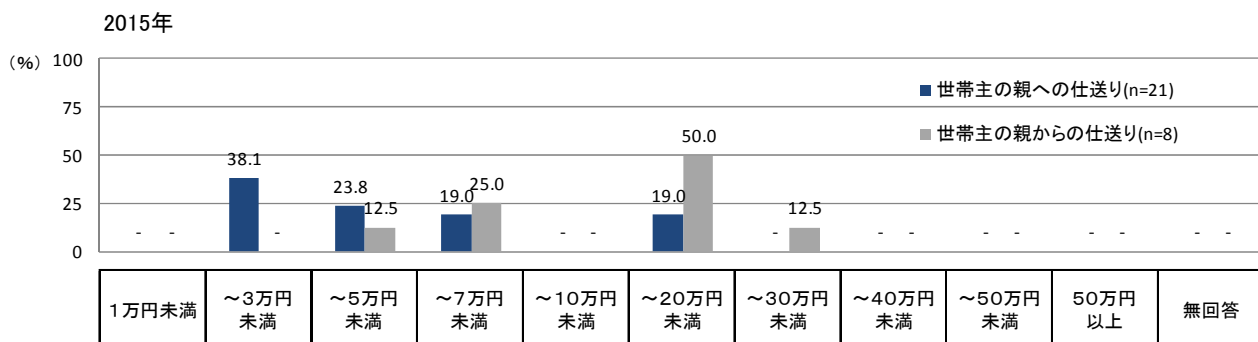
(図表5-16) 仕送り授受の有無（問26(1)、複数回答）



(図表5-17) 月々の仕送り金額（子どもへの仕送り・子どもからの仕送り）
(問26(2)1、問26(2)2)



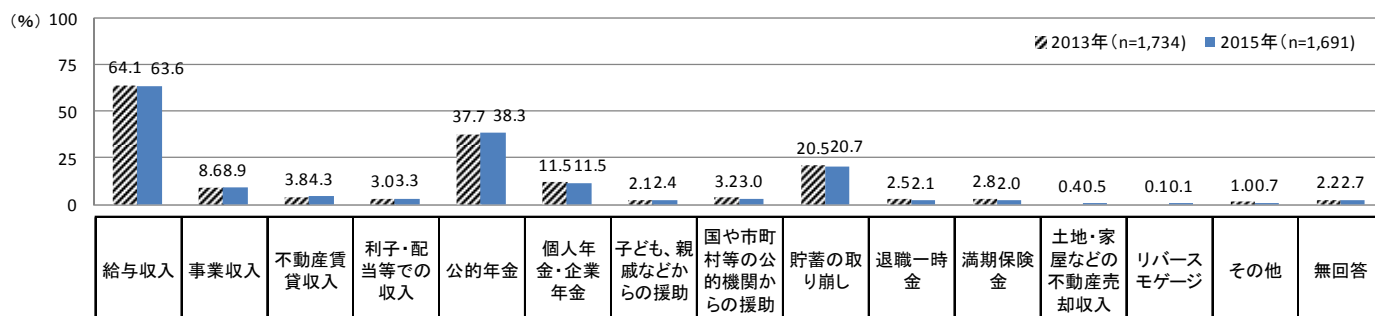
(図表 5－18) 月々の仕送り金額（親への仕送り・親からの仕送り）
 (問 2 6 (2) 3、問 2 6 (2) 4)



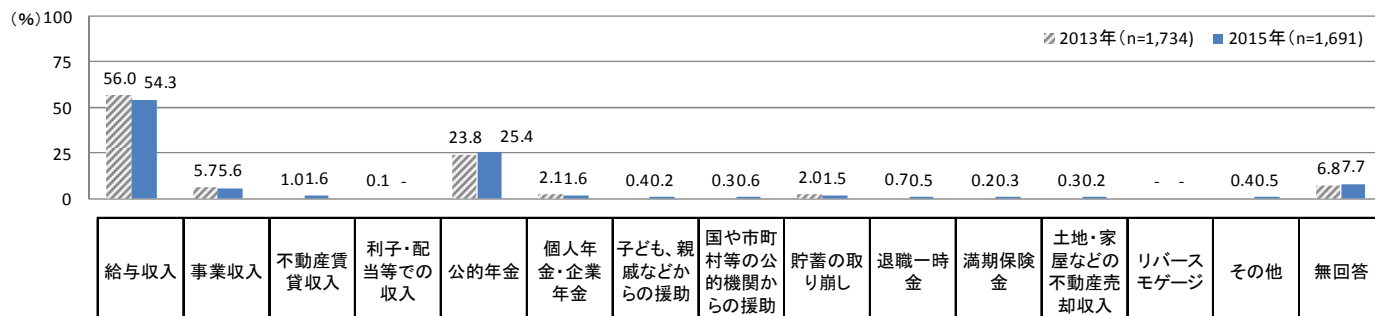
(8) 世帯の家計

- 家計支出をまかなっている世帯の収入源(複数回答)の種類としては、「給与収入」が63.6%と最も多く、以下、「公的年金」が38.3%、「貯蓄の取り崩し」が20.7%と続く。
- 家計の支出をまかなっている世帯の収入源のうち最も金額が大きい収入は、「給与収入」が54.3%と最も多く、次に「公的年金」(25.4%)、「事業収入」(5.6%)となっている。

(図表5-19) 家計を賄う収入源 (問27(1)、複数回答)



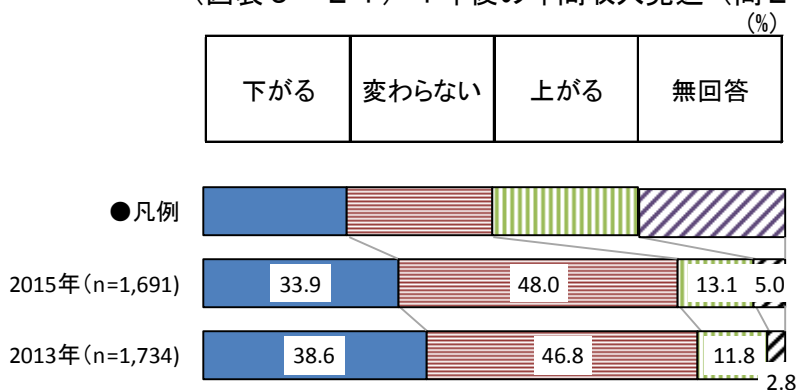
(図表5-20) 最大の収入源 (問27(2))



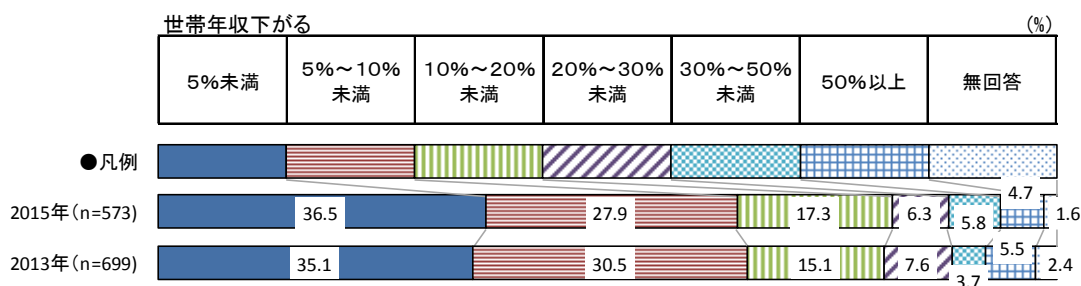
(9) 1年後の年間収入

- 1年後の年間収入が現在の世帯年収に比べてどうなると思うかを尋ねたところ、「変わらない」との回答が48.0%で最も多く、「下がる」が33.9%、「上がる」が13.1%となっている。
- 1年後の世帯年収が現在に比べて「下がる」と回答した人(573人)に下がると思う幅を尋ねたところ、「5%未満」が36.5%と最も多く、次いで「5%～10%未満」が27.9%、「10%～20%未満」が17.3%の順となっている。
- 1年後の世帯年収が現在に比べて「上がる」と回答した人(222人)に上がると思う幅を尋ねたところ、「5%未満」が61.3%と6割を占める。以下、「5%～10%未満」(18.9%)、「10%～20%未満」(8.6%)となっている。
- 前回と比べると「下がる」と回答する割合がやや減少し、減少幅の見込みも若干緩和されている。

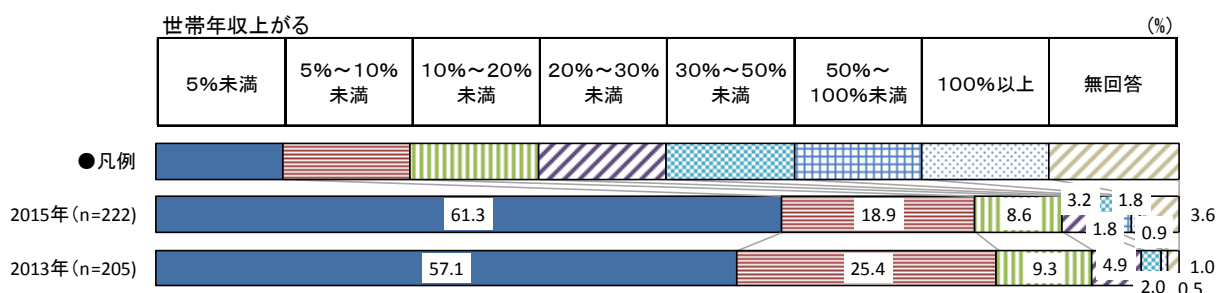
(図表5-21) 1年後の年間収入見込 (問28)



(図表5-22) 1年後の年間収入下落幅 (問28-1)



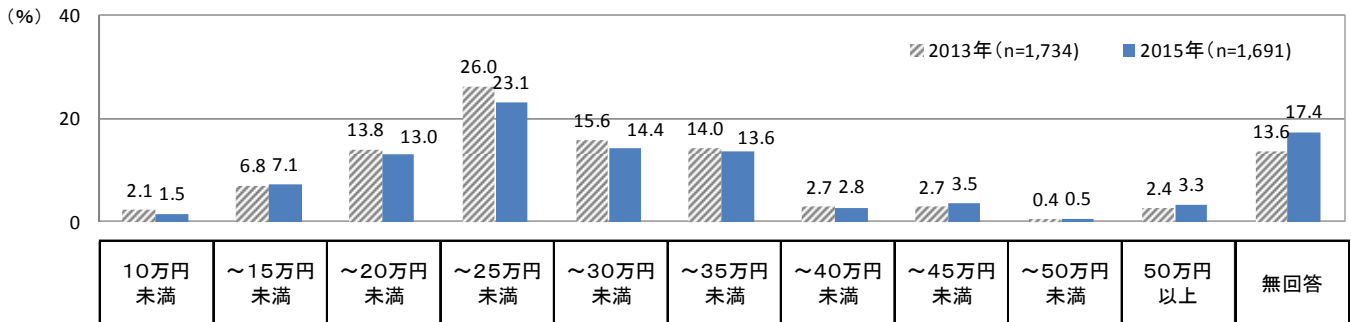
(図表5-23) 1年後の年間収入増加幅 (問28-2)



(10) 高齢期（65歳以上）における一か月の世帯支出額見込み

- 65歳以上の高齢期を迎えたとき、世帯の1か月の支出額（消費税含む）がどのくらいになると考えるかを尋ねたところ、「20～25万円未満」が23.1%で最も多い。以下、1割台で「25～30万円未満」14.4%、「30～35万円未満」が13.6%、「15～20万円未満」が13.0%と続く。

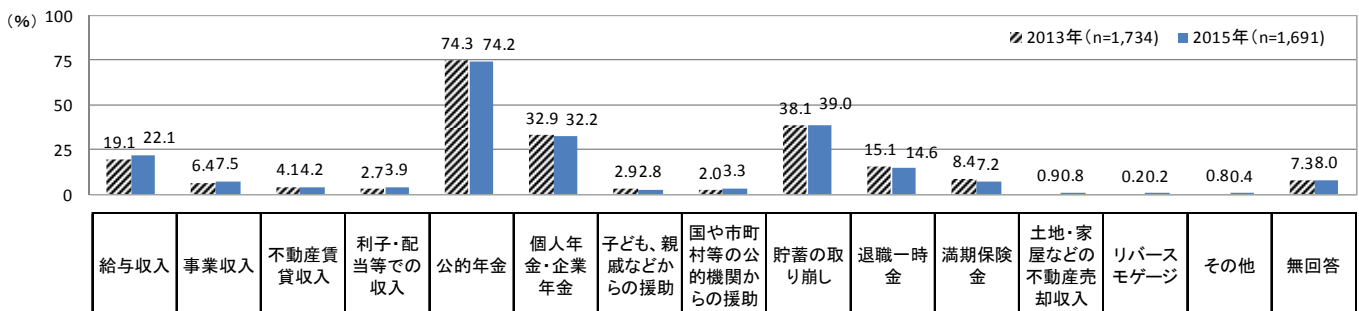
(図表5-24) 高齢期（65歳以上）の一か月あたりの世帯支出額見込み（問29）



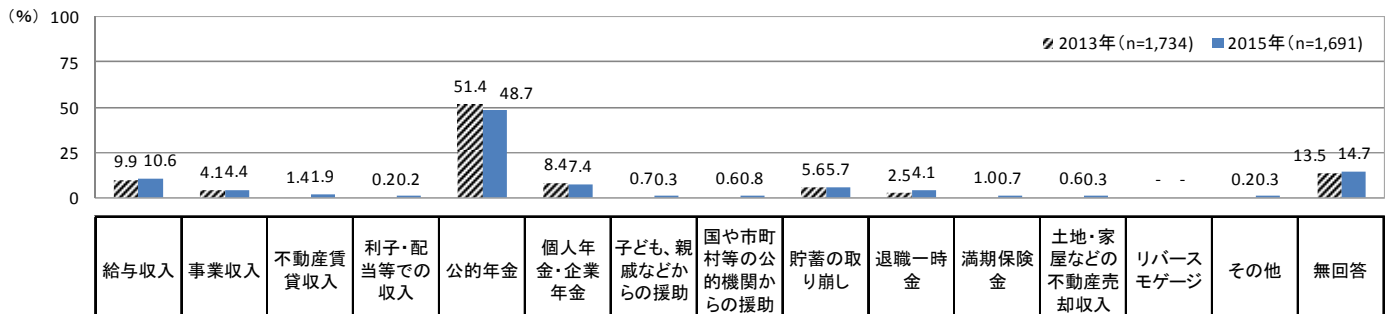
(11) 高齢期（65歳以上）を迎えたときの家計支出の収入源

- 65歳以上の高齢期を迎えたときの世帯の家計をまかなう収入源（複数回答）として考えているものについて尋ねたところ、「公的年金」が74.2%と圧倒的に多い。以下、「貯蓄の取り崩し」（39.0%）、「個人年金・企業年金」（32.2%）と続く。「給与収入」は4番目に多い22.1%である。
- 65歳以上世帯の家計をまかなう収入源のうち最も金額が大きくなると考えているものは、「公的年金」が48.7%と約5割を占める。以下、「給与収入」（10.6%）、「個人年金・企業年金」（7.4%）、「貯蓄の取り崩し」（5.7%）と続く。

(図表5-25) 高齢期（65歳以上）の収入源（問30(1)、複数回答）



(図表5-26) 高齢期（65歳以上）の最も大きな収入源（問30(2)）

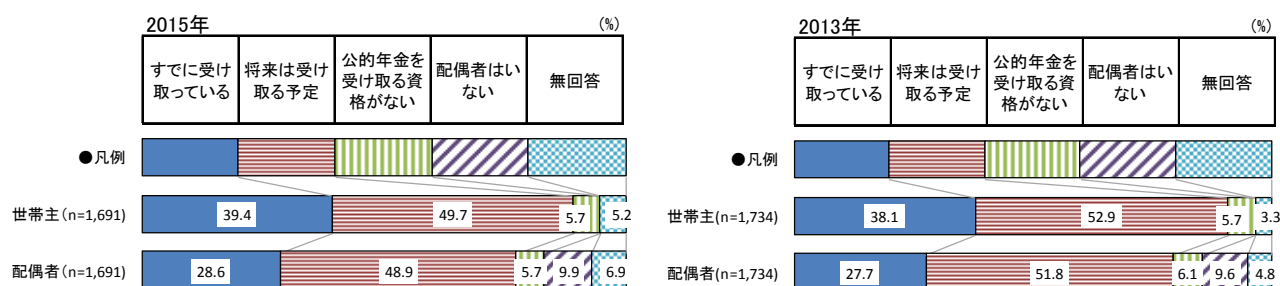


6. 年金について

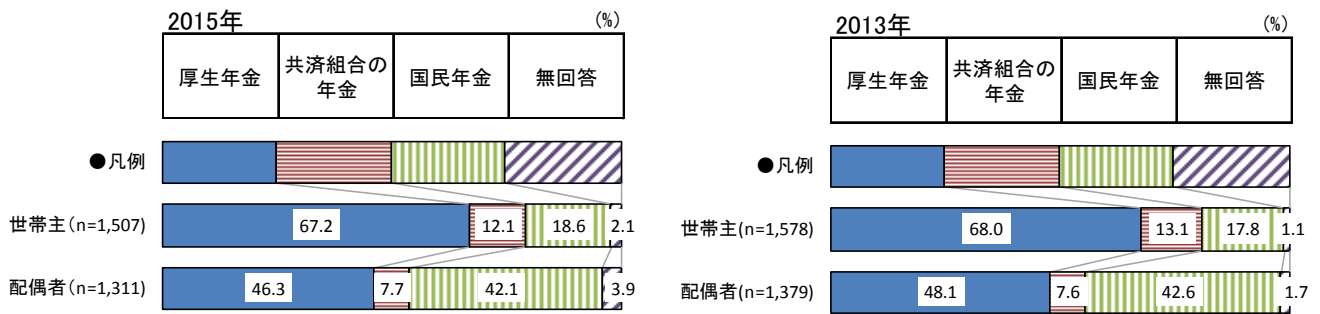
(1) 世帯主・配偶者の公的年金

- 現在公的年金の給付があるかどうかを尋ねたところ、世帯主については、「すでに受け取っている」が39.4%、「今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」が49.7%、「公的年金を受け取る資格がない」は5.7%である。配偶者については、「すでに受け取っている」が28.6%、「今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」が48.9%、「公的年金を受け取る資格がない」は5.7%、また「配偶者はいない」は9.9%である。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の人に公的年金の種類は、世帯主（1,507人）については、「厚生年金」が67.2%と最も多く、次いで「国民年金」（18.6%）、「共済組合の年金」12.1%の順である。配偶者（1,311人）については、「厚生年金」が46.3%、「国民年金」が42.1%でともに4割台であり、「共済組合の年金」は7.7%である。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の公的年金の受給開始年齢は、世帯主は「65歳」が52.6%、「60～65歳未満」が33.0%である。配偶者では「65歳」が58.0%、「60～65歳未満」は27.2%である。
- すでに受け取っている公的年金受取月額、世帯主では「15～20万円未満」が21.6%で最も多く、次いで「20～25万円未満」（19.2%）、「10～15万円未満」が16.6%の順となっている。配偶者では「5～7万円未満」が23.1%で最も多く、次いで「5万円未満」（17.8%）、「7～10万円未満」（16.5%）の順となっており、世帯主に比べて受取月額が低い傾向である。
- 将来受け取る予定の公的年金受取月額の予想最低額、中間額、最高額について、世帯主では最低額および中間額は「10～15万円未満」が最も多く（順に15.1%、12.5%）、最高額は「15～20万円未満」（11.4%）となっている。配偶者では最低額は「5～7万円未満」（15.6%）が最も多く中間額および最高額は「10～15万円未満」（順に11.0%、11.6%）となっている。
- 「今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」の世帯主（840人）および配偶者（827人）の公的年金について、実際の受取額が予想額の最低値になる可能性について尋ねたところ、世帯主・配偶者ともに「わからない」が4割弱で最も多い。逆に、実際の受取額が予想額の最高値になる可能性については、世帯主・配偶者ともに「わからない」が4割強で最も多く、「10%未満」がともに2割となっている。
- 注）前回調査では“実際の受取額が予想受取額より2割下がる可能性”と“2割上がる可能性”について尋ねており、今回との比較は参考に留まる点に留意いただきたい。

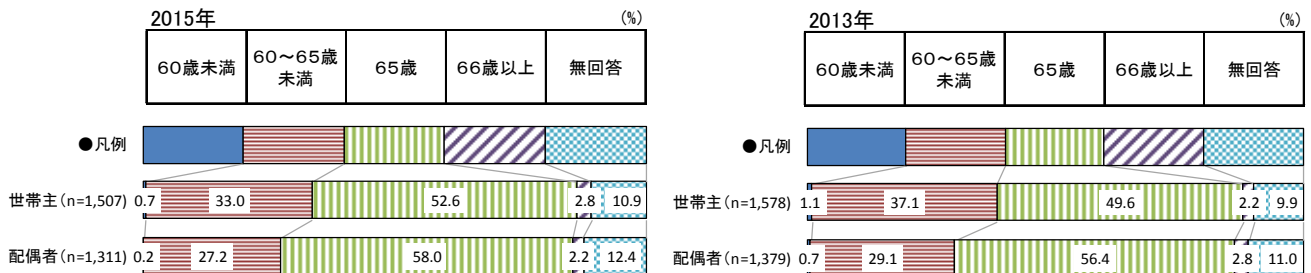
（図表6－1）世帯主・配偶者の公的年金給付の有無（問31・問32）



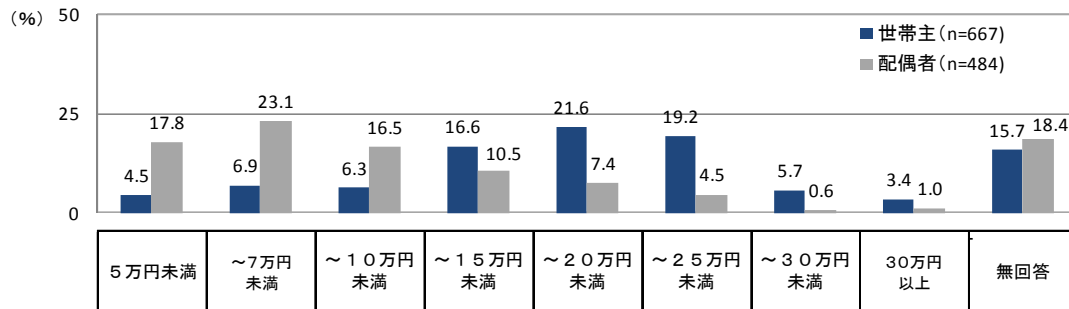
(図表 6-2) 世帯主・配偶者の公的年金の種類 (問 3 1-1・問 3 2-1)



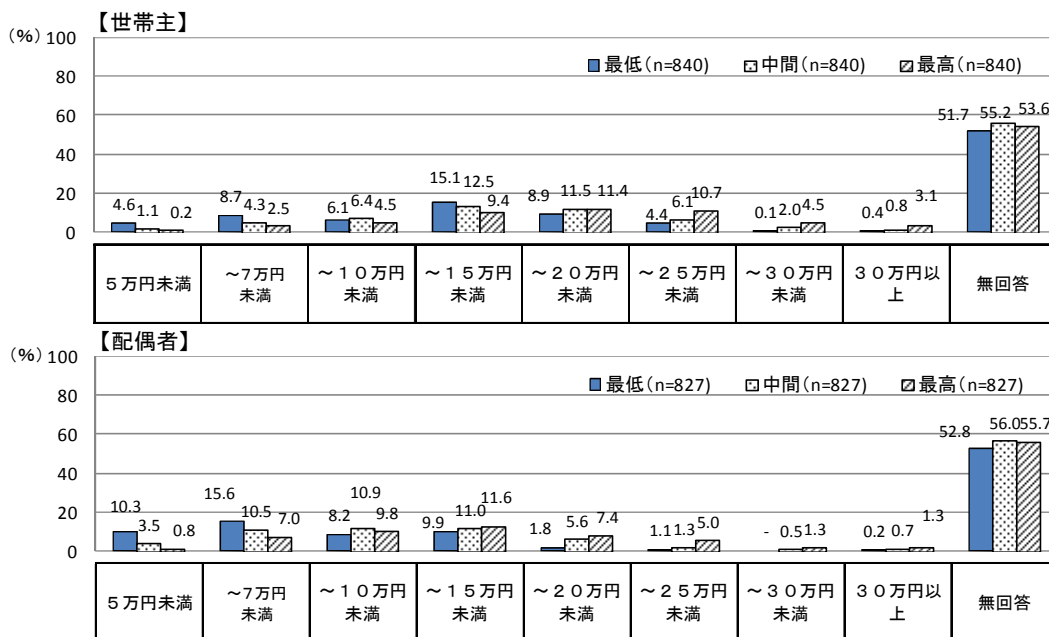
(図表 6-3) 世帯主・配偶者の公的年金受給開始年齢 (問 3 1-2・問 3 2-2)



(図表 6-4) 世帯主・配偶者の公的年金受取月額 (問 3 1-3・問 3 2-3)

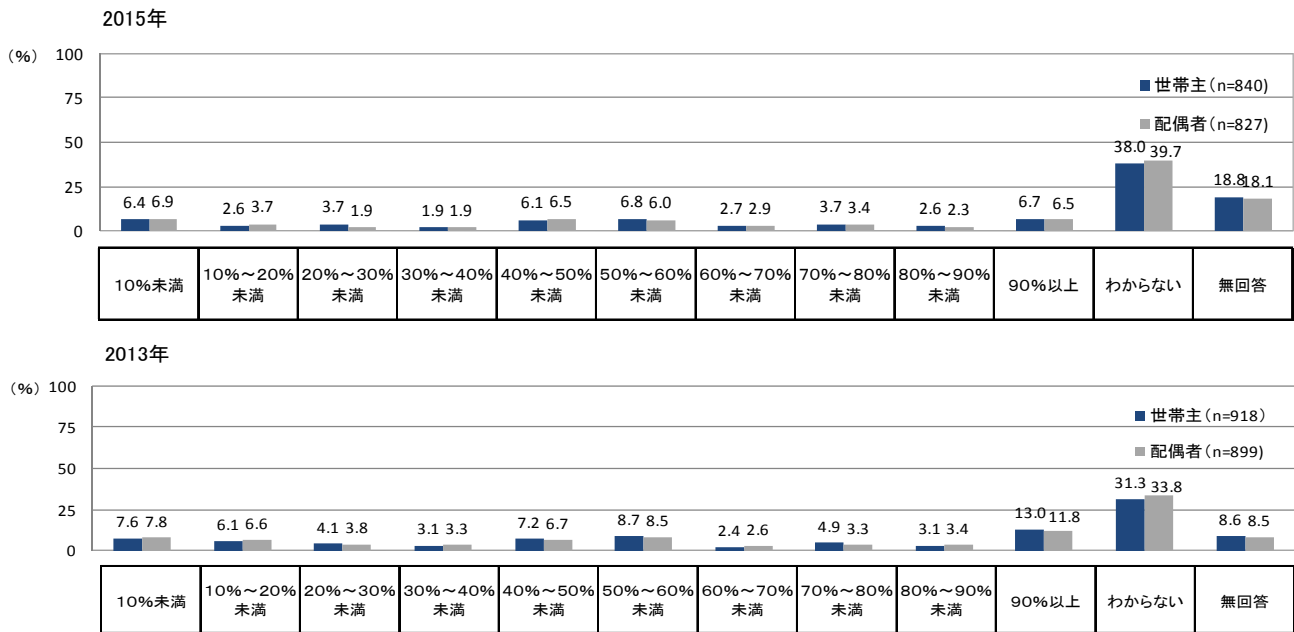


〔公的年金受給予定者者の受取予想額〕



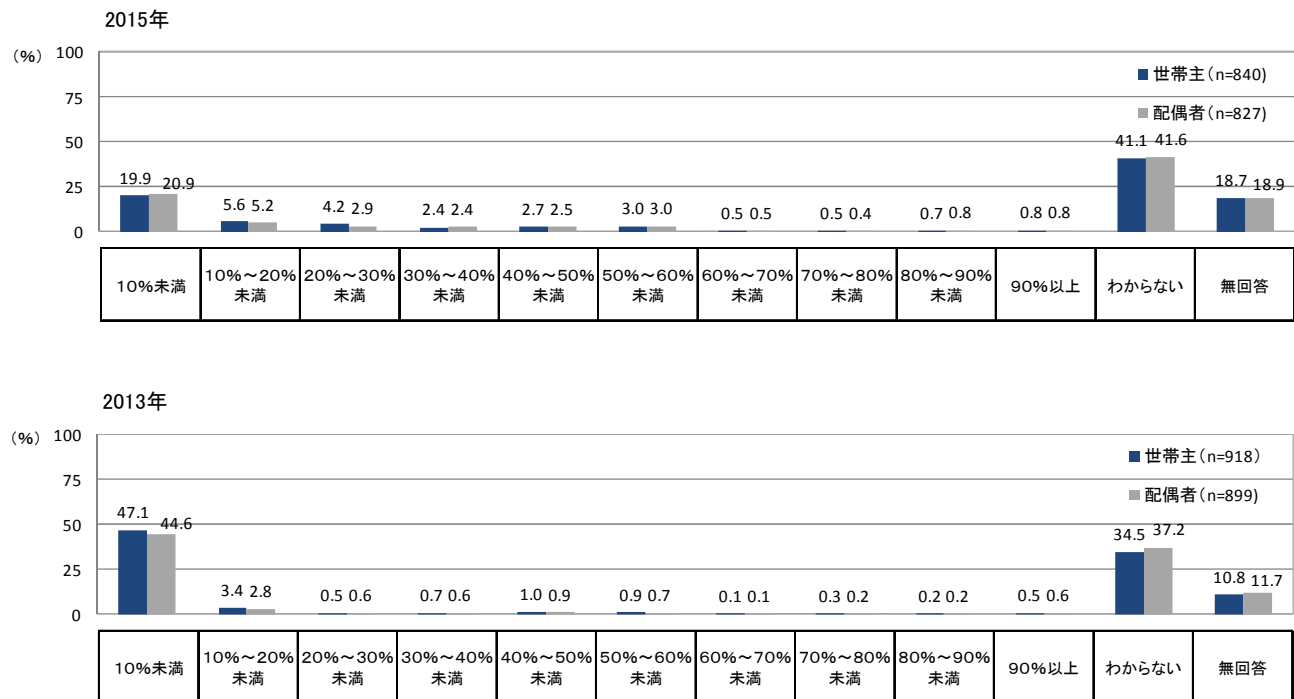
※2013年とは質問形式が異なるため、時系列比較は非掲載

(図表 6－5) 世帯主・配偶者の公的年金受給額が最低値になる可能性 (問 3 1－4・問 3 2－4)



※2013 年調査の設問は「実際の受取額が予想受取額より 2 割下がる可能性」

(図表 6－6) 世帯主・配偶者の公的年金受給額が最高値になる可能性 (問 3 1－5・問 3 2－5)

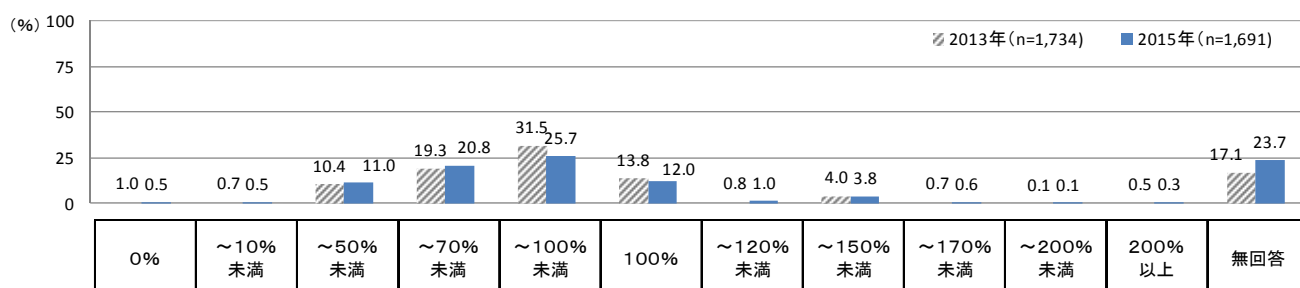


※2013 年調査の設問は「実際の受取額が予想受取額より 2 割上がる可能性」

(2) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合

- 65歳以上の高齢期となったときの世帯支出を公的年金でまかなえると考える程度を尋ねたところ、支出の「70～100%未満」程度まかなえると回答が25.7%と最も多く、次いで「50～70%未満」が20.8%、「100%」まかなえると回答が12.0%であった。100%未満（＝世帯支出を全額まかなえない）の回答合計は58.5%で、101%以上（余剰が出る）との回答合計（5.7%）に比べて多い。

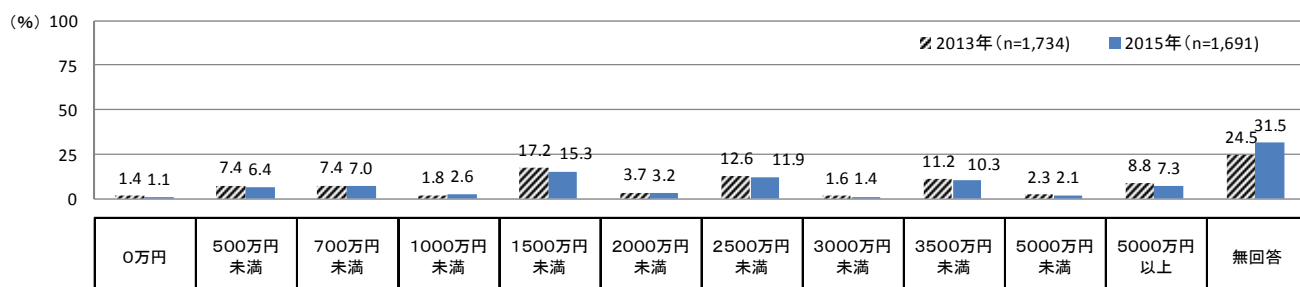
(図表6-7) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合（問33）



(3) 公的年金受給前に必要な貯蓄額

- 公的年金受給前に必要だと思う貯蓄額は、『3000万円以上 計』は19.6%、『1000～2000万円未満 計』が18.5%、次いで『1000万円未満 計』が17.1%、『2000～3000万円未満 計』は13.3%である。

(図表6-8) 公的年金受給前に必要な貯蓄額（問34）

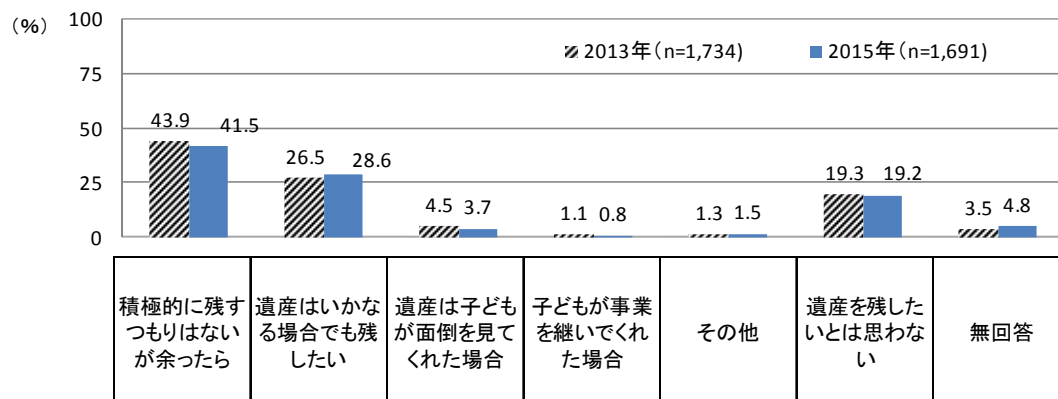


7. 遺産について

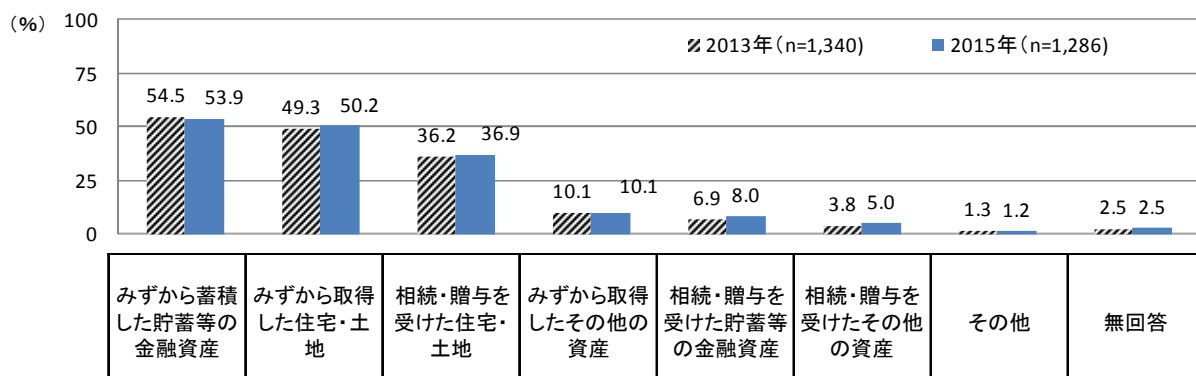
(1) 子どもに残す遺産についての考え方

- 子どもに残す遺産（生前贈与を含む）に関する考え方について、「遺産(生前贈与を含む)を積極的に残すつもりはないが、余った場合には残したい」との回答が41.5%で最も多く、次いで「遺産(生前贈与を含む)は、いかなる場合においても残したい」が28.6%、「遺産(生前贈与を含む)を残したいとは思わない」が19.2%となっている。（注）この質問は子どもがいない方もいると仮定して回答してもらっている。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人（1,286人）が残したい遺産（複数回答）としては、「みずから蓄積した貯蓄等の金融資産」が53.9%と最も多く、次いで「みずから取得した住宅・土地」（50.2%）、「相続・贈与を受けた住宅・土地」（36.9%）となっている。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人に、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた資産金額の見当がついているかどうかを尋ねたところ、「見当がついていない」との回答は82.0%で、「ある程度見当がついている」は8.7%に留まる。なお、見当がついている人（112人）の見当金額は、「100万円未満」（21.4%）が2割台で最も多い一方、「500万円～1億円未満」も11.6%いるなど、世帯差が大きいことがうかがわれる。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人の遺産分与の考え方は、「子どもの人数に応じて、均等に分ける」が57.7%で過半数を占め、次いで、「介護など親の面倒を見た子どもに、多く（もしくは全部）分ける」（14.0%）、「子どもが1人なので、その子に全部残す」（13.5%）となっている。

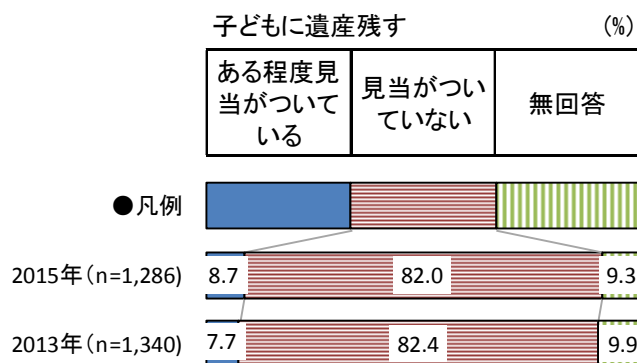
(図表7-1) 子どもに残す遺産についての考え方（問35）



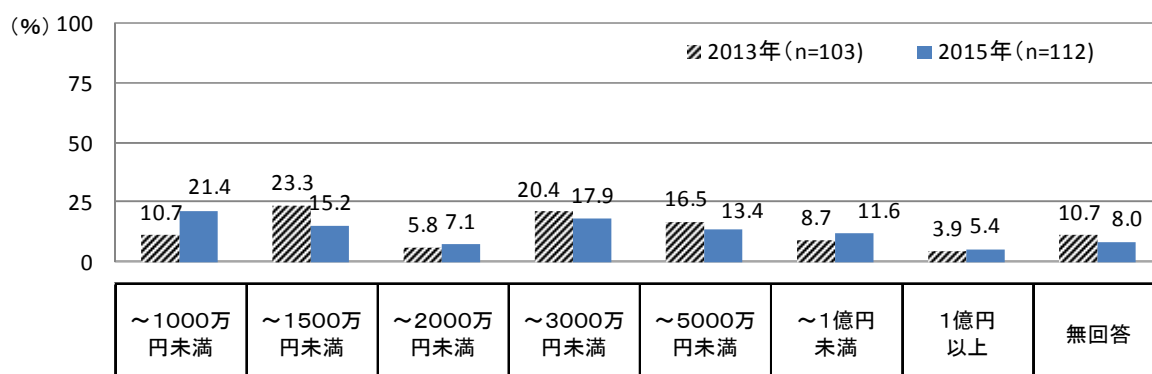
(図表7-2) 子どもに残す遺産の内容（問35-1、複数回答）



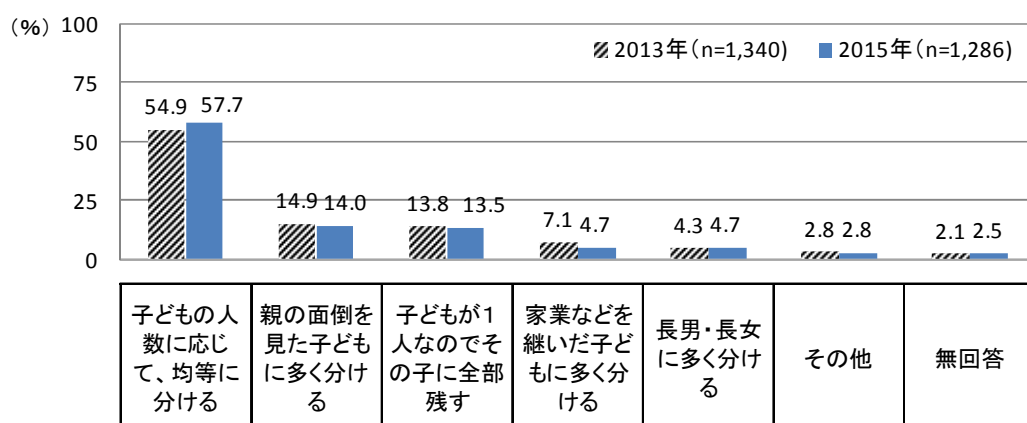
(図表 7-3) 子どもに残す遺産額 (問 3 5-2)



(図表 7-4) 子どもに残す遺産額 (問 3 5-2)



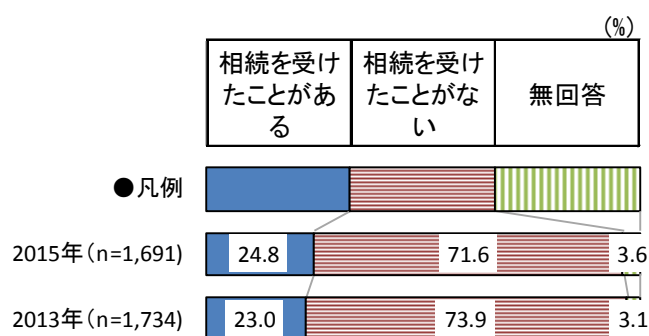
(図表 7-5) 遺産分与についての考え方 (問 3 5-3)



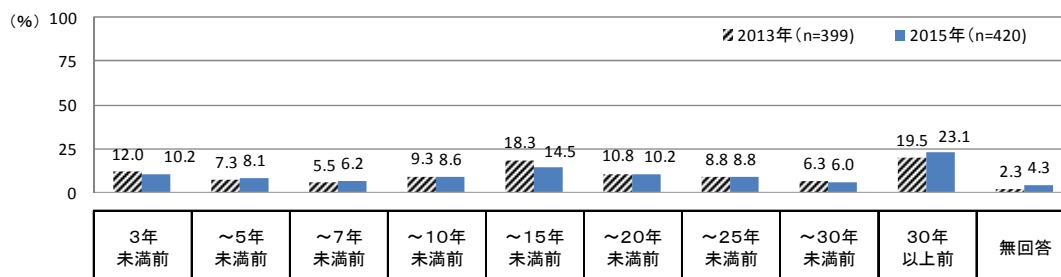
(2) 親からの遺産相続

- 世帯主の親からの遺産相続の有無については、「相続を受けたことがない」が71.6%、「相続を受けたことがある」が24.8%で、相続を受けた経験がない世帯が多い。
- 世帯主の親から遺産の相続を受けたことがある世帯(420人)が相続を受けた時期では、「30年以上前」が23.1%と最も多く、以下、「10～15年未満前」が14.5%、「3年未満前」と「15～20年未満前」がともに10.2%と続く。親から相続した資産の内容を複数回答で尋ねたところ、「居住用の不動産(一戸建て)」が60.5%と最も多く、以下、「金融資産」(43.1%)、「その他の不動産」(34.8%)となっている。

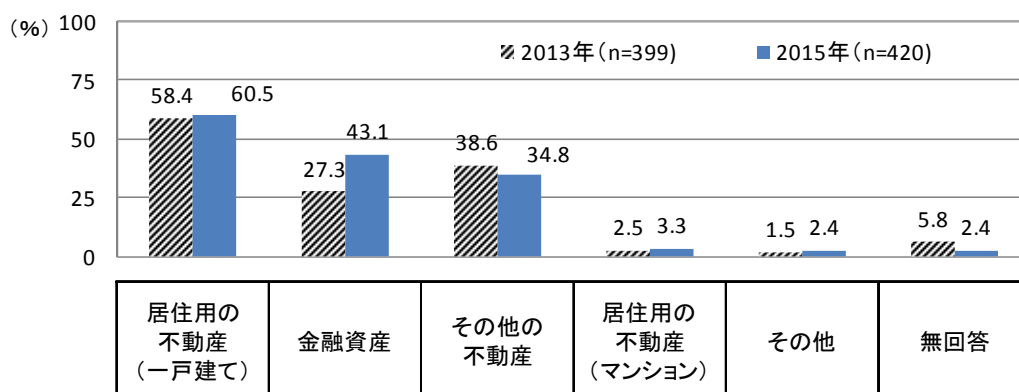
(図表7-6) 親からの遺産相続経験の有無 (問36)



(図表7-7) 親からの遺産相続を受けた時期 (問36-1)



(図表7-8) 親からの相続した資産の内容 (問36-2(1)、複数回答)



- 世帯主の親から遺産の相続を受けたことがある世帯について、最も多い相続時の評価額を見ていくと、居住用の一戸建て（254人）は「1000～1500万円未満」（11.0%）、その他の不動産（146人）は「1000～1500万円未満」と「5000万円以上」（ともに8.9%）、金融資産は「1000～1500万円未満」（13.8%）となっている。また、相続時の評価の合計（410人）については「1000～1500万円未満」が12.0%で最も多い。

（図表7－9）親からの相続した資産の金額（問36－2（2））

2015年

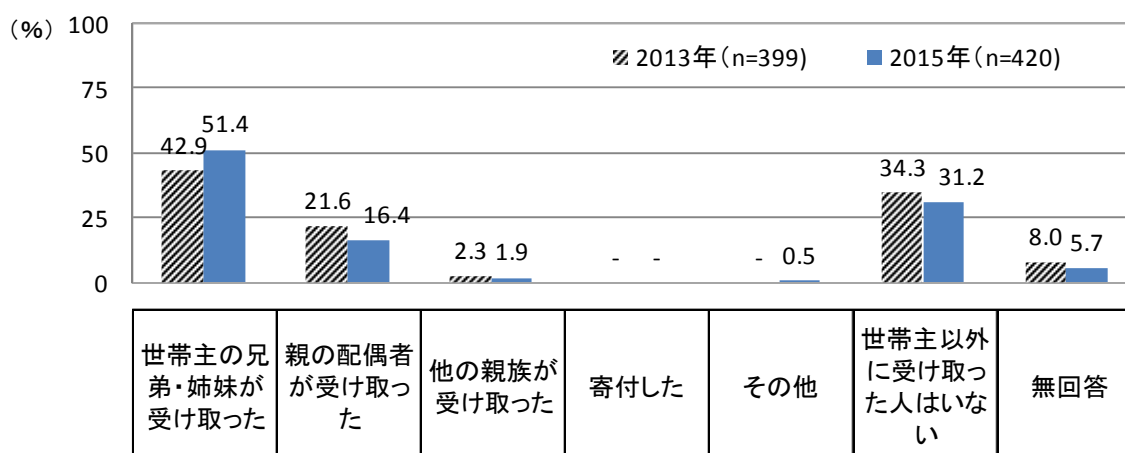
	居住用の一戸建て	居住用のマンション	その他の不動産	金融資産	その他	合計
	(n=254)	(n=14)	(n=146)	(n=181)	(n=10)	(n=410)
～100万円未満	2.8	-	1.4	3.3	10.0	2.2
～200万円未満	5.1	-	4.8	7.7	10.0	4.9
～300万円未満	2.8	7.1	2.7	7.2	10.0	3.4
～400万円未満	2.8	-	3.4	9.4	20.0	4.9
～500万円未満	0.8	-	2.7	1.1	-	0.5
～700万円未満	9.8	14.3	5.5	12.7	-	7.3
～1000万円未満	4.3	-	4.8	8.3	20.0	7.3
～1500万円未満	11.0	14.3	8.9	13.8	10.0	12.0
～2000万円未満	4.3	7.1	4.8	3.3	10.0	6.6
～3000万円未満	5.9	-	5.5	4.4	-	5.9
～5000万円未満	7.1	21.4	3.4	3.9	-	7.8
5000万円以上	3.5	14.3	8.9	2.2	-	7.1
無回答	39.8	21.4	43.2	22.7	10.0	30.2

2013年

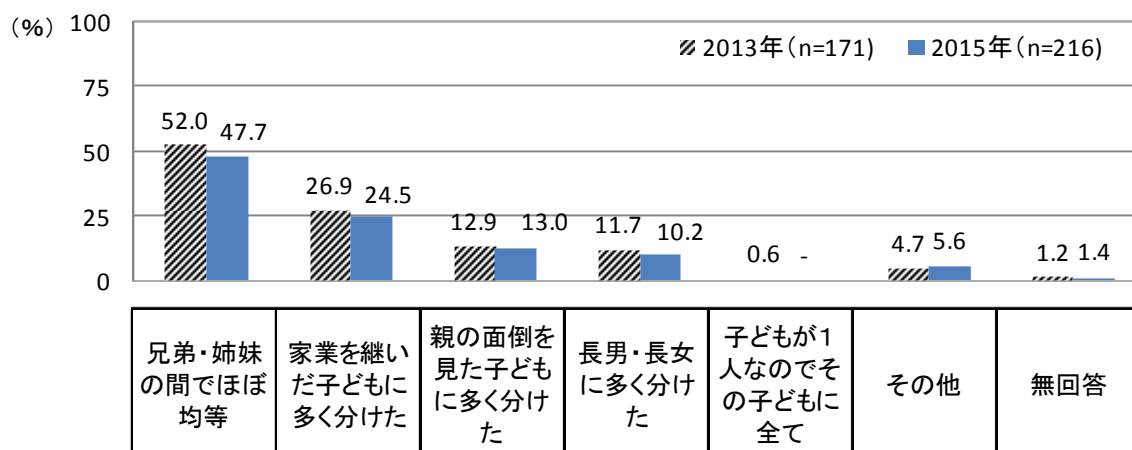
	居住用の一戸建て	居住用のマンション	その他の不動産	金融資産	その他	合計
	(n=233)	(n=10)	(n=154)	(n=109)	(n=6)	(n=376)
～100万円未満	1.7	-	3.9	2.8	-	1.6
～200万円未満	4.3	-	5.2	9.2	-	3.7
～300万円未満	4.3	10.0	3.2	9.2	-	4.0
～400万円未満	3.9	20.0	4.5	13.8	33.3	7.2
～500万円未満	2.6	-	1.9	3.7	-	1.3
～700万円未満	12.9	30.0	9.1	13.8	-	9.6
～1000万円未満	3.9	10.0	3.2	8.3	-	2.9
～1500万円未満	11.6	-	12.3	11.9	16.7	11.4
～2000万円未満	8.2	-	3.2	4.6	-	8.5
～3000万円未満	7.3	10.0	2.6	3.7	16.7	7.4
～5000万円未満	6.4	-	9.1	3.7	-	8.0
5000万円以上	1.7	10.0	11.7	1.8	-	7.4
無回答	31.3	10.0	29.9	13.8	33.3	26.9

- 世帯主の親からの相続経験世帯において、世帯主以外で世帯主の親から遺産を相続した人については、「世帯主の兄弟・姉妹が受け取った」が51.4%で最も多く、「世帯主以外に受け取った人はいない」は31.2%、「親の配偶者が受け取った」が16.4%である。
- 世帯主のほかに世帯主の兄弟・姉妹が受け取った人（216人）に、親から相続した遺産の分配方法（兄弟姉妹の間）を尋ねたところ、「兄弟・姉妹の間で、ほぼ均等に分けられた」が47.7%で5割弱を占めて最も多く、次いで「兄弟・姉妹の間で、家業などを継いだ子どもに多く（もしくは全部）分けた」が24.5%となっている。

（図表 7－10）世帯主以外の相続者（問 36－3、複数回答）



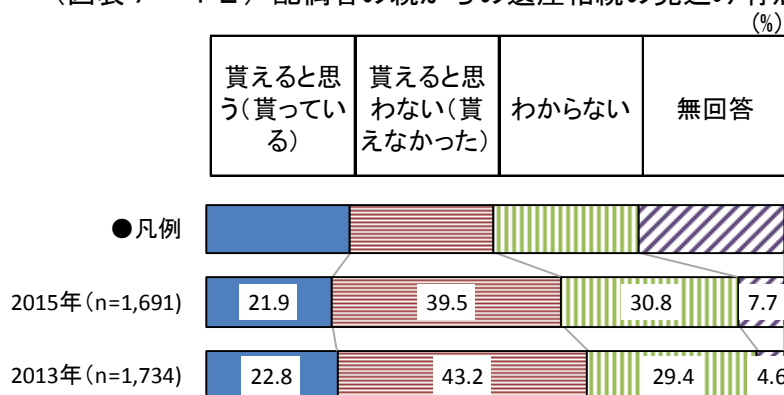
（図表 7－11）親からの相続遺産分与（問 36－4、複数回答）



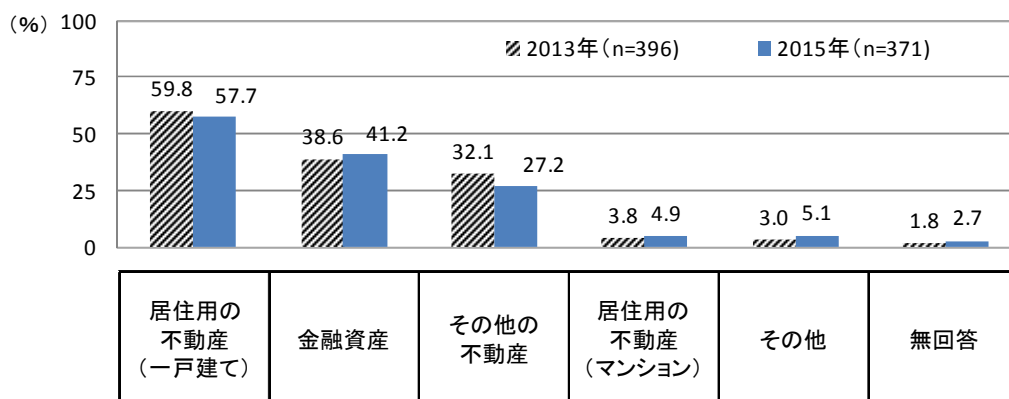
(3) 配偶者の親からの遺産相続の見込み有無

- 将来、世帯主または配偶者の親からの遺産（不動産や金融資産等）をもらえると思うかどうかについては、「もらえると思わない（または、もらえなかった）」が39.5%と最も多く、次いで「わからない」（30.8%）、「もらえると思う（または、すでにもらっている）」は21.9%である。
- 将来遺産をもらえると思っている（またはすでにもらっている）世帯（371人）に遺産の種類を尋ねたところ、「居住用の不動産（一戸建て）」が57.7%で最も多く、次に「金融資産」（41.2%）、「その他の不動産」（27.2%）の順である。また、将来遺産をもらえると思っている資産の時価総額は「1000～1500万円未満」が12.7%と最も多く、以下、「500～700万円未満」（9.7%）、「2000～3000万円未満」（9.2%）と続く。

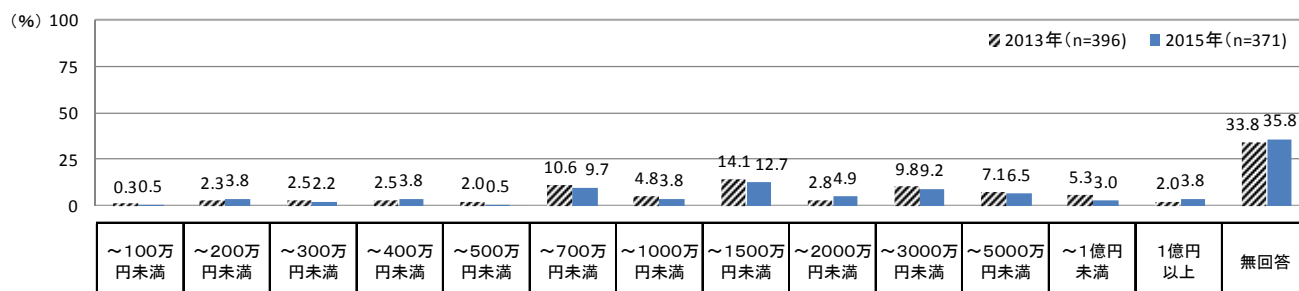
(図表 7-12) 配偶者の親からの遺産相続の見込み有無 (問37)



(図表 7-13) 配偶者の親からの相続遺産の内容 (問37-1、複数回答)



(図表 7-14) 配偶者の親からの相続遺産の時価総額 (問37-2)



Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

--	--	--	--	--

「第2回(2015年)家計と貯蓄に関する調査」 調査票

この調査は家計や貯蓄について、日ごろお考えになられていることなどをおうかがいするものです。

- ・お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的に集計処理し、家計の金融行動に関する今後の学術研究に役立てます。個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。
- ・お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・金額など数値をお尋ねしている設問では、それぞれの単位に合わせて、その1つ下の位を四捨五入してご回答ください。
例) 金額を「万円」の単位でおうかがいしている場合：
64,000円であれば、千の位「4」を四捨五入して、「6万円」と回答してください。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。
- ・ご回答いただいた調査票は調査員が引き取りに訪問しますが、記入内容を見られたくない方は、添付の封筒に入れてお渡しください。郵送でお送りいただく場合は、12月18日(金)までにご投函ください。
- ・ご協力いただいた方には、謝礼として1,000円分の図書カードを贈呈いたします。訪問提出の場合は記入済調査票と引き換えにお渡しします。郵送提出の場合は平成28年1月中にお送りさせていただきます。

●次の方にご回答をお願いいたします。

世帯主の方、もしくはお宅様で家計や貯蓄を管理・掌握していらっしゃる方

※この調査において「世帯」とは、同別居にかかわらず家計を同一にしている方すべてを含めてお考えください。

☐ 調査票の受領 (訪問して受領させていただく場合)

月 日 () 時 分頃に受け取りにお伺いします。

☐ 郵送提出をご希望の場合は、12月18日(金)までにご投函ください。

【調査の企画】 一般財団法人ゆうちょ財団 金融行動調査ワーキングチーム

〒101-0061

東京都千代田区三崎町3-7-4

ホームページ <http://www.yu-cho-f.jp/>

慶應義塾大学 商学部教授 渡部 和孝

文京学院大学 人間学部准教授 寺島 拓幸

(独)労働政策研究・研修機構 副主任研究員 周 燕飛

【調査の実施】 株式会社日本リサーチセンター



〒103-0023

東京都中央区日本橋本町2-7-1

ホームページ <http://www.nrc.co.jp/>

担当: 高田、鈴木



お問い合わせ: フリーダイヤル 0120-107-705

(平日 10:00~12:00、13:00~17:00)

担当調査員									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

生活全般についておうかがいします。

問1 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。(〇は1つ) (n=1, 691)

(12. 9%) 満足している	(27. 7%) やや不満だ
(49. 7%) まあ満足している	(7. 9%) 不満だ

(1. 8%)無回答

問2 あなたは、次の「ア」～「キ」の生活のそれぞれの面では、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)
(n=1, 691)

	満足 している	まあ 満足している	やや不満だ	不満だ
ア 所得・収入 (0. 7%) 無回答	(6. 6%)	(38. 0%)	(38. 1%)	(16. 6%)
イ 資産・貯蓄 (1. 4%) 無回答	(4. 4%)	(29. 6%)	(40. 3%)	(24. 3%)
ウ 自動車、電気製品、家具などの耐久消費財 (1. 9%) 無回答	(10. 6%)	(56. 2%)	(24. 4%)	(6. 9%)
エ 食生活(0. 8%) 無回答	(17. 7%)	(65. 1%)	(12. 8%)	(3. 5%)
オ 住生活 (1. 2%) 無回答	(16. 7%)	(55. 4%)	(20. 2%)	(6. 5%)
カ 自己啓発・能力向上 (2. 2%) 無回答	(5. 7%)	(49. 3%)	(35. 7%)	(7. 1%)
キ レジャー・余暇生活 (1. 0%) 無回答	(7. 3%)	(45. 8%)	(33. 6%)	(12. 2%)

問3 あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか。(〇は1つ) (n=1, 691)

69. 5%) 悩みや不安を感じている	(17. 6%) 悩みや不安を感じていない
	(8. 2%) わからない

(4. 7%)無回答

→ 【問3で、「1 悩みや不安を感じている」と回答した方に】

問3-1 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。(〇はいくつでも) (n=1, 175)

(57. 5%) 自分の健康	(66. 4%) 老後の生活設計
(61. 9%) 家族の健康	(14. 6%) 家族・親族間の人間関係
(5. 4%) 自分の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	(5. 7%) 近隣・地域との関係
(33. 7%) 家族の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	(11. 3%) 勤務先での仕事や人間関係
(36. 3%) 現在の収入や資産	(8. 5%) 事業や家業の経営上の問題
(59. 0%) 今後の収入や資産	(2. 0%) その他(具体的に)

(0. 1%)無回答

【全員の方へ】

問4 今後の生活において、「物の豊かさ」と「心の豊かさ」に関して、あなたの考え方に近いのはどちらですか。

(○は1つ) (n=1,691)

(36.7%) 物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに
重きをおきたい

(23.2%) まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに、重きをおきたい

(39.0%) どちらともいえない

(1.2%) 無回答

問5 あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか。それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。(○は1つ) (n=1,691)

(27.4%) 貯蓄や投資など将来に備える (42.1%) 毎日の生活を充実させて楽しむ (29.3%) どちらともいえない

(1.2%) 無回答

問6 あなたが普段お出かけになる時に、傘などの雨具を持って出かけるのは、降水確率が何%以上のときですか。

(実数記入) (n=1,691)

※いつも雨具を持ち歩いている方は「0」、雨が実際に降っている時以外は雨具を持ち歩かない方は「100」とお書きください。

(10.3%) 0%	(29.3%) 40～60%未満	(29.3%) 100%
(0.7%) 1～20%未満	(13.2%) 60～80%未満	(1.4%) 無回答
(11.1%) 20～40%未満	(4.8%) 80～100%未満	

問7 物価の動向に関するお考えをおうかがいします。

1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(○は1つ) (n=1,691)

※消費税引き上げ分は含めずにお考えください。

(3.4%) 下がる

(24.8%) 変わらない →次ページの間8へ

(62.9%) 上がる

(8.9%) 無回答

問7-1 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (n=57)

(29.8%) 2%未満

(49.1%) 2%～5%未満

(14.0%) 5%～10%未満

(7.0%) 10%以上

(-) 無回答

問7-2 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (n=1,064)

(21.9%) 2%未満

(49.0%) 2%～5%未満

(21.8%) 5%～10%未満

(6.2%) 10%以上

(1.1%) 無回答

貯蓄についておうかがいします。

【全員の方に】

問8 あなたの世帯では、現在、世帯の貯蓄をどうなさっていますか。(〇は1つ) (n=1,691)

(14.2%) 貯蓄を増やしている (47.0%) あまり貯蓄額は変わっていない (36.5%) 貯蓄を取り崩している

無回答 (2.3%)

問9 あなたの世帯では、どのような種類の預貯金・金融商品(外貨建て金融商品を含む)によって貯蓄をおこなっていますか。

(1) 「1」から「12」の預貯金・金融商品について、持っているものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも) (n=1,691)

【(1)で「持っている」と回答した預貯金・金融商品それぞれについて】

(2) 回答可能な範囲でお答えいただければ結構ですので、そのおおよその現在高(保有額)をご記入ください。

(実数記入)

	(1) 持っているもの (〇はいくつでも)	(2) 現在高(保有額) ＜平成25年10月末現在＞		記入上のご注意
		+	− (位)	
郵便貯金 ＜通常貯金＞ (n=842)	49.8%	(42.8%) ～ 100万円未満 (16.6%) ～ 200万円未満 (8.7%) ～ 300万円未満 (4.2%) ～ 400万円未満 (0.5%) ～ 500万円未満 (2.5%) ～ 700万円未満 (1.3%) ～ 1000万円未満	(1.9%) ～ 1500万円未満 (0.1%) ～ 2000万円未満 (0.1%) ～ 3000万円未満 (-) ～ 5000万円未満 (-) ～ 1億円未満 (-) 1億円以上 (21.4%) 無回答	ゆうちょ銀行や郵便局への貯金の総額を「通常貯金」「定期貯金・定額貯金」に分けて、それぞれお答えください。
郵便貯金 ＜定期貯金・定額貯金＞ (n=503)	29.7%	(11.1%) ～ 100万円未満 (16.1%) ～ 200万円未満 (12.1%) ～ 300万円未満 (11.5%) ～ 400万円未満 (3.4%) ～ 500万円未満 (11.9%) ～ 700万円未満 (6.8%) ～ 1000万円未満	(6.0%) ～ 1500万円未満 (1.2%) ～ 2000万円未満 (1.4%) ～ 3000万円未満 (0.2%) ～ 5000万円未満 (-) ～ 1億円未満 (-) 1億円以上 (18.3%) 無回答	
預貯金 ＜普通預金＞ (n=1,116)	66.0%	(25.6%) ～ 100万円未満 (19.4%) ～ 200万円未満 (8.8%) ～ 300万円未満 (6.7%) ～ 400万円未満 (3.2%) ～ 500万円未満 (5.8%) ～ 700万円未満 (3.0%) ～ 1000万円未満	(4.0%) ～ 1500万円未満 (0.9%) ～ 2000万円未満 (1.9%) ～ 3000万円未満 (0.4%) ～ 5000万円未満 (0.2%) ～ 1億円未満 (-) 1億円以上 (20.1%) 無回答	銀行、信用金庫・信用組合、農協などへの預貯金の額を「普通預金」「定期性預金・定期積立」に分けて、それぞれお答えください。 *外貨預金は含みません。
預貯金 ＜定期性預金・定期積立＞ (n=659)	39.0%	(11.7%) ～ 100万円未満 (12.0%) ～ 200万円未満 (9.7%) ～ 300万円未満 (9.0%) ～ 400万円未満 (2.4%) ～ 500万円未満 (9.7%) ～ 700万円未満 (4.6%) ～ 1000万円未満	(11.2%) ～ 1500万円未満 (2.7%) ～ 2000万円未満 (5.2%) ～ 3000万円未満 (2.9%) ～ 5000万円未満 (0.8%) ～ 1億円未満 (0.3%) 1億円以上 (17.9%) 無回答	

外貨建て金融商品 (外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等) (n=92)	5.4%	(22.8%) ～ 100万円未満 (14.1%) ～ 200万円未満 (8.7%) ～ 300万円未満 (10.9%) ～ 400万円未満 (4.3%) ～ 500万円未満 (9.8%) ～ 700万円未満 (1.1%) ～ 1000万円未満	(6.5%) ～ 1500万円未満 (-) ～ 2000万円未満 (3.3%) ～ 3000万円未満 (2.2%) ～ 5000万円未満 (-) ～ 1億円未満 (-) 1億円以上 (16.3%) 無回答	記入時の為替相場で円換算してお答えください。
生命保険 (定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含みません) (n=692)	40.9%	(8.5%) ～ 100万円未満 (11.4%) ～ 200万円未満 (8.2%) ～ 300万円未満 (10.3%) ～ 400万円未満 (4.6%) ～ 500万円未満 (10.3%) ～ 700万円未満 (5.8%) ～ 1000万円未満	(7.5%) ～ 1500万円未満 (1.2%) ～ 2000万円未満 (2.6%) ～ 3000万円未満 (1.2%) ～ 5000万円未満 (0.9%) ～ 1億円未満 (0.3%) 1億円以上 (27.3%) 無回答	生命保険会社、郵便局、農協などの生命保険に今までに払い込んだ保険料の総額をお答えください。定期保険・医療保険などの掛け捨て型は除きます。
個人年金 (公的年金の保険料は含みません) (n=319)	18.9%	(14.7%) ～ 100万円未満 (13.2%) ～ 200万円未満 (14.1%) ～ 300万円未満 (9.7%) ～ 400万円未満 (3.1%) ～ 500万円未満 (8.2%) ～ 700万円未満 (3.4%) ～ 1000万円未満	(6.9%) ～ 1500万円未満 (1.3%) ～ 2000万円未満 (1.6%) ～ 3000万円未満 (1.3%) ～ 5000万円未満 (0.3%) ～ 1億円未満 (0.3%) 1億円以上 (21.9%) 無回答	生命保険会社、郵便局、農協などの年金商品に今までに払い込んだ掛け金の総額をお答えください。公的年金の保険料は含みません。
債券 (国債、金融債(ワイドを含む)、社債等) (n=61)	3.6%	(11.5%) ～ 100万円未満 (19.7%) ～ 200万円未満 (9.8%) ～ 300万円未満 (11.5%) ～ 400万円未満 (3.3%) ～ 500万円未満 (6.6%) ～ 700万円未満 (3.3%) ～ 1000万円未満	(8.2%) ～ 1500万円未満 (4.9%) ～ 2000万円未満 (3.3%) ～ 3000万円未満 (-) ～ 5000万円未満 (-) ～ 1億円未満 (-) 1億円以上 (18.0%) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
株式 (従業員持株制度による株式を含みます。) (n=270)	16.0%	(17.4%) ～ 100万円未満 (17.0%) ～ 200万円未満 (9.6%) ～ 300万円未満 (4.8%) ～ 400万円未満 (3.0%) ～ 500万円未満 (9.6%) ～ 700万円未満 (3.3%) ～ 1000万円未満	(7.4%) ～ 1500万円未満 (1.9%) ～ 2000万円未満 (4.8%) ～ 3000万円未満 (3.3%) ～ 5000万円未満 (1.9%) ～ 1億円未満 (0.7%) 1億円以上 (15.2%) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
投資信託 (公社債投信、株式投信、MMF、REIT等) (n=164)	9.7%	(13.4%) ～ 100万円未満 (13.4%) ～ 200万円未満 (11.0%) ～ 300万円未満 (8.5%) ～ 400万円未満 (2.4%) ～ 500万円未満 (12.8%) ～ 700万円未満 (2.4%) ～ 1000万円未満	(6.7%) ～ 1500万円未満 (1.2%) ～ 2000万円未満 (6.7%) ～ 3000万円未満 (2.4%) ～ 5000万円未満 (0.6%) ～ 1億円未満 (-) 1億円以上 (18.3%) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
財形貯蓄、社内預金 (n=157)	9.3%	(23.6%) ～ 100万円未満 (19.7%) ～ 200万円未満 (8.9%) ～ 300万円未満 (10.2%) ～ 400万円未満 (1.3%) ～ 500万円未満 (10.2%) ～ 700万円未満 (3.2%) ～ 1000万円未満	(1.9%) ～ 1500万円未満 (-) ～ 2000万円未満 (0.6%) ～ 3000万円未満 (-) ～ 5000万円未満 (-) ～ 1億円未満 (-) 1億円以上 (20.4%) 無回答	財形貯蓄・社内預金などの貯蓄額をお答えください。
その他 (貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等) (n=30)	1.8%	(20.0%) ～ 100万円未満 (13.3%) ～ 200万円未満 (13.3%) ～ 300万円未満 (6.7%) ～ 400万円未満 (-) ～ 500万円未満 (3.3%) ～ 700万円未満 (6.7%) ～ 1000万円未満	(16.7%) ～ 1500万円未満 (-) ～ 2000万円未満 (-) ～ 3000万円未満 (-) ～ 5000万円未満 (-) ～ 1億円未満 (-) 1億円以上 (20.0%) 無回答	上記「1」～「11」以外の金融商品について、合算してお答えください。

無回答 (16.9%)

【全員の方に】

問10 あなたの世帯でお持ちの金融資産についておうかがいします。

- (1) あなたの世帯でお持ちの金融資産をすべて合わせると、現在高はおいくらですか。現金や決済性預金を含めてお答えください。**(実数記入)**(n=942)

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(6.3%) ～100万円未満	(12.2%) ～700万円未満	(10.7%) ～5000万円未満
(7.2%) ～200万円未満	(7.9%) ～1000万円未満	(4.8%) ～1億円未満
(7.1%) ～300万円未満	(14.9%) ～1500万円未満	(1.6%) 1億円以上
(6.7%) ～400万円未満	(6.9%) ～2000万円未満	
(4.8%) ～500万円未満	(9.0%) ～3000万円未満	

(55.7%)持っている (13.5%)持っていない (30.8%)無回答 (n=1,691)

- (2) では、1年前のあなたの世帯でお持ちの金融資産額は、おいくらでしたか。現金や決済性預金を含めてお答えください。**(実数記入)**(n=915)

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

※お持ちでなかった場合は、「X 持っていなかった」に○をおつけください。

(5.8%) ～100万円未満	(10.7%) ～700万円未満	(9.6%) ～5000万円未満
(7.5%) ～200万円未満	(9.4%) ～1000万円未満	(5.0%) ～1億円未満
(7.0%) ～300万円未満	(13.7%) ～1500万円未満	(1.4%) 1億円以上
(6.3%) ～400万円未満	(6.9%) ～2000万円未満	
(6.1%) ～500万円未満	(10.5%) ～3000万円未満	

(54.1%)持っている (27.4%)持っていない (18.5%)無回答 (n=1,691)

問11 保険商品(掛け捨ての保険のみ)についておうかがいします。

- (1) 現在、あなたの世帯の世帯主の方が被保険者となっていらっしゃる保険商品(掛け捨ての保険のみ)の死亡保障金額はおいくらくらいでしょうか。**(実数記入)**(n=800)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(4.1%) ～100万円未満	(14.0%) ～700万円未満	(12.9%) ～5000万円未満
(10.0%) ～200万円未満	(3.5%) ～1000万円未満	(4.3%) ～5000万円以上
(8.1%) ～300万円未満	(17.0%) ～1500万円未満	
(10.0%) ～400万円未満	(4.4%) ～2000万円未満	
(1.5%) ～500万円未満	(10.3%) ～3000万円未満	

(47.3%)持っている (38.0%)持っていない (14.7%)無回答 (n=1,691)

- (2) では、あなたの世帯のご家族全員の方の保険商品(掛け捨ての保険のみ)の死亡保障金額を合計すると、おいくらくらいでしょうか。**(実数記入)**(n=812)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(3.7%) ～100万円未満	(11.0%) ～700万円未満	(14.3%) ～5000万円未満
(5.2%) ～200万円未満	(4.6%) ～1000万円未満	(10.1%) ～5000万円以上
(7.0%) ～300万円未満	(16.0%) ～1500万円未満	
(6.9%) ～400万円未満	(5.9%) ～2000万円未満	
(3.7%) ～500万円未満	(11.7%) ～3000万円未満	

(48.0%)持っている (36.2%)持っていない (15.8%)無回答 (n=1,691)

問 12 あなたの世帯の貯蓄の目的についておたずねします。

- (1) 現在あなたの世帯では、どのような目的で貯蓄をなさっていますか。「ア」から「シ」の中から、貯蓄の目的にあてはまるものをいくつでもお答えください。(〇はいくつでも)(n=1,691)

【(1)に〇をつけた貯蓄それぞれについて】

- (2) 現在お持ちの貯蓄総額の何%程度を割り当てていますか。合計が100%になるようにお答えください。(実数記入)

- (3) 1年前に比べて金額が増えたのは、どの目的の貯蓄ですか。(〇はいくつでも)(n=1,362)

- (4) 1年前に比べて金額が減ったのは、どの目的の貯蓄ですか。(〇はいくつでも)(n=1,362)

	(1) 貯蓄の 目的 (〇はいく つでも)		(2) 貯蓄総額に 占める％ (実数記入)	(3) １年前に 比べて金 額が <u>増え</u> た貯蓄 (〇は いくつでも)	(4) １年前に 比べて金 額が <u>減っ</u> た貯蓄 (〇は いくつでも)	
ア	病気、災 害、その他 不時の出 費への備 え (n=984)	58. 2%	(3. 0%) １０％未満 (22. 0%) １０～２０％未満 (34. 1%) ２０～４０％未満 (17. 8%) ４０～６０％未満	(1. 7%) ６０～８０％未満 (2. 1%) ８０～１００％未満 (1. 1%) １００％未満 (18. 1%) 無回答	13. 1%	17. 2%
イ	子どもの 教育費 (n=494)	29. 2%	(2. 8%) １０％未満 (14. 2%) １０～２０％未満 (32. 6%) ２０～４０％未満 (21. 1%) ４０～６０％未満	(5. 3%) ６０～８０％未満 (5. 9%) ８０～１００％未満 (3. 2%) １００％未満 (15. 0%) 無回答	15. 3%	7. 4%
ウ	結婚資金 (子どもの 結婚資金 を含む) (n=198)	11. 7%	(11. 1%) １０％未満 (36. 4%) １０～２０％未満 (30. 8%) ２０～４０％未満 (4. 5%) ４０～６０％未満	(0. 5%) ６０～８０％未満 (－) ８０～１００％未満 (－) １００％未満 (16. 7%) 無回答	3. 0%	2. 9%
エ	自宅又は 土地の取 得、増改築 などへの 備え (n=278)	16. 4%	(8. 3%) １０％未満 (29. 9%) １０～２０％未満 (32. 4%) ２０～４０％未満 (11. 2%) ４０～６０％未満	(4. 0%) ６０～８０％未満 (1. 4%) ８０～１００％未満 (0. 4%) １００％未満 (12. 6%) 無回答	4. 5%	5. 1%
オ	老後の生 活への備 え (n=960)	56. 8%	(2. 9%) １０％未満 (11. 3%) １０～２０％未満 (28. 5%) ２０～４０％未満 (29. 2%) ４０～６０％未満	(5. 6%) ６０～８０％未満 (3. 2%) ８０～１００％未満 (1. 7%) １００％未満 (17. 6%) 無回答	18. 6%	14. 6%
カ	要介護状 態(寝たき りなど)に なったと きの出費 への備え (n=379)	22. 4%	(8. 2%) １０％未満 (20. 6%) １０～２０％未満 (37. 5%) ２０～４０％未満 (11. 9%) ４０～６０％未満	(0. 5%) ６０～８０％未満 (0. 3%) ８０～１００％未満 (0. 5%) １００％未満 (20. 6%) 無回答	4. 4%	5. 2%

キ	耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入 (n=408)	24.1%	(15.2%) 10%未満 (40.9%) 10~20%未満 (21.1%) 20~40%未満 (5.4%) 40~60%未満 (2.2%) 60~80%未満 (0.5%) 80~100%未満 (-) 100%未満 (14.7%) 無回答	4.1%	9.3%
ク	旅行やスポーツなどのレジャー (n=405)	24.0%	(19.5%) 10%未満 (43.2%) 10~20%未満 (18.3%) 20~40%未満 (3.2%) 40~60%未満 (-) 60~80%未満 (-) 80~100%未満 (-) 100%未満 (15.8%) 無回答	4.6%	10.1%
ケ	遺産として残すための貯蓄 (n=115)	6.8%	(8.7%) 10%未満 (23.5%) 10~20%未満 (30.4%) 20~40%未満 (14.8%) 40~60%未満 (2.6%) 60~80%未満 (-) 80~100%未満 (-) 100%未満 (20.0%) 無回答	1.2%	2.3%
コ	特に目的はなく、安心のため の貯蓄 (n=483)	28.6%	(5.0%) 10%未満 (20.7%) 10~20%未満 (24.2%) 20~40%未満 (18.8%) 40~60%未満 (5.6%) 60~80%未満 (5.0%) 80~100%未満 (4.1%) 100%未満 (16.6%) 無回答	8.9%	10.1%
サ	その他の 目的の貯蓄 (n=86)	5.1%	(8.1%) 10%未満 (31.4%) 10~20%未満 (31.4%) 20~40%未満 (7.0%) 40~60%未満 (3.5%) 60~80%未満 (3.5%) 80~100%未満 (1.2%) 100%未満 (14.0%) 無回答	1.9%	2.1%
シ	あてはまるものはない	10.7%	→ 問13へ		

無回答 (8.8%)

(59.8%) (56.1%)

住居についておうかがいします。

【全員の方に】

問 1 3 お住まいの住居はどのような構造ですか。(〇は1つ) (n=1,691)

(65.1%) 木造	(1.1%) ブロック造	(5.0%) その他
(4.0%) 防火木造	(24.0%) 鉄筋コンクリート	(具体的に：)

(0.9%) 無回答

問 1 3-1 お住まいの住居は築後何年ですか。(実数記入) (n=1,691)

(0.5%) 築1年未満	(22.0%) 築10～19年	(6.6%) 築50年以上
(3.8%) 築1～2年	(21.5%) 築20～29年	(5.0%) 無回答
(3.7%) 築3～4年	(18.3%) 築30～39年	
(7.9%) 築5～9年	(10.7%) 築40～49年	

問 1 3-2 敷地面積、床面積はそれぞれいくらですか。(マンションは床面積のみ) (実数記入) (n=1,691)

※1 坪=3.3 平方メートルとして算出してください。

・敷地面積

(2.4%) 50㎡未満	(12.1%) ～200㎡未満	(6.4%) 500㎡以上
(7.3%) ～100㎡未満	(14.4%) ～300㎡未満	(37.3%) 無回答
(10.2%) ～150㎡未満	(9.8%) ～500㎡未満	

・床面積

(5.9%) 50㎡未満	(10.1%) ～200㎡未満	(1.1%) 500㎡以上
(25.3%) ～100㎡未満	(4.4%) ～300㎡未満	(27.3%) 無回答
(25.0%) ～150㎡未満	(1.1%) ～500㎡未満	

問 1 4 あなたの世帯では現在どのような住居にお住まいですか。親または親族の家に同居しており、生計をともにしている場合には、その住居についてお答えください。(〇は1つ) (n=1,691)

(72.1%) 持ち家(一戸建て)	(3.7%) 民間の借家(一戸建て)	} → 8ページの 問16へ
(0.8%) 持ち家(定期借地権付き一戸建て住宅)	(9.7%) 民間の借家	
(8.2%) 持ち家(マンション)	(マンション、アパート等の集合住宅)	
	(2.4%) 公団・公社・公営の賃貸アパート	
	(1.3%) 社宅・官舎	
	(0.7%) その他 (具体的に)	} → 8ページの問15へ

(1.0%) 無回答

→ 【問14で、「1」～「3」(持ち家)と回答した方に】

問 1 4-1 それはどなたの所有ですか。土地ではなく建物についてお答えください。(〇はいくつでも) (n=1,372)

(85.6%) 世帯主	(2.0%) 子ども	} → 8ページの 問15へ
(15.6%) 配偶者	(0.2%) 子どもの配偶者	
	(-) 孫	
	(7.1%) 親、配偶者の親	
	(0.6%) その他 (具体的に)	

(0.5%) 無回答

→ 【問14-1 で、「1 世帯主」または「2 配偶者」と回答した方に】

問14-2 それはどのようにして取得されましたか。(〇は1つ) (n=1,260)

(79.0%) 購入した	(0.8%) その他
(19.4%) 相続または譲渡を受けた	(具体的に)

(0.7%) 無回答

【問14-1で、「1 世帯主」または「2 配偶者」と回答した方に】

問14-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(実数記入) (n=1,260)

※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(1.9%) 1年未満	(12.2%) ～15年未満	(11.7%) ～40年未満
(6.0%) ～3年未満	(11.2%) ～20年未満	(6.0%) ～50年未満
(5.4%) ～5年未満	(10.5%) ～25年未満	(2.5%) 50年以上前
(13.7%) ～10年未満	(8.2%) ～30年未満	(10.7%) 無回答

【問14-2で、「1 購入した」と回答した方に。それ以外の方は問15へお進みください。】

問14-4 資金調達の内訳をお答えください。

※調達していない場合は、「X 調達していない」に〇をおつけください。

①金融機関からの借入金 (n=657)

(0.5%) ～100万円未満	(3.7%) ～700万円未満	(22.4%) ～5000万円未満
(1.4%) ～200万円未満	(4.3%) ～1000万円未満	(1.8%) ～1億円未満
(1.4%) ～300万円未満	(15.7%) ～1500万円未満	(0.5%) 1億円以上
(1.7%) ～400万円未満	(12.2%) ～2000万円未満	
(0.6%) ～500万円未満	(34.1%) ～3000万円未満	

(66.0%) 調達した (16.0%) 調達していない (18.1%) 無回答 (n=996)

②それ以外の借入金 (n=85)

(18.8%) ～100万円未満	(15.3%) ～700万円未満	(7.1%) ～5000万円未満
(7.1%) ～200万円未満	(9.4%) ～1000万円未満	(1.2%) ～1億円未満
(5.9%) ～300万円未満	(9.4%) ～1500万円未満	(-) 1億円以上
(9.4%) ～400万円未満	(4.7%) ～2000万円未満	
(2.4%) ～500万円未満	(9.4%) ～3000万円未満	

(8.5%) 調達した (44.6%) 調達していない (46.9%) 無回答 (n=996)

③親からの援助 (n=158)

(10.8%) ～100万円未満	(22.2%) ～700万円未満	(-) ～5000万円未満
(10.8%) ～200万円未満	(4.4%) ～1000万円未満	(0.6%) ～1億円未満
(9.5%) ～300万円未満	(20.9%) ～1500万円未満	(-) 1億円以上
(11.4%) ～400万円未満	(3.2%) ～2000万円未満	
(2.5%) ～500万円未満	(3.8%) ～3000万円未満	

(15.9%) 調達した (40.4%) 調達していない (43.8%) 無回答 (n=996)

問14-4①「金融機関からの借入金」がある方は問14-5へ。それ以外の方は問15へお進みください。

【問14-4で、「①金融機関からの借入金」があると回答した方に】

問14-5 次のうち主にどの金融機関から調達されましたか。(〇はいくつでも) (n=657)

(63.9%) 民間金融機関

(39.9%) 住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)

(3.0%) その他(具体的に

(3.5%) 無回答

【問14-5で、「1 民間金融機関」と回答した方に】

問14-6 民間金融機関はどちらでしたか。金融機関名をご記入ください。複数の金融機関から借り入れている場合は、最も金額の多い機関名をご記入ください。(n=420)

(70.2%) 銀行

(24.0%) 協同組織金融機関

(1.2%) その他

(4.5%) 不明・無回答

問14-7 民間金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ) (n=420)

(41.0%) 変動金利型

(26.2%) 固定金利期間選択型(10年以下)

(3.1%) 全期間固定金利型(10年以下)

(9.5%) 固定金利期間選択型(10年超)

(15.7%) 全期間固定金利型(10年超)

(4.5%) 無回答

問14-8 民間金融機関から借入れたときの金利はおおよそどの位でしたか。(実数記入) (n=420)

(6.4%) 0.5%未満

(8.6%) ~1.0%未満

(10.7%) ~1.5%未満

(8.6%) ~2.0%未満

(10.7%) ~2.5%未満

(6.9%) ~3.0%未満

(5.2%) ~3.5%未満

(1.7%) ~4.0%未満

(1.4%) ~4.5%未満

(0.5%) ~5.0%未満

(9.3%) 5.0%以上

(30.0%) 無回答

【問14(現在お住まいの住居)で、「1」~「3」(持ち家)、または「8 その他」と回答した方に】

問15 現在お住まいの住居について、3年後のその資産価値はどうなると思いますか。

マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(〇は1つ) (n=1,384)

(61.3%) 下がる

(28.0%) 変わらない →問17へ

(3.8%) 上がる

(6.9%) 無回答

問15-1 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ) (n=849)

(23.4%) 5%未満

(25.8%) 5%~10%未満

(18.0%) 10%~20%未満

(11.0%) 20%~30%未満

(7.4%) 30%~50%未満

(8.8%) 50%以上

(5.5%) 無回答

問15-2 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ) (n=52)

(53.8%) 5%未満

(32.7%) 5%~10%未満

(7.7%) 10%~20%未満

(-) 20%~30%未満

(1.9%) 30%~50%未満

(-) 50%~100%未満

(1.9%) 100%以上

(1.9%) 無回答

ご回答後は問17へお進みください。

【問14(現在お住まいの住居)で、「4」～「7」(借家または賃貸または社宅官舎)と回答した方に】

問16 ひと月の家賃はどれくらいですか。共益費や管理費も含めてご回答ください。(実数記入)(n=290)

(7.9%) 3万円未満	(14.5%) ～8万円未満	(1.4%) 20万円以上
(14.5%) ～5万円未満	(10.3%) ～9万円未満	(14.8%) 無回答
(11.4%) ～6万円未満	(2.8%) ～10万円未満	
(13.8%) ～7万円未満	(8.6%) ～20万円未満	

資産についておうかがいします。

【全員の方に】

問17 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)についてどのような予定をお持ちですか。(〇は1つ)(n=1,691)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| (1.0%) 1年以内に取得を予定 | } → 次ページの問17-3へ |
| (2.1%) 5年以内に取得を予定 | |
| (6.4%) 時期ははっきりしないが取得を予定している | |
| (62.9%) 住居の取得・建て替え・買い替えは今のところ考えていない | |
| (22.5%) 将来とも住居を取得する気持ちはない | |

(5.1%) 無回答

→【問17で、「1」～「3」と回答した方に】

問17-1 住居を取得(建て替え、買い替えなどを含む)する場合は、どのようにしたいですか。(〇は1つ)(n=160)

(58.8%) 新規購入	(10.0%) 買い替え	(0.6%) 無回答
(27.5%) 建て替え	(3.1%) 相続・贈与等	

【問17で、「1」～「3」と回答した方に】

問17-2 資金調達の内訳をお答えください。(実数記入)

※①②③それぞれで調達する予定がない場合は、「X 調達する予定はない」に〇をおつけください。

① 融機関からの借入金 (n=77)

(一) ～100万円未満	(3.9%) ～700万円未満	(27.3%) ～5000万円未満
(一) ～200万円未満	(1.3%) ～1000万円未満	(3.9%) ～1億円未満
(一) ～300万円未満	(13.0%) ～1500万円未満	(一) 1億円以上
(一) ～400万円未満	(5.2%) ～2000万円未満	
(一) ～500万円未満	(45.5%) ～3000万円未満	

(48.1%) 調達する予定あり (36.9%) 調達する予定はない (15.0%) 無回答 (n=160)

②それ以外の借入金 (n=3)

(一) ～100万円未満	(一) ～700万円未満	(33.3%) ～5000万円未満
(一) ～200万円未満	(一) ～1000万円未満	(一) ～1億円未満
(33.3%) ～300万円未満	(33.3%) ～1500万円未満	(一) 1億円以上
(一) ～400万円未満	(一) ～2000万円未満	
(一) ～500万円未満	(一) ～3000万円未満	

(1.9%) 調達する予定あり (67.5%) 調達する予定はない (30.6%) 無回答 (n=160)

③親からの援助 (n=11)

(一) ～100万円未満	(45.5%) ～700万円未満	(一) ～5000万円未満
(9.1%) ～200万円未満	(一) ～1000万円未満	(9.1%) ～1億円未満
(9.1%) ～300万円未満	(9.1%) ～1500万円未満	(一) 1億円以上
(一) ～400万円未満	(9.1%) ～2000万円未満	
(一) ～500万円未満	(9.1%) ～3000万円未満	

(6.9%) 調達する予定あり (65.6%) 調達する予定はない (27.5%) 無回答 (n=160)



回答後は問18へお進みください。

【問17で、「4」または「5」と回答した方に】

問17-3 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)をお考えになっていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)
(n=1,444)

(23.6%) 資金不足	(50.8%) 現在の自宅に満足している
(0.5%) 適当な広さの物件がない	(37.2%) 将来どうなるか分からないから
(0.7%) 立地条件が合わない	(5.3%) その他(具体的に)

(4.8%) 無回答

【 全員の方に 】

問 1 8 あなたの世帯の借入金についておうかがいします。

(1) 現在あなたの世帯では、次のような目的での借入金がありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。

(○はいくつでも)(n=1, 691)

【(1)に○をつけた借入金目的のそれぞれについて】

(2) それぞれの目的での、現在の借入残高をご記入ください。(実数記入)

(3) 1年前に比べて残高が増えたのは、どの目的の借入金ですか。(○はいくつでも)(n=573)

(4) 1年前に比べて残高が減ったのは、どの目的の借入金ですか。(○はいくつでも)(n=573)

	(1) 貯蓄の 目的 (○はい くつで も)	(2) 現在の借入残高 (実数記入)	(3) 1年前に 比べて残 高が <u>増え</u> <u>た</u> もの (○は いくつでも)	(4) 1年前に 比べて残 高が <u>減っ</u> <u>た</u> もの (○は いくつでも)
ア 自宅又 は土地の 取得・増 改築など (n=430)	25.4%	(0.5%) ～ 100万円未満 (2.3%) ～ 200万円未満 (4.0%) ～ 300万円未満 (2.3%) ～ 400万円未満 (2.6%) ～ 500万円未満 (5.3%) ～ 700万円未満 (6.0%) ～ 1000万円未満 (15.6%) ～ 1500万円未満 (14.4%) ～ 2000万円未満 (16.5%) ～ 3000万円未満 (10.2%) 3000万円以上 (20.2%) 無回答	3.3%	59.9%
イ 耐久消 費財の購 入資金 (n=130)	7.7%	(33.1%) ～ 100万円未満 (25.4%) ～ 200万円未満 (14.6%) ～ 300万円未満 (6.9%) ～ 400万円未満 (0.8%) ～ 500万円未満 (2.3%) ～ 700万円未満 (-) ～ 1000万円未満 (-) ～ 1500万円未満 (-) ～ 2000万円未満 (-) ～ 3000万円未満 (-) 3000万円以上 (16.9%) 無回答	4.2%	14.5%
ウ 子ども の教育費 (n=59)	3.5%	(18.6%) ～ 100万円未満 (18.6%) ～ 200万円未満 (20.3%) ～ 300万円未満 (5.1%) ～ 400万円未満 (10.2%) ～ 500万円未満 (5.1%) ～ 700万円未満 (3.4%) ～ 1000万円未満 (-) ～ 1500万円未満 (-) ～ 2000万円未満 (-) ～ 3000万円未満 (-) 3000万円以上 (18.6%) 無回答	3.8%	4.5%
エ 生活費 (n=53)	3.1%	(43.4%) ～ 100万円未満 (15.1%) ～ 200万円未満 (13.2%) ～ 300万円未満 (3.8%) ～ 400万円未満 (-) ～ 500万円未満 (1.9%) ～ 700万円未満 (-) ～ 1000万円未満 (-) ～ 1500万円未満 (-) ～ 2000万円未満 (-) ～ 3000万円未満 (-) 3000万円以上 (22.6%) 無回答	3.3%	3.3%
オ その他 の目的の 借入金 (n=60)	3.5%	(31.7%) ～ 100万円未満 (16.7%) ～ 200万円未満 (10.0%) ～ 300万円未満 (3.3%) ～ 400万円未満 (5.0%) ～ 500万円未満 (3.3%) ～ 700万円未満 (1.7%) ～ 1000万円未満 (-) ～ 1500万円未満 (-) ～ 2000万円未満 (-) ～ 3000万円未満 (-) 3000万円以上 (28.3%) 無回答	2.8%	6.6%
カ 借入金は ない	51.6%	→ 問19へ		

無回答 (14.5%)

(85.0%) (25.3%)

仕事と家計についておうかがいします。

【全員の方に】

問 1 9 世帯主の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(○は1つ) (n=1,691)

(70.4%) している

(4.4%) していない(求職中)

(23.5%) していない(求職活動もしていない)

→次ページの間 21 へ

(1.6%) 無回答

【問19で、世帯主の方が現在、収入を伴う仕事を「1 している」と回答した方に】

問 1 9-1 世帯主の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事 1 つだけについてお答えください。(n=1,191)

(1) 雇用形態 (○は1つ) (1.1%) 無回答	(60.7%) 正社員・正規職員 (7.9%) 嘱託・契約社員 (0.6%) 派遣社員	(8.1%) パート・アルバイト (8.6%) 自営業(雇人あり) (10.7%) 自営業(雇人なし)	(0.6%) 自営業の手伝い (0.2%) 内職 (1.5%) その他()
(2) 業種 (○は1つ) (2.7%) 無回答	(3.4%) 農林漁業 (12.4%) 建設業 (20.4%) 製造業 (2.8%) 電気・ガス・熱供給・水道業 (4.0%) 情報通信業 (6.2%) 運輸業	(9.2%) 卸売・小売業 (3.9%) 飲食業・宿泊業 (5.8%) 医療・福祉 (2.4%) 教育・学習支援業 (2.1%) 複合サービス業 (協同組合・郵便局)	(7.2%) 複合サービス業 (協同組合・郵便局以外) (6.9%) 公務 (10.6%) その他 (具体的に)
(3) 職種 (○は1つ) (5.1%) 無回答	(17.1%) 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (9.7%) 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (11.1%) 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (12.7%) 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (22.7%) 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (6.1%) 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (2.0%) 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.9%) 農林漁業に関わる職業 (8.1%) サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (2.4%) その他(具体的に)		
(4) 従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (○は1つ) (7.7%) 無回答	(17.4%) 5 人未満 (5.5%) 5 人以上 10 人未満 (10.1%) 10 人以上 30 人未満	(13.9%) 30 人以上 100 人未満 (11.5%) 100 人以上 300 人未満 (5.4%) 300 人以上 500 人未満	(4.1%) 500 人以上 1,000 人未満 (14.9%) 1,000 人以上 (4.5%) 官公庁 (5.0%) わからない ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。

(5) 就労時間

(7.8%) 10時間未満	(33.0%) ～50時間未満	(0.9%) ～90時間未満
(6.1%) ～20時間未満	(16.1%) ～60時間未満	(0.3%) ～100時間未満
(3.8%) ～30時間未満	(9.6%) ～70時間未満	(0.5%) 100時間以上
(6.5%) ～40時間未満	(3.5%) ～80時間未満	(11.8%) 無回答

(6) 入社時期

(一) 1950年代以前	(13.2%) 1980年代	(23.0%) 2010年代
(0.8%) 1960年代	(16.7%) 1990年代	(15.4%) 無回答
(6.5%) 1970年代	(24.4%) 2000年代	

問20 世帯主の方は、何歳まで働き続けたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入)(n=1,191)

(0.2%) 50歳未満	(19.9%) 60～64歳まで	(6.6%) 75～79歳まで
(0.9%) 50～54歳まで	(37.5%) 65～69歳まで	(5.1%) 80歳を超える年齢まで
(0.7%) 55～59歳まで	(19.2%) 70～74歳まで	(9.8%) 無回答

【全員の方に】

問 2 1 世帯主の配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(〇は1つ) (n=1,691)

(44.9%)	している	(6.9%)	していない（求職中）	} → 次ページの間 23 へ
		(36.0%)	していない（求職活動もしていない）	
		(9.9%)	配偶者はいない	
				(2.4%) 無回答

➤ 【問21で、世帯主の配偶者の方が現在、収入を伴う仕事を「1 している」と回答した方に】

問 2 1-1 世帯主の配偶者の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事 1 つだけについてお答えください。(n=759)

(1) 雇用形態 (〇は1つ) (0.5%) 無回答	(29.1%) 正社員・正規職員 (6.3%) 嘱託・契約社員 (0.8%) 派遣社員	(47.2%) パート・アルバイト (2.6%) 自営業(雇人あり) (5.7%) 自営業(雇人なし)	(6.7%) 自営業の手伝い (0.7%) 内職 (0.4%) その他()
(2) 業種 (〇は1つ) (2.5%) 無回答	(2.4%) 農林漁業 (3.3%) 建設業 (10.9%) 製造業 (0.8%) 電気・ガス・熱供給・水道業 (1.6%) 情報通信業 (1.3%) 運輸業	(13.4%) 卸売・小売業 (8.7%) 飲食業・宿泊業 (21.5%) 医療・福祉 (5.9%) 教育・学習支援業 (2.5%) 複合サービス業 (協同組合・郵便局)	(8.4%) 複合サービス業 (協同組合・郵便局以外) (5.1%) 公務 (11.6%) その他 (具体的に)
(3) 職種 (〇は1つ) (5.3%) 無回答	(20.9%) 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (1.7%) 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (24.6%) 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (12.4%) 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (8.4%) 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (1.4%) 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (0.1%) 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (1.8%) 農林漁業に関わる職業 (21.6%) サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (1.6%) その他(具体的に)		
(4) 従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ) (7.5%) 無回答	(14.9%) 5 人未満 (12.0%) 5 人以上 10 人未満 (15.0%) 10 人以上 30 人未満	(17.1%) 30 人以上 100 人未満 (9.1%) 100 人以上 300 人未満 (3.8%) 300 人以上 500 人未満	(3.7%) 500 人以上 1,000 人未満 (7.4%) 1,000 人以上 (3.3%) 官公庁 (6.2%) わからない ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。

(5) 就労時間

(13.7%) 10 時間未満	(24.1%) ～ 50 時間未満	(0.7%) ～ 90 時間未満
(11.2%) ～ 20 時間未満	(4.5%) ～ 60 時間未満	(一) ～ 100 時間未満
(19.0%) ～ 30 時間未満	(2.0%) ～ 70 時間未満	(0.4%) 100 時間以上
(14.4%) ～ 40 時間未満	(0.5%) ～ 80 時間未満	(9.6%) 無回答

(6) 入社時期

(一) 1950年代以前	(5.3%) 1980年代	(35.0%) 2010年代
(0.3%) 1960年代	(13.3%) 1990年代	(15.2%) 無回答
(3.0%) 1970年代	(27.9%) 2000年代	

問22 世帯主の配偶者の方は、何歳まで働きたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入)(n=759)

(1.8%) 50歳未満	(34.3%) 60～64歳まで	(3.2%) 75～79歳まで
(4.1%) 50～54歳まで	(25.6%) 65～69歳まで	(2.9%) 80歳を超える年齢まで
(5.1%) 55～59歳まで	(9.5%) 70～74歳まで	(13.6%) 無回答

【全員の方に】

問23 あなたの世帯の昨年1年間の就労収入について、おうかがいします。

(1) 世帯主の方の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。

税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。(実数記入)(n=1,022)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、収入はない」に○をおつけください。

(6.7%) ～100万円未満	(13.9%) ～600万円未満	(5.2%) ～1500万円未満
(8.9%) ～200万円未満	(9.4%) ～700万円未満	(0.6%) ～2000万円未満
(11.1%) ～300万円未満	(9.0%) ～800万円未満	(1.1%) 2000万円以上
(12.9%) ～400万円未満	(5.6%) ～900万円未満	
(13.4%) ～500万円未満	(2.3%) ～1000万円未満	

(60.4%) 就労収入がある (24.8%) 昨年1年間は、就労収入はない (14.8%) 無回答 (n=1,691)

(2) では、世帯主の配偶者の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。

税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。(実数記入)(n=670)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、収入はない」に○をおつけください。

※配偶者がいらっしゃらない場合には、「Y 配偶者はいない」に○をおつけください。

(32.4%) ～100万円未満	(3.7%) ～600万円未満	(0.1%) ～1500万円未満
(29.4%) ～200万円未満	(2.7%) ～700万円未満	(0.3%) ～2000万円未満
(12.8%) ～300万円未満	(1.3%) ～800万円未満	(0.1%) 2000万円以上
(10.0%) ～400万円未満	(0.3%) ～900万円未満	
(6.6%) ～500万円未満	(0.1%) ～1000万円未満	

(39.6%) 就労収入がある (36.0%) 昨年1年間は、就労収入はない (9.9%) 配偶者はいない (14.5%) 無回答 (n=1,691)

問24 あなたの世帯の、昨年1年間の収入の総額は、およそいくらですか。(1) 税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保険給付、贈与、財産収入等を含む総収入(遺産を除く)と(2) 税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。(n=1,691)

(1) 総収入

(1.4%) ~100万円未満	(9.2%) ~600万円未満	(7.9%) ~1500万円未満
(4.1%) ~200万円未満	(8.5%) ~700万円未満	(1.6%) ~2000万円未満
(6.8%) ~300万円未満	(6.4%) ~800万円未満	(1.1%) 2000万円以上
(8.9%) ~400万円未満	(4.7%) ~900万円未満	無回答 (29.2%)
(7.3%) ~500万円未満	(2.9%) ~1000万円未満	

(2) 手取り額

(2.9%) ~100万円未満	(7.8%) ~600万円未満	(1.9%) ~1500万円未満
(5.4%) ~200万円未満	(6.2%) ~700万円未満	(0.3%) ~2000万円未満
(9.9%) ~300万円未満	(3.4%) ~800万円未満	(0.2%) 2000万円以上
(10.3%) ~400万円未満	(2.8%) ~900万円未満	無回答 (36.4%)
(10.9%) ~500万円未満	(1.5%) ~1000万円未満	

問25 あなたの世帯の支出の状況についておうかがいします。

(1) あなたの世帯の、昨年のひと月あたりの支出は、平均してどのくらいですか。(実数記入)(n=1,691)

(1.5%) ~10万円未満	(12.5%) ~30万円未満	(1.1%) ~50万円未満
(6.4%) ~15万円未満	(15.3%) ~35万円未満	(7.8%) 50万円以上
(9.5%) ~20万円未満	(5.7%) ~40万円未満	無回答 (19.3%)
(15.7%) ~25万円未満	(5.1%) ~45万円未満	

(2) 上記(1)でお答えになったひと月あたりの支出金額のうち、住宅などのローンの返済額はどのくらいですか。

(実数記入)(n=482)

※ローン返済がない場合は「X ローン返済はない」に○をつけてください。

(63.9%) ~10万円未満	(0.6%) ~30万円未満	(0.2%) ~50万円未満
(24.9%) ~15万円未満	(0.6%) ~35万円未満	(1.0%) 50万円以上
(6.8%) ~20万円未満	(-) ~40万円未満	
(1.9%) ~25万円未満	(-) ~45万円未満	

(28.5%) ローン返済がある

(56.8%) ローン返済はない

(14.7%) 無回答 (n=1,691)

問26 子どもや親との仕送りのやりとりについて、おうかがいします。

(1) あなたの世帯では、子どもや親と仕送りのやりとりをしていますか。1から5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも)(n=1,691)

(2) 「仕送りがある」場合、月々の仕送り金額は、それぞれいくらですか。(実数記入)

	(1) ある (〇はいくつでも)		(2) 月々の仕送り金額
世帯のお子様に仕送りをしている (n=61)	3.6%	→	(一) ～ 1万円未満 (6.6%) ～ 30万円未満 (8.2%) ～ 3万円未満 (一) ～ 40万円未満 (18.0%) ～ 5万円未満 (一) ～ 50万円未満 (19.7%) ～ 7万円未満 (一) 50万円以上 (6.6%) ～ 10万円未満 (8.2%) 無回答 (32.8%) ～ 20万円未満
世帯主のお子様から仕送りを受けている (n=26)	1.5%	→	(一) ～ 1万円未満 (一) ～ 30万円未満 (7.7%) ～ 3万円未満 (一) ～ 40万円未満 (23.1%) ～ 5万円未満 (一) ～ 50万円未満 (46.2%) ～ 7万円未満 (一) 50万円以上 (3.8%) ～ 10万円未満 (3.8%) 無回答 (15.4%) ～ 20万円未満
世帯主の親御様に仕送りをしている (n=21)	1.2%	→	(一) ～ 1万円未満 (一) ～ 30万円未満 (38.1%) ～ 3万円未満 (一) ～ 40万円未満 (23.8%) ～ 5万円未満 (一) ～ 50万円未満 (19.0%) ～ 7万円未満 (一) 50万円以上 (一) ～ 10万円未満 (一) 無回答 (19.0%) ～ 20万円未満
世帯主の親御様から仕送りを受けている (n=8)	0.5%	→	(一) ～ 1万円未満 (12.5%) ～ 30万円未満 (一) ～ 3万円未満 (一) ～ 40万円未満 (12.5%) ～ 5万円未満 (一) ～ 50万円未満 (25.0%) ～ 7万円未満 (一) 50万円以上 (一) ～ 10万円未満 (一) 無回答 (50.0%) ～ 20万円未満
上記にいずれもあてはまらない 無回答	81.1% (12.3%)		

問27 あなたの世帯の家計について、おうかがいします。

(1) あなたの世帯では現在の家計支出をどのような収入でまかなっていますか。(〇はいくつでも)(n=1,691)

※支出には次のものを含ます：食費、光熱費、住宅ローンの返済・住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(63.6%) 給与収入	(3.0%) 国や市町村等の公的機関からの援助
(8.9%) 事業収入	(20.7%) 貯蓄の取り崩し
(4.3%) 不動産賃貸収入	(2.1%) 退職一時金
(3.3%) 利子・配当等での収入	(2.0%) 満期保険金
(38.3%) 公的年金	(0.5%) 土地・家屋などの不動産売却収入
(11.5%) 個人年金・企業年金	(0.1%) リバースモーゲージ *注
(2.4%) 子ども、親戚などからの援助（仕送り）	(0.7%) その他（具体的に）

*注 リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時(契約者の死亡時等)に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

(2.7%) 無回答

(2) 上記(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きい収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。(1～14の番号記入)(n=1,691)

(54.3%) 給与収入	(0.6%) 国や市町村等の公的機関からの援助
(5.6%) 事業収入	(1.5%) 貯蓄の取り崩し
(1.6%) 不動産賃貸収入	(0.5%) 退職一時金
(一) 利子・配当等での収入	(0.3%) 満期保険金
(25.4%) 公的年金	(0.2%) 土地・家屋などの不動産売却収入
(1.6%) 個人年金・企業年金	(一) リバースモーゲージ
(0.2%) 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.5%) その他(具体的に)

(7.7%) 無回答

問28 あなたの世帯の年間収入について、1年後の年間収入は現在の年間収入に比べてどうなると思いますか。

(〇は1つ)(n=1,691)

(33.9%) 下がる	(48.0%) 変わらない 次ページの間29へ	(13.1%) 上がる
-------------	-------------------------	-------------

(5.0%) 無回答

問28-1 下がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ)(n=573)

(36.5%)	5%未満
(27.9%)	5%～10%未満
(17.3%)	10%～20%未満
(6.3%)	20%～30%未満
(5.8%)	30%～50%未満
(4.7%)	50%以上

(1.6%) 無回答

問28-2 上がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ)(n=222)

(61.3%)	5%未満
(18.9%)	5%～10%未満
(8.6%)	10%～20%未満
(3.2%)	20%～30%未満
(1.8%)	30%～50%未満
(1.8%)	50%～100%未満
(0.9%)	100%以上

(3.6%) 無回答

年金についておうかがいします。

【全員の方に】

問29 65歳以上の高齢期に、あなたの世帯では、1か月にどのくらいの支出(消費税を含む)があるとお考えになりますか。高齢期にもっとも可能性の高い家族形態を想定してお答えください(例えば、子どもと生計をともにする可能性が高い場合、二世帯世帯の生活を想定)。

65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(実数記入)(n=1,691)

(1.5%)	～10万円未満	(14.4%)	～30万円未満	(0.5%)	～50万円未満
(7.1%)	～15万円未満	(13.6%)	～35万円未満	(3.3%)	50万円以上
(13.0%)	～20万円未満	(2.8%)	～40万円未満	(17.4%)	無回答
(23.1%)	～25万円未満	(3.5%)	～45万円未満		

問30 65歳以上の高齢期の家計支出について、おうかがいします。

(1) あなたの世帯では、65歳以上の高齢期の家計支出を何によってまかなうお考えですか。65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(〇はいくつでも) (n=1, 691)

(22.1%) 給与収入	(3.3%) 国や市町村等の公的機関からの援助
(7.5%) 事業収入	(39.0%) 貯蓄の取り崩し
(4.2%) 不動産賃貸収入	(14.6%) 退職一時金
(3.9%) 利子・配当等での収入	(7.2%) 満期保険金
(74.2%) 公的年金	(0.8%) 土地・家屋などの不動産売却収入
(32.2%) 個人年金・企業年金	(0.2%) リバースモーゲージ *注
(2.8%) 子ども、親戚などからの援助（仕送り）	(0.4%) その他（具体的に）

*注 リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時（契約者の死亡時等）に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

(8.0%) 無回答

(2) 上記(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きくなるとお考えの収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。(1~14の番号記入) (n=1, 691)

(10.6%) 給与収入	(0.8%) 国や市町村等の公的機関からの援助
(4.4%) 事業収入	(5.7%) 貯蓄の取り崩し
(1.9%) 不動産賃貸収入	(4.1%) 退職一時金
(0.2%) 利子・配当等での収入	(0.7%) 満期保険金
(48.7%) 公的年金	(0.3%) 土地・家屋などの不動産売却収入
(7.4%) 個人年金・企業年金	(-) リバースモーゲージ
(0.3%) 子ども、親戚などからの援助（仕送り）	(0.3%) その他（具体的に）
	(14.7%) 無回答

問31 あなたの世帯では、世帯主の方は現在公的年金の給付がありますか。(〇は1つ) (n=1, 691)

(39.4%) ☐ すでに受け取っている	(5.7%) 公的年金を受け取る資格がない
(49.7%) ☐ 今は受け取っていないが、将来は受け取る予定	→次ページの間32へ

(5.2%) 無回答

→【問31で「1」または「2」と回答した方に】

問31-1 世帯主の方が加入または受給または受け取る予定の公的年金は何ですか。(〇は1つ) (n=1, 507)

(67.2%) 厚生年金（民間サラリーマンの年金）	(18.6%) 国民年金
(12.1%) 共済組合の年金（公務員やこれに準ずる者の年金）	

(2.1%) 無回答

問31-2 世帯主の方の公的年金受給開始年齢は、何歳ですか。まだ受け取っていない場合は、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入) (n=1, 507)

(0.7%) 60歳未満	(2.8%) 66歳以上
(33.0%) 60～65歳未満	(10.9%) 無回答
(52.6%) 65歳	

問3 1-3 世帯主の方の公的年金受取額は毎月おおよそいくら位ですか。まだ受け取っていない場合は、現在の価値での受取予想額の最低値、中間値と最高値をご記入ください。(実数記入)

【公的年金受給者の方へ】(n=667)

(4.5%) 5万円未満	(16.6%) ～15万円未満	(5.7%) ～30万円未満
(6.9%) ～7万円未満	(21.6%) ～20万円未満	(3.4%) 30万円以上
(6.3%) ～10万円未満	(19.2%) ～25万円未満	(15.7%) 無回答

【公的年金受給予定の方へ】受取予想額

(最低値) (n=840)

(4.6%) 5万円未満	(15.1%) ～15万円未満	(0.1%) ～30万円未満
(8.7%) ～7万円未満	(8.9%) ～20万円未満	(0.4%) 30万円以上
(6.1%) ～10万円未満	(4.4%) ～25万円未満	(51.7%) 無回答

(中間値) (n=840)

(1.1%) 5万円未満	(12.5%) ～15万円未満	(2.0%) ～30万円未満
(4.3%) ～7万円未満	(11.5%) ～20万円未満	(0.8%) 30万円以上
(6.4%) ～10万円未満	(6.1%) ～25万円未満	(55.2%) 無回答

(最高値) (n=840)

(0.2%) 5万円未満	(9.4%) ～15万円未満	(4.5%) ～30万円未満
(2.5%) ～7万円未満	(11.4%) ～20万円未満	(3.1%) 30万円以上
(4.5%) ～10万円未満	(10.7%) ～25万円未満	(53.6%) 無回答

【問31で、世帯主の方は、「2今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」と回答した方に。

すでに公的年金を受け取っている方は、問32にお進みください。】

問3 1-4 実際の受取金額が上記の受取予想額の最低値になる可能性は何%程度だと思いますか。(〇は1つ)
(n=840)

(6.4%) 10%未満	(6.1%) 40%～50%未満	(2.6%) 80%～90%未満
(2.6%) 10%～20%未満	(6.8%) 50%～60%未満	(6.7%) 90%以上
(3.7%) 20%～30%未満	(2.7%) 60%～70%未満	(38.0%) わからない
(1.9%) 30%～40%未満	(3.7%) 70%～80%未満	

(18.8%) 無回答

問3 1-5 実際の受取金額が上記の受取予想額の最高値になる可能性は何%程度だと思いますか。(〇は1つ)
(n=840)

(19.9%) 10%未満	(2.7%) 40%～50%未満	(0.7%) 80%～90%未満
(5.6%) 10%～20%未満	(3.0%) 50%～60%未満	(0.8%) 90%以上
(4.2%) 20%～30%未満	(0.5%) 60%～70%未満	(41.1%) わからない
(2.4%) 30%～40%未満	(0.5%) 70%～80%未満	

(18.7%) 無回答

【全員の方へ】

問32 では、世帯主の配偶者の方は現在公的年金の給付がありますか。(〇は1つだけ)(n=1,691)

(28.6%)	すでに受け取っている	(5.7%)	公的年金を受け取る資格がない	} → 次ページの 問33へ
(48.9%)	今は受け取っていないが、将来は受け取る予定	(9.9%)	配偶者はいない	

(6.9%) 無回答

【問32で「1」または「2」と回答した方に】

問32-1 世帯主の配偶者の方が加入または受給または受け取る予定の公的年金は何ですか。(〇は1つ)(n=1,311)

(46.3%)	厚生年金(民間サラリーマンの年金)	(42.1%)	国民年金
(7.7%)	共済組合の年金(公務員やこれに準ずる者の年金)		

(3.9%) 無回答

問32-2 世帯主の配偶者の方の公的年金受給開始年齢は何歳ですか。まだ受け取っていない場合、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入)(n=1,311)

(0.2%)	60歳未満	(2.2%)	66歳以上
(27.2%)	60～65歳未満	(12.4%)	無回答
(58.0%)	65歳		

【問32で「1」または「2」と回答した方に】

問32-3 世帯主の配偶者の方の公的年金受取額は毎月おおよそいくら位ですか。まだ受け取っていない場合は、現在の価値での受取予想額の最低値、中間値と最高値をご記入ください。(実数記入)

【公的年金受給者の方へ】(n=484)

(17.8%)	5万円未満	(10.5%)	～15万円未満	(0.6%)	～30万円未満
(23.1%)	～7万円未満	(7.4%)	～20万円未満	(1.0%)	30万円以上
(16.5%)	～10万円未満	(4.5%)	～25万円未満	(18.4%)	無回答

【公的年金受給予定の方へ】受取予想額

(最低値)(n=827)

(10.3%)	5万円未満	(9.9%)	～15万円未満	(—)	～30万円未満
(15.6%)	～7万円未満	(1.8%)	～20万円未満	(0.2%)	30万円以上
(8.2%)	～10万円未満	(1.1%)	～25万円未満	(52.8%)	無回答

(中間値)(n=827)

(3.5%)	5万円未満	(11.0%)	～15万円未満	(0.5%)	～30万円未満
(10.5%)	～7万円未満	(5.6%)	～20万円未満	(0.7%)	30万円以上
(10.9%)	～10万円未満	(1.3%)	～25万円未満	(56.0%)	無回答

(最高値)(n=827)

(0.8%)	5万円未満	(11.6%)	～15万円未満	(1.3%)	～30万円未満
(7.0%)	～7万円未満	(7.4%)	～20万円未満	(1.3%)	30万円以上
(9.8%)	～10万円未満	(5.0%)	～25万円未満	(55.7%)	無回答

【問32で、世帯主の配偶者の方は、「2今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」と回答した方に。

すでに公的年金を受け取っている方は、問33にお進みください。】

問32-4 実際の受取金額が上記の受取予想額の最低値になる可能性は何%程度だと思いますか。（〇は1つ）
(n=827)

(6.9%)	10%未満	(6.5%)	40%～50%未満	(2.3%)	80%～90%未満
(3.7%)	10%～20%未満	(6.0%)	50%～60%未満	(6.5%)	90%以上
(1.9%)	20%～30%未満	(2.9%)	60%～70%未満	(39.7%)	わからない
(1.9%)	30%～40%未満	(3.4%)	70%～80%未満		

(18.1%) 無回答

問32-5 実際の受取金額が上記の受取予想額の最高値になる可能性は何%程度だと思いますか。（〇は1つ）
(n=827)

(20.9%)	10%未満	(2.5%)	40%～50%未満	(0.8%)	80%～90%未満
(5.2%)	10%～20%未満	(3.0%)	50%～60%未満	(0.8%)	90%以上
(2.9%)	20%～30%未満	(0.5%)	60%～70%未満	(41.6%)	わからない
(2.4%)	30%～40%未満	(0.4%)	70%～80%未満		

(18.9%) 無回答

【全員の方へ】

問33 あなたの世帯では、公的年金で、65歳以上の高齢期の支出を何割程度まかなえるとお考えでしょうか。

全部まかなえると思う方は「100」%とお答えください。また、公的年金が高齢期の支出を上回るとお考えの場合には「100」以上の数字をご記入ください。

65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。（実数記入）(n=1,691)

（例：1か月の公的年金額が24万円で65歳以上の高齢期の支出が20万円の場合は、24/20となるので、「120」%程度とご記入ください。）

※支出には次のものを含みます。

食費、光熱費、住宅ローン返済・住居費(住宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(0.5%)	0%	(25.7%)	～100%未満	(0.6%)	～170%未満
(0.5%)	～10%未満	(12.0%)	100%未満	(0.1%)	～200%未満
(11.0%)	～50%未満	(1.0%)	～120%未満	(0.3%)	200%以上
(20.8%)	～70%未満	(3.8%)	～150%未満	(23.7%)	無回答

問34 あなたの世帯では、公的年金受給前に、どのくらい貯蓄額が必要だとお考えになりますか。すでに公的年金を受給している場合は、公的年金を受給開始時の貯蓄額をお答えください。（実数記入）(n=1,691)

(1.1%)	0万円	(15.3%)	1500万円未満	(10.3%)	3500万円未満
(6.4%)	500万円未満	(3.2%)	2000万円未満	(2.1%)	5000万円未満
(7.0%)	700万円未満	(11.9%)	2500万円未満	(7.3%)	5000万円以上
(2.6%)	1000万円未満	(1.4%)	3000万円未満	(31.5%)	無回答

遺産についておうかがいします。

【全員の方に】

問35 あなたの世帯では、子どもに残す遺産(生前贈与を含む)に関してどのようにお考えですか。

子どもがいらない場合は、いらないと仮定してお答えください。(○は1つ) (n=1, 691)

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| (28.6%) | 遺産(生前贈与を含む)は、いかなる場合においても残したい |
| (3.7%) | 遺産(生前贈与を含む)は、子どもが面倒を見てくれた場合に限って残したい |
| (0.8%) | 遺産(生前贈与を含む)は、子どもが事業を継いでくれた場合に限って残したい |
| (41.5%) | 遺産(生前贈与を含む)を積極的に残すつもりはないが、余った場合には残したい |
| (1.5%) | その他(具体的に) |
| (19.2%) | 遺産(生前贈与を含む)を残したいとは思わない → 次ページ問36へ |

(4.8%) 無回答

【問35で「1」～「5」と回答した方に】

問35-1 あなたの世帯では、どのような資産を子どもに残したいとお考えですか。(○はいくつでも) (n=1, 286)

- | | | | |
|---------|-------------------|---------|------------------|
| (36.9%) | 相続・贈与を受けた住宅・土地 | (53.9%) | みずから蓄積した貯蓄等の金融資産 |
| (50.2%) | みずから取得した住宅・土地 | (5.0%) | 相続・贈与を受けたその他の資産 |
| (8.0%) | 相続・贈与を受けた貯蓄等の金融資産 | (10.1%) | みずから取得したその他の資産 |
| | | (1.2%) | その他(具体的に) |

(2.5%) 無回答

問35-2 あなたの世帯で資産(生前贈与を含む)を子どもに残される場合、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた金額はどのくらいの金額になるとの見当がついていますか。(○は1つ) (n=1, 286)

(8.7%) ある程度見当がついている (n=112)	(21.4%)	～1000万円未満	(13.4%)	～5000万円未満
	(15.2%)	～1500万円未満	(11.6%)	～1億万円未満
	(7.1%)	～2000万円未満	(5.4%)	1億円以上
	(17.9%)	～3000万円未満	(8.0%)	無回答
	(82.0%)	見当がついていない		

(9.3%) 無回答

問35-3 遺産(生前贈与を含む)を子どもに残す場合、その分け方に対する考え方を教えてください。(○は1つ) (n=1, 286)

- | | |
|---------|-------------------------------|
| (57.7%) | 子どもの人数に応じて、均等に分ける |
| (4.7%) | 家業などを継いだ子どもに、多く(もしくは全部)分ける |
| (4.7%) | 長男・長女に、多く(もしくは全部)分ける |
| (14.0%) | 介護など親の面倒を見た子どもに、多く(もしくは全部)分ける |
| (13.5%) | 子どもが1人なので、その子に全部残す |
| (2.8%) | その他(具体的に) |

(2.5%) 無回答

【全員の方に】

問 3 6 あなたの世帯では、世帯主の親からの遺産相続を受けたことがありますか。(○は1つ) (n=1,691)

(24.8%) 相続を受けたことがある (71.6%) 相続を受けたことはない → 19 ページの間 37 へ

(3.6%) 無回答

→【問36で「1 相続を受けたことがある」と回答した方に】

問 3 6-1 親からの遺産の相続を受けたのは今から何年前のことですか。(実数記入) (n=420)

※複数回受けたことがある場合は、一番最近受けたときのことをお答えください。

(10.2%)	3 年未満前	(14.5%)	～ 1 5 年未満前	(23.1%)	3 0 年以上前
(8.1%)	～ 5 年未満前	(10.2%)	～ 2 0 年未満前	(4.3%)	無回答
(6.2%)	～ 7 年未満前	(8.8%)	～ 2 5 年未満前		
(8.6%)	～ 1 0 年未満前	(6.0%)	～ 3 0 年未満前		

【問36で「1 相続を受けたことがある」と回答した方に】

問36-2 世帯主の親から相続した資産についておうかがいします。

(1) 世帯主の親から相続した遺産はどのような種類の資産ですか。1～5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも) (n=420)

(2) 世帯主の親から相続したものについて、それぞれ、その資産の相続時の価額をご記入ください。(実数記入)

※複数回受けたことがある場合は、受けたことのあるものをすべて含めてお答えください。

	(1) 相続した 資産(〇は いくつでも)		(2) 相続時の価額	
居住用の不 動産(一戸建 て) (n=254)	60.5%		(2.8%) ～ 100万円未満 (5.1%) ～ 200万円未満 (2.8%) ～ 300万円未満 (2.8%) ～ 400万円未満 (0.8%) ～ 500万円未満 (9.8%) ～ 700万円未満 (4.3%) ～ 1000万円未満	(11.0%) ～ 1500万円未満 (4.3%) ～ 2000万円未満 (5.9%) ～ 3000万円未満 (7.1%) ～ 5000万円未満 (3.5%) 5000万円以上 (39.8%) 無回答
居住用の不 動産(マンシ ョン) (n=14)	3.3%		(-) ～ 100万円未満 (-) ～ 200万円未満 (7.1%) ～ 300万円未満 (-) ～ 400万円未満 (-) ～ 500万円未満 (14.3%) ～ 700万円未満 (-) ～ 1000万円未満	(14.3%) ～ 1500万円未満 (7.1%) ～ 2000万円未満 (-) ～ 3000万円未満 (21.4%) ～ 5000万円未満 (14.3%) 5000万円以上 (21.4%) 無回答
その他の不 動産 (n=146)	34.8%		(1.4%) ～ 100万円未満 (4.8%) ～ 200万円未満 (2.7%) ～ 300万円未満 (3.4%) ～ 400万円未満 (2.7%) ～ 500万円未満 (5.5%) ～ 700万円未満 (4.8%) ～ 1000万円未満	(8.9%) ～ 1500万円未満 (4.8%) ～ 2000万円未満 (5.5%) ～ 3000万円未満 (3.4%) ～ 5000万円未満 (8.9%) 5000万円以上 (43.2%) 無回答
金融資産 (n=181)	43.1%		(3.3%) ～ 100万円未満 (7.7%) ～ 200万円未満 (7.2%) ～ 300万円未満 (9.4%) ～ 400万円未満 (1.1%) ～ 500万円未満 (12.7%) ～ 700万円未満 (8.3%) ～ 1000万円未満	(13.8%) ～ 1500万円未満 (3.3%) ～ 2000万円未満 (4.4%) ～ 3000万円未満 (3.9%) ～ 5000万円未満 (2.2%) 5000万円以上 (22.7%) 無回答
その他 (n=10) (具体的 に)	2.4%		(10.0%) ～ 100万円未満 (10.0%) ～ 200万円未満 (10.0%) ～ 300万円未満 (20.0%) ～ 400万円未満 (-) ～ 500万円未満 (-) ～ 700万円未満 (20.0%) ～ 1000万円未満	(10.0%) ～ 1500万円未満 (10.0%) ～ 2000万円未満 (-) ～ 3000万円未満 (-) ～ 5000万円未満 (-) 5000万円以上 (10.0%) 無回答
合計 n=(410)			(2.2%) ～ 100万円未満 (4.9%) ～ 200万円未満 (3.4%) ～ 300万円未満 (4.9%) ～ 400万円未満 (0.5%) ～ 500万円未満 (7.3%) ～ 700万円未満 (7.3%) ～ 1000万円未満	(12.0%) ～ 1500万円未満 (6.6%) ～ 2000万円未満 (5.9%) ～ 3000万円未満 (7.8%) ～ 5000万円未満 (7.1%) 5000万円以上 (30.2%) 無回答

無回答 (2.4%)

問3 6-3 世帯主の親から受けたことのある遺産は、世帯主の方のほかに、どなたが受け取りましたか。

(〇はいくつでも) (n=420)

(16.4%) 親の配偶者が受け取った →問37へ

(51.4%) 世帯主の兄弟・姉妹が受け取った

(1.9%) 他の親族が受け取った

(一) 寄付した

(0.5%) その他(具体的に

(31.2%) 世帯主の方以外に受け取った人はいない

→問37へ

(5.7%) 無回答

→【問36-3で「2 世帯主の兄弟・姉妹が受け取った」と回答した方に】

問3 6-4 その遺産はどのように分けられましたか。(〇はいくつでも) (n=216)

(47.7%) 兄弟・姉妹の間で、ほぼ均等に分けられた

(24.5%) 兄弟・姉妹の間で、家業などを継いだ子どもに多く(もしくは全部)分けた

(10.2%) 兄弟・姉妹の間で、長男・長女に多く(もしくは全部)分けた

(13.0%) 兄弟・姉妹の間で、介護など親の面倒を見た子どもに多く(もしくは全部)分けた

(一) 子どもが1人なのでその子どもがすべてを相続した

(5.6%) その他(具体的に

(1.4%) 無回答

【全員の方に】

問3 7 あなたの世帯では将来、世帯主の親、または配偶者の親から、不動産や金融資産などを遺産または生前贈与としてもらえると思いますか。(〇は1つ) (n=1,691)

(21.9%) もらえると思う(または、すでにもらっている)

(39.5%) もらえると思わない(または、もらえなかった)

(30.8%) わからない

→ F1へ

(7.7%) 無回答

→【問37で「1 もらえると思う(または、すでにもらっている)」と回答した方のみ】

問3 7-1 それはどのような種類ですか。(〇はいくつでも) (n=371)

(57.7%) 居住用の不動産(一戸建て) (27.2%) その他の不動産 (5.1%) その他

(4.9%) 居住用の不動産(マンション) (41.2%) 金融資産

(2.7%) 無回答

問3 7-2 また、その時価総額はいくら位になると思いますか。(実数記入) (n=371)

(0.5%) ～100万円未満

(3.8%) ～200万円未満

(2.2%) ～300万円未満

(3.8%) ～400万円未満

(0.5%) ～500万円未満

(9.7%) ～700万円未満

(3.8%) ～1000万円未満

(12.7%) ～1500万円未満

(4.9%) ～2000万円未満

(9.2%) ～3000万円未満

(6.5%) ～5000万円未満

(3.0%) ～1億円未満

(3.8%) 1億円以上

(35.8%) 無回答

あなたとご家族のことについておうかがいします。

【全員の方に】

F 1 世帯主の性別についておうかがいします。(〇は1つ) (n=1,691)

(91.9%)	男 性	(8.0%)	女 性	(0.1%) 無回答
---------	-----	--------	-----	------------

F 2 世帯主のお生まれの年月をご記入ください。(実数記入) (n=1,691)

※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(2.4%)	20歳代	(19.0%)	50歳代	(0.2%) 無回答
(12.1%)	30歳代	(23.4%)	60歳代	
(18.6%)	40歳代	(24.2%)	70歳以上	

F 3 世帯主のご健康状態は、いかがでしょうか。(〇は1つ) (n=1,691)

(44.6%)	健康である	(11.4%)	あまり健康でない	(0.8%) 無回答
(38.7%)	まあ健康である	(4.5%)	健康でない	

【全員の方に】

F 4 あなたの世帯が昨年1年間に支払った所得税・住民税・社会保険料はいくらでしたか。(実数記入)

※ない場合には「X ない」に〇をおつけください。①所得税・住民税 n=(767)

(20.6%)	～10万円未満	(7.0%)	～50万円未満	(3.9%)	～200万円未満
(18.5%)	～20万円未満	(8.6%)	～70万円未満	(6.3%)	～200万円以上
(12.5%)	～30万円未満	(6.8%)	～100万円未満		
(8.9%)	～40万円未満	(6.9%)	～150万円未満		

(45.4%) あり (11.0%) ない (43.6%) 無回答 (n=1,691)

②社会保険料 (n=756)

(5.8%)	～10万円未満	(8.6%)	～50万円未満	(2.4%)	～200万円未満
(9.3%)	～20万円未満	(15.6%)	～70万円未満	(1.5%)	～200万円以上
(15.6%)	～30万円未満	(15.2%)	～100万円未満		
(14.4%)	～40万円未満	(11.6%)	～150万円未満		

(44.7%) あり (10.0%) ない (45.3%) 無回答 (n=1,691)

F 5 世帯主の最終学歴はどれにあたりますか。(〇は1つ) (n=1,691)

(10.8%)	中学校(旧制小・高等小)	(5.9%)	短大・高等専門学校	(0.4%)	その他(具体的に)
(42.6%)	高等学校(旧制中・旧制高女)	(16.8%)	大学・大学院(文系)	(0.4%)	わからない
(8.1%)	専修学校・各種学校	(12.8%)	大学・大学院(理系)		

無回答 (2.3%)

F 6 あなた（このアンケートをご記入くださっている方）は、どなたですか。（○は1つ）(n=1, 691)

(54. 4%) 世帯主ご本人	(一) 世帯主の親、世帯主の配偶者の親
(45. 6%) 世帯主の配偶者	(一) 世帯主の祖父、または祖母
(一) 世帯主の子ども	(一) 世帯主の兄弟・姉妹
(一) 世帯主の子どもの配偶者	(一) その他(具体的に：)
(一) 世帯主の孫	

F 7 現在、同居のご家族の方は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。ひとり暮らしの方は、「1」とご記入ください。（実数記入）(n=1, 691)

(一) 1人	(8. 6%) 5人
(36. 7%) 2人	(3. 7%) 6人
(27. 6%) 3人	(1. 1%) 7人以上
(22. 3%) 4人	(一) 無回答

F 8 現在、あなたが同居しているご家族の方々は、どなたですか。あなたご自身を含め、あてはまる方すべてに○をつけ、それぞれ人数もご記入ください。(○はいくつでも)(n=1, 691)

	同居家族の世帯構成		人 数				
世帯主	100.0%						
世帯主の配偶者	89.7%						
世帯主の子ども (n=1, 050)	62.1%		(51.8%) 1人 (35.7%) 2人 (9.9%) 3人 (1.0%) 4人	(0.1%) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上			(1.4%) 無回答
世帯主の子どもの配偶者 (n=49)	2.9%		(91.8%) 1人 (6.1%) 2人 (-) 3人 (-) 4人	(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上			(2.0%) 無回答
世帯主の孫 (n=67)	4.0%		(52.2%) 1人 (38.8%) 2人 (6.0%) 3人 (1.5%) 4人	(1.5%) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上			(-) 無回答
世帯主の親、世帯主の配偶者の親 (n=242)	14.3%		(76.0%) 1人 (16.5%) 2人 (-) 3人 (-) 4人	(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上			(7.4%) 無回答
世帯主の祖父、または祖母 (n=4)	0.2%		(100.0%) 1人 (-) 2人 (-) 3人 (-) 4人	(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上			(-) 無回答
世帯主の兄弟・姉妹 (n=34)	2.0%		(88.2%) 1人 (11.8%) 2人 (-) 3人 (-) 4人	(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上			(-) 無回答
その他 (n=20)	1.2%		(50.0%) 1人 (20.0%) 2人 (10.0%) 3人 (5.0%) 4人	(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上			(15.0%) 無回答

無回答 (一)

【F8で、「3 世帯主の子ども」に○をつけた方のみ】

F 8-1 一番下のお子様の年齢をお知らせください。(実数記入)

(n=1, 050)

(11.1%) 3歳未満	(4.8%) 9歳～11歳未満	(6.1%) 17歳～20歳未満
(6.8%) 3歳～5歳未満	(3.9%) 11歳～13歳未満	(43.4%) 20歳以上
(6.1%) 5歳～7歳未満	(4.7%) 13歳～15歳未満	(4.1%) 無回答
(4.7%) 7歳～9歳未満	(4.4%) 15歳～17歳未満	

【F8で、「5 世帯主の孫」に○をつけた方のみ】

F 8-2 一番下のお孫様の年齢をお知らせください。(実数記入)

(n=67)

(19.4%)	3歳未満	(11.9%)	9歳～11歳未満	(6.0%)	17歳～20歳未満
(11.9%)	3歳～5歳未満	(3.0%)	11歳～13歳未満	(20.9%)	20歳以上
(11.9%)	5歳～7歳未満	(6.0%)	13歳～15歳未満	(3.0%)	無回答
(3.0%)	7歳～9歳未満	(3.0%)	15歳～17歳未満		

【全員の方に】

F 9 生計をともにしている別居中のご家族がいらっしゃいますか。(○は1つ) (n=1,691)

(10.2%)	い	る	(87.3%)	い	ない
---------	---	---	---------	---	----

(2.4%) 無回答

F 10 世帯主のお子様のうち、同別居に関わらず、すでに独立しておられる方(働いて収入を得ていたり、専業主婦になつていたりして生計を別にしていらっしゃる方)は、現在どちらにお住まいですか。(○はいくつでも)

(n=1,691)

(10.6%)	すでに独立している子どもと現在同居している
(9.6%)	近所(徒歩15分以内)に別居している子どもがいる
(17.0%)	片道1時間未満のところに別居している子どもがいる
(24.8%)	片道1時間以上のところに別居している子どもがいる
(37.6%)	独立している子どもはいない(または子どもがいない)

(12.1%) 無回答

F 1 1 世帯主の配偶者の方のお生まれの年月をご記入ください。**(実数記入)** (n=1, 440)
 ※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、「X 世帯主に配偶者はいない」に○をつけて、次ページのF 1 4へお進みください。
 ※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(3. 2%)	2 0 歳代	(20. 0%)	5 0 歳代
(14. 8%)	3 0 歳代	(23. 9%)	6 0 歳代
(20. 4%)	4 0 歳代	(17. 7%)	7 0 歳以上

(85. 2%)配偶者がいる (9. 9%)世帯主に配偶者はいない →次ページのF 1 4へ 無回答 (5. 0%) (n=1, 691)

F 1 2 世帯主の配偶者の方のご健康状態は、いかがでしょうか。**(○は1つ)** (n=1, 440)

(47. 2%)	健康である	(10. 3%)	あまり健康でない
(38. 9%)	まあ健康である	(3. 2%)	健康でない

(0. 3%) 無回答

F 1 3 世帯主の配偶者の方の最終学歴はどれにあたりますか。**(○は1つ)** (n=1, 440)

(8. 7%)	中学校 (旧制小・高等小)	(19. 2%)	短大・高等専門学校	(0. 1%)	その他
(44. 9%)	高等学校 (旧制中・旧制高女)	(11. 4%)	大学・大学院 (文系)	()	(具体的に
(11. 2%)	専修学校・各種学校	(3. 5%)	大学・大学院 (理系)	(0. 1%)	わからない

(1. 0%) 無回答

【全員の方に】

F 1 4 世帯主の方、または世帯主の配偶者の親御様についておうかがいします。

※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、世帯主の親御様についてのみお答えください。

(1) 現在、どのようにお住まいですか。(〇はそれぞれ1つ)

(2) 親御様の中に、介護が必要な方はいらっしゃいますか。(〇はそれぞれ1つ)

【F14(2)で、「2 (介護を)必要とする」とお答えの方について】

(3) 介護が必要な親御様がいらっしゃる場合、主な介護者はどなたですか。(〇はそれぞれ1つ)

(4) 介護のために、あなたの世帯が負担されている費用は月々いくらくらいですか。(〇はそれぞれ1つ)

	世帯主のご両親		[世帯主に配偶者のいる方に] 配偶者のご両親	
	母親 (n=1, 691)	父親 (n=1, 691)	母親 (n=1, 440)	父親 (n=1, 440)
(1) あなたとの同別居状態 (〇はそれぞれ1つずつ)	(9. 7%) 同居中 (15. 5%) 別居中 (同じ市町村) (24. 9%) 別居中 (他の地域) (43. 1%) 母親はいない	(2. 6%) 同居中 (11. 3%) 別居中 (同じ市町村) (17. 1%) 別居中 (他の地域) (60. 6%) 父親はいない	(3. 9%) 同居中 (20. 4%) 別居中 (同じ市町村) (31. 0%) 別居中 (他の地域) (38. 4%) 母親はいない	(1. 0%) 同居中 (14. 7%) 別居中 (同じ市町村) (22. 1%) 別居中 (他の地域) (55. 1%) 父親はいない
	(6. 9%) 無回答	(8. 4%) 無回答	(6. 3%) 無回答	(7. 1%) 無回答
	母親 (n=847)	父親 (n=524)	母親 (n=796)	父親 (n=544)
(2) 介護の必要有無 (〇はそれぞれ1つずつ)	(83. 2%) 必要としない (15. 8%) 必要とする	(91. 2%) 必要としない (7. 6%) 必要とする	(84. 5%) 必要としない (13. 6%) 必要とする	(89. 0%) 必要としない (9. 0%) 必要とする
	(0. 9%) 無回答	(1. 1%) 無回答	(1. 9%) 無回答	(2. 0%) 無回答
	母親 (n=134)	父親 (n=40)	母親 (n=108)	父親 (n=49)
(3) 主に介護している方 (〇はそれぞれ1つずつ)	(9. 7%) 世帯主 (19. 4%) 世帯主の配偶者 (9. 0%) 世帯主の父親 (11. 2%) その他の親族 (11. 9%) 介護老人福祉施設 (特養) (9. 7%) 介護保健施設 (老健) (2. 2%) 療養型病床 (10. 4%) 有料老人ホーム (8. 2%) 病院 (5. 2%) その他	(2. 5%) 世帯主 (17. 5%) 世帯主の配偶者 (22. 5%) 世帯主の母親 (7. 5%) その他の親族 (10. 0%) 介護老人福祉施設 (特養) (10. 0%) 介護保健施設 (老健) (7. 5%) 療養型病床 (7. 5%) 有料老人ホーム (7. 5%) 病院 (2. 5%) その他	(2. 8%) 世帯主 (18. 5%) 世帯主の配偶者 (5. 6%) 配偶者の父親 (26. 9%) その他の親族 (17. 6%) 介護老人福祉施設 (特養) (8. 3%) 介護保健施設 (老健) (2. 8%) 療養型病床 (10. 2%) 有料老人ホーム (3. 7%) 病院 (0. 9%) その他	(一) 世帯主 (26. 5%) 世帯主の配偶者 (12. 2%) 配偶者の母親 (16. 3%) その他の親族 (8. 2%) 介護老人福祉施設 (特養) (6. 1%) 介護保健施設 (老健) (2. 0%) 療養型病床 (10. 2%) 有料老人ホーム (12. 2%) 病院 (2. 0%) その他
	(3. 0%) 無回答	(5. 0%) 無回答	(2. 8%) 無回答	(4. 1%) 無回答

	母親 (n=134)	父親 (n=40)	母親 (n=108)	父親 (n=49)
④介護費用 の負担額 (〇はそれぞれ 1つずつ)	(18.7%) 3万円未満	(22.5%) 3万円未満	(19.4%) 3万円未満	(14.3%) 3万円未満
	(9.0%) 3～5万円未満	(2.5%) 3～5万円未満	(7.4%) 3～5万円未満	(8.2%) 3～5万円未満
	(13.4%) 5～7万円未 満	(5.0%) 5～7万円未満	(7.4%) 5～7万円未満	(2.0%) 5～7万円未満
	(11.9%) 7～10万円 未満	(15.0%) 7～10万円 未満	(11.1%) 7～10万円 未満	(8.2%) 7～10万円未 満
	(4.5%) 10～15万円 未満	(5.0%) 10～15万円 未満	(8.3%) 10～15万円 未満	(12.2%) 10～15万円 未満
	(6.7%) 15万円以上	(5.0%) 15万円以上	(3.7%) 15万円以上	(8.2%) 15万円以上
	(29.1%) わからない	(37.5%) わからない	(38.0%) わからない	(42.9%) わからない
	(6.7%) 無回答	(7.5%) 無回答	(4.6%) 無回答	(4.1%) 無回答

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。